

## 目論見書補完書面

この書面は、金融商品取引法第37条の3の規定に基づき、お客様が当投資信託（ファンド）をご購入するにあたり、ご理解していただく必要のある重要事項の情報を、あらかじめ提供するものです。お取引にあたっては、この書面及び目論見書の内容をよくお読みいただき、ご不明な点は、お取引開始前にご確認ください。

※この書面は、投資信託説明書（目論見書）の一部ではなく、マネックス証券の責任の下で作成しているものです。

### 手数料等の諸経費について

- ・当ファンドの手数料など諸経費の詳細は目論見書をご覧ください。
- ・お客様にご負担いただくお申込手数料、信託報酬など諸経費の種類ごとの金額及びその合計額等については、実際のお申込み金額、保有期間等に応じて異なる場合があります。

当社における申込手数料は、購入金額（購入口数×1口あたりの購入価額）に、ファンドごとの申込手数料率を乗じて計算します。

＜口数指定でご購入する場合（例）＞

申込手数料率3.0%（税抜）のファンドを購入価額10,000円（1万口あたり）で100万口ご購入いただく場合は、

申込手数料（税抜）=100万口×10,000円÷10,000口×3.0% =30,000円となり、合計1,030,000円（税抜）お支払いいただくことになります。

＜金額指定でご購入する場合（例）＞

100万円の金額指定でご購入いただく場合、お支払いいただく100万円の中から申込手数料（税込）をいただきますので、100万円全額がファンドの購入金額となるものではありません。

### クーリング・オフの適用について

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定の適用はなく、クーリング・オフの対象とはなりませんので、ご注意ください。

### 1. 当ファンドに係る金融商品取引契約の概要

当社は、ファンドの販売会社として、募集の取扱い及び販売等に関する事務を行います。

## 2. 当社が行う金融商品取引業の内容及び方法の概要

当社が行う金融商品取引業は、主に金融商品取引法第 28 条第 1 項の規定に基づく第一種金融商品取引業であり、当社においてファンドのお取引や保護預けを行われる場合は、以下によります。

- ・お取引にあたっては、保護預り口座、振替決済口座又は外国証券取引口座の開設が必要となります。
- ・お取引のご注文をいただいたときは、原則として、あらかじめ当該ご注文に係る代金又は有価証券の全部（前受金等）をお預けいただいた上で、ご注文をお受けいたします。
- ・ご注文いただいたお取引が成立した場合（法令に定める場合を除きます。）には、契約締結時交付書面（取引報告書）をお客様にお渡しいたします（郵送又は電磁的方法による場合を含みます）。万一、記載内容が相違しているときは、速やかに当社お問合せ窓口へ直接ご連絡ください。

## 3. 当社の概要

- ・商号等 : マネックス証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 165 号
- ・本店所在地 : 〒107-6025 東京都港区赤坂一丁目 12 番 32 号
- ・設立 : 1999 年 5 月
- ・資本金 : 12,200 百万円
- ・主な事業 : 金融商品取引業
- ・加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、  
一般社団法人 日本投資顧問業協会
- ・指定紛争  
解決機関 : 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター
- ・連絡先 : ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。  
お客様ダイヤル : 0120-846-365（通話料無料）  
03-6737-1666（携帯電話・PHS・一部 IP 電話）  
ログイン ID と暗証番号をご用意ください。  
当社ウェブサイト : ログイン後の「ヘルプ・お問合せ」の入力  
フォームからお問合せいただけます。

以 上

（平成 29 年 2 月）

KTM\_TOUSHIN\_1.2

当資料は全ての投資信託の「目論見書補完書面」「投資信託説明書（交付目論見書）」に添付しているものです  
申込手数料や解約手数料がかからない投資信託につきましては、以下の説明は該当しません。

## 申込手数料に関するご説明

■投資信託の申込手数料は購入時に負担いただくものですが、保有期間が長期に及ぶほど、1年あたりの負担率はしだいに減っていきます。

### 例えば、申込手数料が3%（税抜き）の場合

【保有期間】 【1年あたりのご負担率（税抜き）】



※投資信託によっては、申込手数料をいただかず、解約時に保有期間に応じた解約手数料をお支払いいただく場合があります。その場合も、保有期間が長期に及ぶほど、1年あたりの負担率はしだいに減っていきます。

※上記の図の手数料率や保有期間は例示です。実際にお買付いただく投資信託の手数料率や残存期間については、当社ウェブサイトや「投資信託説明書（交付目論見書）」にてご確認ください。

※投資信託をご購入いただいた場合には、上記の申込手数料のほか、信託報酬やその他費用等をご負担いただきます。また、投資信託の種類に応じて、信託財産留保額等をご負担いただく場合があります。実際の手数料率等の詳細は、当社ウェブサイトや「投資信託説明書（交付目論見書）」にてご確認ください。



**愛称 インカム・コレクション  
ピクテ・インカム・コレクション・ファンド (毎月分配型)  
追加型投信／内外／資産複合**

委託会社 [ファンドの運用の指図を行う者]

ピクテ投信投資顧問株式会社 金融商品取引業者登録番号:関東財務局長(金商)第380号

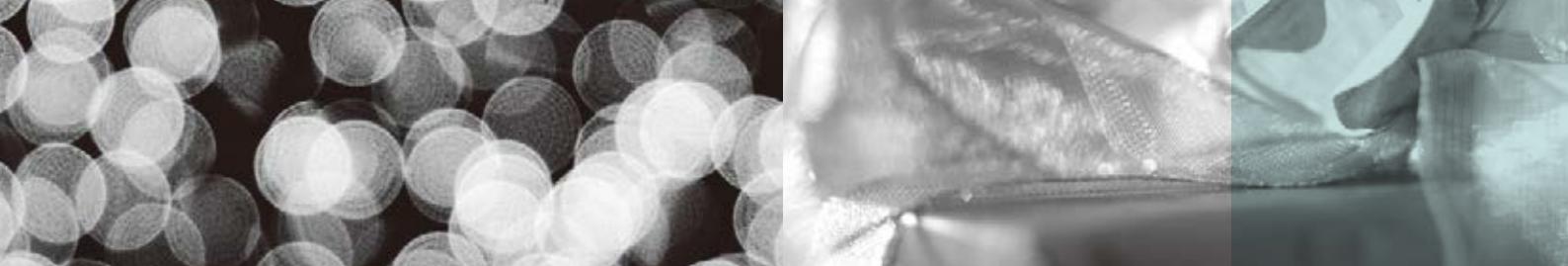
電話番号 03-3212-1805 (受付時間:委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで) [ホームページ・携帯サイト\(基準価額\)](#) [www.pictet.co.jp](http://www.pictet.co.jp)

受託会社 [ファンドの財産の保管および管理を行う者]

三井住友信託銀行株式会社

本書は、金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第13条の規定に基づく目論見書です。

ファンドに関する投資信託説明書(請求目論見書)を含む詳細な情報は、委託会社のホームページで閲覧・ダウンロードすることができます。  
また、本書にはファンドの投資信託約款の主な内容が含まれていますが、投資信託約款の全文は請求目論見書に掲載されています。



## 商品分類および属性区分

### 商品分類

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)
追加型	内 外	資産複合

### 属性区分

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
その他資産 〔投資信託証券 (資産複合 (株式・債券))〕	年12回 (毎月)	グローバル (日本を含む)	ファンド ・オブ・ ファンズ	なし

※属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

※商品分類および属性区分の定義については、一般社団法人投資信託協会のインターネット・ホームページ(<https://www.toushin.or.jp>)で閲覧できます。

- 本目論見書により行う「ピクテ・インカム・コレクション・ファンド(毎月分配型)」(以下「ファンド」といいます。)の受益権の募集については、委託会社は、金融商品取引法第5条の規定により有価証券届出書を2020年9月15日に関東財務局長に提出しており、2020年9月16日にその届出の効力が生じております。
- ファンドの内容に関して重大な変更を行う場合には、投資信託及び投資法人に関する法律(昭和26年法律第198号)に基づき事前に受益者の意向を確認します。
- ファンドの財産は受託会社において信託法(平成18年法律第108号)に基づき分別管理されています。
- 請求目論見書は、投資者から請求された場合に販売会社から交付されます。また、投資者が請求目論見書の交付を請求した場合には、投資者自ら交付請求をしたことを記録しておいてください。
- ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。

## 委託会社の情報

委託会社名 ピクテ投信投資顧問株式会社

設立年月日 1986年12月1日

資 本 金 2億円

運用する投資信託財産の合計純資産総額 2兆267億円

(2020年7月末日現在)



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

# ファンドの目的・特色

## 〔ファンドの目的〕

ファンドは、主に投資信託証券に投資を行い、  
日本を含む世界各国の  
株式およびソブリン債券に投資することにより  
安定的かつより優れた分配金原資の獲得と  
信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。

## 〔ファンドの特色〕

### Point 1

主に世界の高配当利回りの資産株と  
世界のソブリン債券に投資します

### Point 2

特定の銘柄、国や通貨に集中せず、分散投資します

### Point 3

毎月決算を行い、収益分配方針に基づき分配を行います

# ファンドの目的・特色

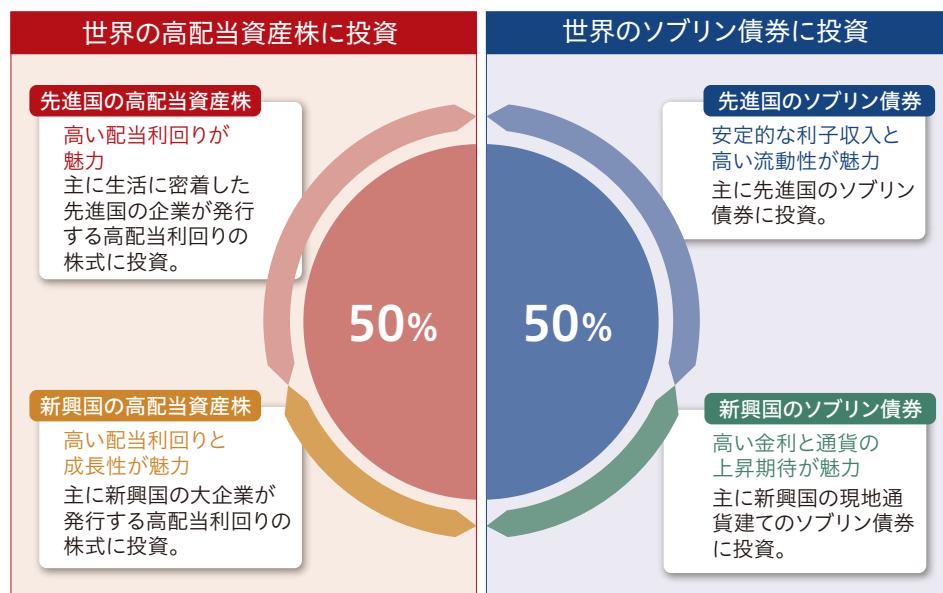
## ファンドの特色



主に世界の高配当利回りの資産株と世界のソブリン債券に投資します

- 世界各国からインカムを獲得するために、主に世界の高配当利回りの資産株とソブリン債券に投資します。
- 基本資産配分は、世界の高配当資産株50%、世界のソブリン債券50%です。※
- 株式と債券にバランスよく分散投資することで、長期的に安定した資産の成長を目指します。

### 基本資産配分



(注)生活に密着した企業とは、主に電力、ガス、水道に加え、電話・通信、運輸、廃棄物処理、エネルギーなどの公益企業や、医薬品などのヘルスケア、食料品などの生活必需品、銀行などの金融等の企業群を指します。実際の投資にあたっては、上記の業種に限るものではなく、また投資しない場合もあります。

※上記の基本資産配分は、2020年9月15日現在のものです。投資にあたっては、投資信託証券への投資を通じて行います。投資信託証券への投資配分については、委託会社が各資産の収益とそのリスク見通しを分析し適宜変更します。

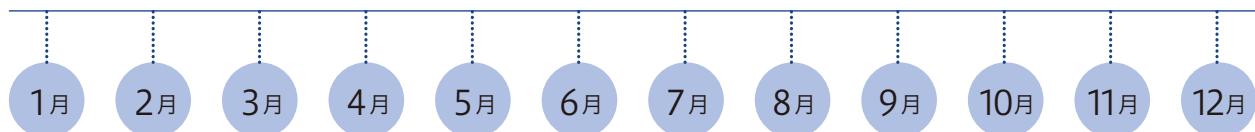
## Point 2 特定の銘柄、国や通貨に集中せず、分散投資します

- 通貨分散を考慮してポートフォリオを構築します。
- 先進国の安定感とともに新興国の高い成長力にも注目し、新興国を含めた世界各国に幅広く分散投資します。
- 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、為替ヘッジが必要と判断した場合は為替ヘッジを行うことがあります。

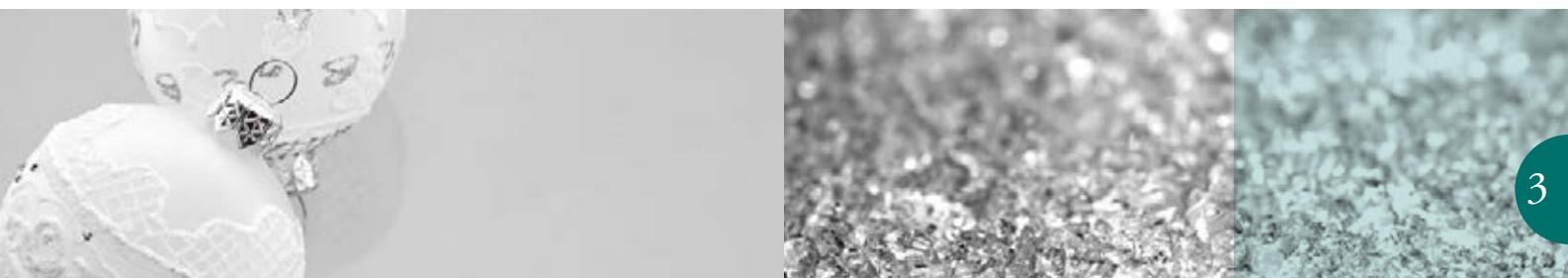
## Point 3 毎月決算を行い、収益分配方針に基づき分配を行います

- 毎月15日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として以下の方針に基づき分配を行います。
  - 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
  - 収益分配金額は、利子・配当等収益の水準および基準価額の水準等を勘案して委託会社が決定します。ただし分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。
    - 毎年3月、6月、9月および12月の決算時には、原則として決算時の基準価額が1万円を越えている場合は、毎月の分配金に1万円を超える部分の額および分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります(1万円を超える部分の額が少額の場合には、分配金を付加しないこともあります)。
  - 留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配金(決算日・毎月15日(休業日の場合は翌営業日))



※上記はイメージ図であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

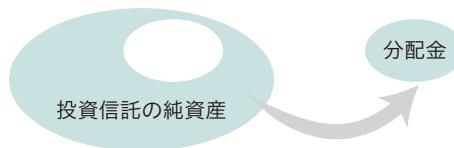


# ファンドの目的・特色

## 収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

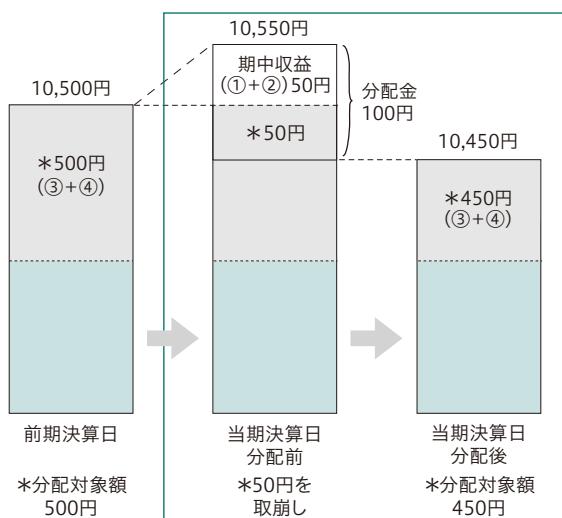
投資信託で分配金が支払われるイメージ



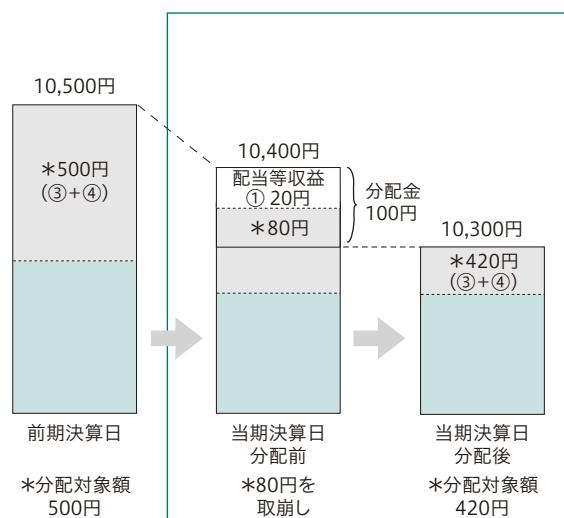
分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合

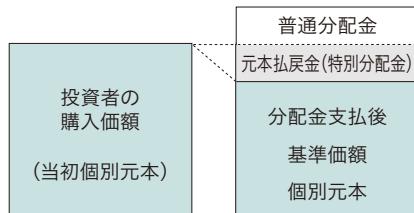


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

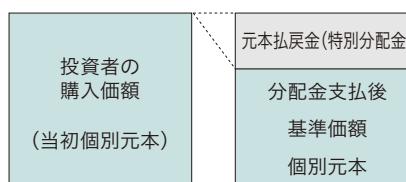
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意ください。

投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



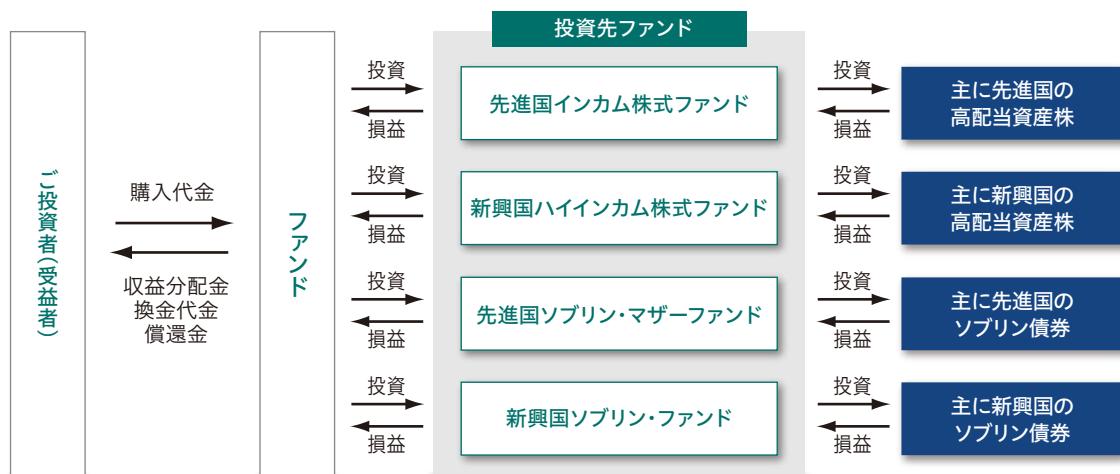
普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額(特別分配金)だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については、後掲「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照ください。

## ファンドの仕組み

ファンド・オブ・ファンズ方式で運用されます。ファンド・オブ・ファンズ方式とは、他の投資信託に投資することにより運用を行う方式です。ファンドでは、「先進国インカム株式ファンド」、「新興国ハイインカム株式ファンド」、「ピクテ先進国ソブリン・マザーファンド」および「新興国ソブリン・ファンド」の各投資信託に投資を行います。各投資先ファンドの概要につきましては、後記をご覧ください。



資金動向、市況動向等によっては前記のような運用ができない場合があります。

## 主な投資制限

- 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
- 投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパー以外の有価証券への直接投資は行いません。
- 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。



# ファンドの目的・特色

## 投資先ファンドの概要

### ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド

#### - 先進国インカム株式ファンド クラスP分配型受益証券

形態／表示通貨	ルクセンブルグ籍外国証券投資信託／円建て
主な投資方針	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 主に先進国の高配当資産株に投資し、安定的な収益分配を行うこと、また長期的な元本の成長を目指すことを目的として運用を行います。</li><li>・ 投資対象とする資産株の業種は、電力、ガス、水道に加え、電話・通信、運輸、廃棄物処理、エネルギーなどの公益企業や、ヘルスケア、生活必需品、金融などです。</li><li>・ 上場株式への分散投資を基本とします。</li></ul>

※本書において上記ファンドを「先進国インカム株式ファンド」という場合があります。

### ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド

#### - 新興国ハイインカム株式ファンド クラスP分配型受益証券

形態／表示通貨	ルクセンブルグ籍外国証券投資信託／円建て
主な投資方針	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 主に新興国に本社を置く大企業または新興国で主な事業活動を行っている大企業が発行する高配当利回りの株式に投資し、安定的な収益分配を行うこと、また長期的な元本の成長を目指すことを目的として運用を行います。</li><li>・ 上場株式への分散投資を基本とします。</li></ul>

※本書において上記ファンドを「新興国ハイインカム株式ファンド」という場合があります。

### ピクテ先進国ソブリン・マザーファンド受益証券

形態／表示通貨	内国証券投資信託(マザーファンド)／円建て
主な投資方針	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 主として先進国のソブリン債券に投資し、安定的なインカムゲインの確保とともに信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。</li><li>・ 投資にあたっては、利回りに着目し、地域別および国別、銘柄別に分散を図ります。</li></ul>

※本書において上記ファンドを「先進国ソブリン・マザーファンド」という場合があります。

### ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド

#### - 新興国ソブリン・ファンド クラスP分配型受益証券

形態／表示通貨	ルクセンブルグ籍外国証券投資信託／円建て
主な投資方針	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 主に現地通貨建ての新興国のソブリン債券に投資し、安定的な収益分配を行うこと、また長期的な元本の成長を目指すことを目的として運用を行います。</li><li>・ 投資対象国は、メキシコ、香港、シンガポール、トルコ、南アフリカ、チリ、スロバキア、ブラジル、フィリピン、アルゼンチン、タイ、韓国、コロンビア、台湾、インドネシア、インド、中国、ルーマニア、ウクライナ、マレーシア、クロアチア、ロシアなどです。</li></ul>

※本書において上記ファンドを「新興国ソブリン・ファンド」という場合があります。

# 投資リスク

## 基準価額の変動要因

- ファンドは、実質的に株式や公社債等に投資しますので、ファンドの基準価額は、実質的に組入れている株式や公社債の価格変動等(外国証券には為替変動リスクもあります。)により変動し、下落する場合があります。
- したがって、投資者の皆様の投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

### 株式投資リスク(価格変動リスク、信用リスク)

- ファンドは、実質的に株式に投資しますので、ファンドの基準価額は、実質的に組入れている株式の価格変動の影響を受けます。
- 株式の価格は、政治経済情勢、発行企業の業績・信用状況、市場の需給等を反映して変動し、短期的または長期的に大きく下落することがあります。

### 公社債投資リスク(金利変動リスク、信用リスク)

- ファンドは、実質的に公社債に投資しますので、ファンドの基準価額は、実質的に組入れている公社債の価格変動の影響を受けます。
- 金利変動リスクとは、金利変動により公社債の価格が変動するリスクをいいます。一般的に金利が低下した場合には、公社債の価格は上昇する傾向がありますが、金利が上昇した場合には、公社債の価格は下落する傾向があります。
- 信用リスクとは、公社債の発行体の財務状況等の悪化により利息や償還金をあらかじめ定められた条件で支払うことができなくなるリスク(債務不履行)、または債務不履行に陥ると予想される場合に公社債の価格が下落するリスクをいいます。

### 為替変動リスク

- ファンドは、実質的に外貨建資産に投資するため、対円との為替変動リスクがあります。
- 円高局面は基準価額の下落要因、円安局面は基準価額の上昇要因となります。
- 為替ヘッジが必要と判断した場合には為替ヘッジを行うことがあります、為替変動リスクを完全に排除できるものではなく、為替変動の影響を受ける場合があります。また、現地通貨による直接ヘッジが困難な一部の通貨については、当該現地通貨との連動性等を勘案し、先進主要国通貨等の他の通貨を用いた代替ヘッジを行う場合がありますが、その場合、通貨間の値動きが異なる場合が想定され、十分な為替ヘッジ効果が得られないことがあります。また、円金利がヘッジ対象通貨建ての金利より低い場合、当該通貨と円の金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。

## カントリーリスク

- ファンドが実質的な投資対象地域の一つとする新興国は、一般に政治・経済・社会情勢の変動が先進諸国と比較して大きくなる場合があり、政治不安、経済不況、社会不安が証券市場や為替市場に大きな影響を与えることがあります。その結果、ファンドの基準価額が下落する場合があります。
- 実質的な投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化により証券市場や為替市場等に混乱が生じた場合、またはそれらの取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、運用方針に沿った運用が困難となる場合があります。この他、当該投資対象国・地域における証券市場を取り巻く制度やインフラストラクチャーに係るリスクおよび企業会計・情報開示等に係るリスク等があります。

基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

## その他の留意点

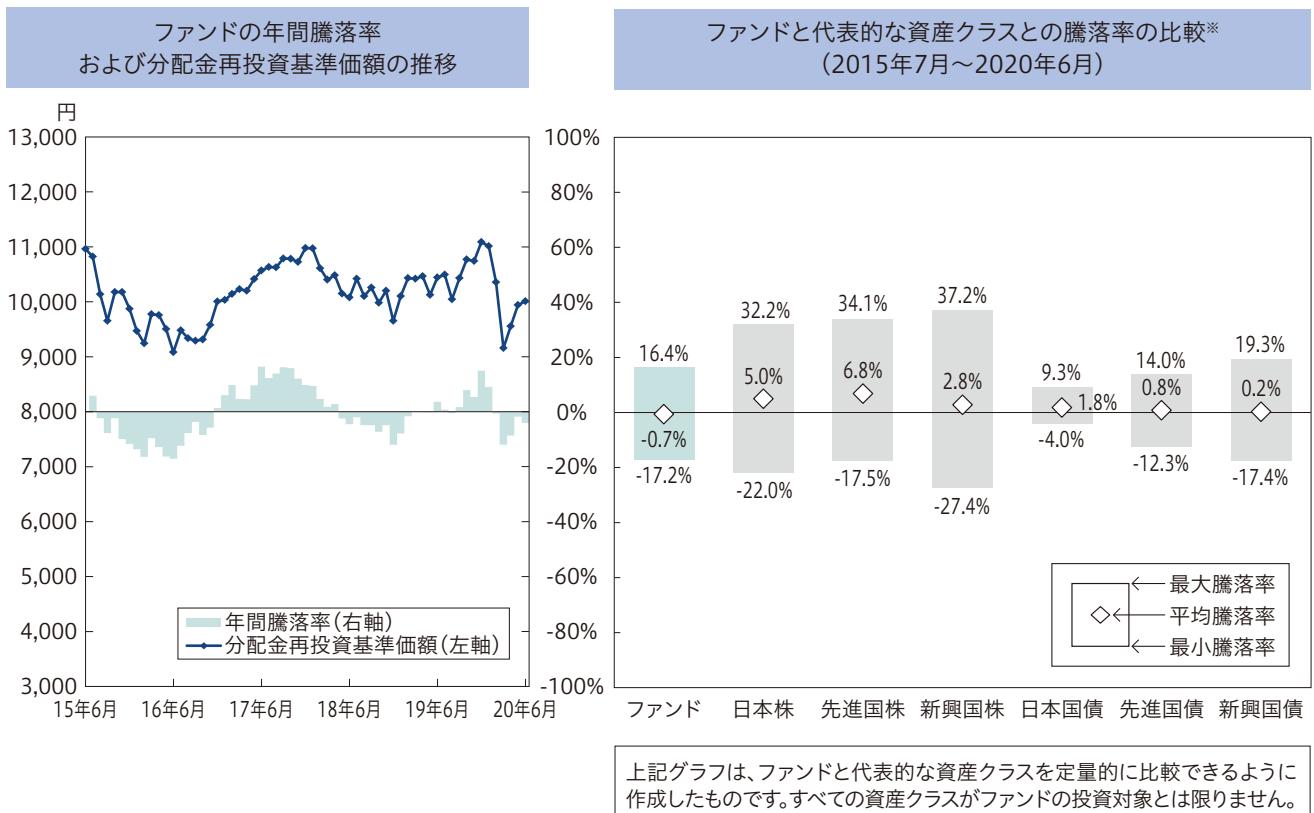
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

## リスクの管理体制

- 運用リスクのモニタリングおよび法令諸規則等の遵守状況のモニタリングは運用部署とは異なる部署が行います。
- モニタリングの結果は上記部署から定期的に運用リスク管理委員会またはコンプライアンス&ビジネスリスク委員会へ報告され、必要に応じ、運用部署その他関連部署へ改善の指示または提案等を行います。

※リスクの管理体制は、2020年7月末日現在のものであり、今後変更される場合があります。

## 参考情報



(注)「分配金再投資基準価額」とは、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。年間騰落率は、分配金再投資基準価額に基づいて計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なります。

※2015年7月～2020年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小をファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。各資産クラスについては以下の指数に基づき計算しております。

<各資産クラスの指数>

日本株 東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株 MSCIコクサイ指数(税引前配当込み、円換算)

新興国株 MSCIエマージング・マーケット指数(税引前配当込み、円換算)

日本国債 NOMURA-BPI国債

先進国債 FTSE世界国債指数(除く日本、円換算)

新興国債 JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド(円換算)

(海外の指数は、為替ヘッジをしない投資を想定して、ドルベースの各指数を委託会社が円換算しております。)

### 上記各指数について

■東証株価指数(TOPIX)(配当込み):東証株価指数(TOPIX)は、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象とし、浮動株ベースの時価総額加重型で算出された指数で、同指数に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所(以下「東証」といいます。)に帰属します。東証は、同指数の指値およびそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。東証は同指数の算出もしくは公表方法の変更、同指数の算出もしくは公表の停止または同指数の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■MSCIコクサイ指数(税引前配当込み):MSCIコクサイ指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

■MSCIエマージング・マーケット指数(税引前配当込み):MSCIエマージング・マーケット指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

■NOMURA-BPI国債:NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。同指数の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また同社は同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果に関して一切責任を負いません。

■FTSE世界国債指数(除く日本):FTSE世界国債指数(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券指数です。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

■JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド:JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的な指数です。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

# 運用実績

2020年6月30日現在

## 基準価額・純資産の推移



※基準価額および基準価額(分配金再投資後)は、1万口当たり、運用管理費用(信託報酬)控除後です。  
※基準価額(分配金再投資後)は、上記期間中において、購入時手数料等を考慮せず、税引前分配金を再投資した場合の評価額を表します。

## 分配の推移

		(1万口当たり、税引前)
決算期	分配金	
第1期～第156期(計)	6,310円	
第157期 20年 2月	20円	
第158期 20年 3月	20円	
第159期 20年 4月	20円	
第160期 20年 5月	20円	
第161期 20年 6月	20円	
直近1年間 累計	240円	
設定来 累計	6,410円	

## 主要な資産の状況

### ■ 資産別構成比

資産名	構成比
1 先進国インカム株式ファンド	29.6%
2 新興国ハイインカム株式ファンド	19.8%
3 先進国ソブリン・マザーファンド	29.9%
4 新興国ソブリン・ファンド	20.0%
5 コール・ローン等、その他	0.8%
合 計	100.0%

## 投資先ファンドの状況

### ■ 組入上位5銘柄

株式部分(先進国インカム株式ファンド、新興国ハイインカム株式ファンド)

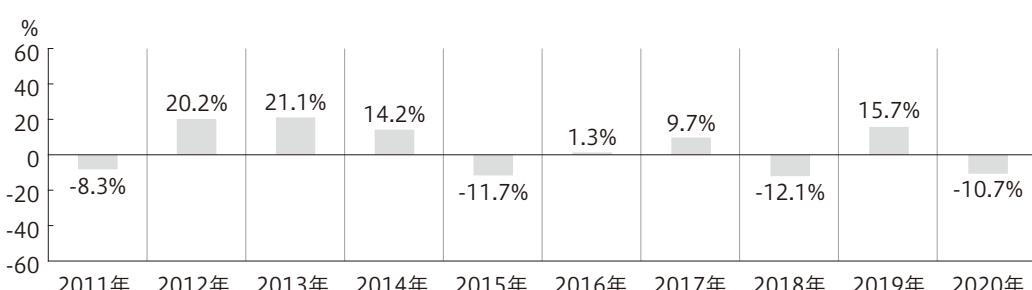
銘柄名	国名	業種名	構成比
1 イタリア電力公社	イタリア	電力	2.9%
2 サノフィ	フランス	医薬品	2.8%
3 グラクソ・スミスクライン	英国	医薬品	2.6%
4 アストラゼネカ	英国	医薬品	2.6%
5 ナショナル・グリッド	英国	総合公益事業	2.5%

債券部分(先進国ソブリン・マザーファンド、新興国ソブリン・ファンド)

組入国債	利率	償還日	構成比
1 ノルウェー国債	3.000%	2024.03.14	4.4%
2 ロシア国債	7.950%	2026.10.07	3.3%
3 カナダ国債	2.750%	2022.06.01	3.2%
4 ペルー国債	6.850%	2042.02.12	3.2%
5 ニュージーランド国債	2.750%	2037.04.15	3.1%

※組入上位5銘柄の構成比は、各投資先ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価金額の比率です。

## 年間收益率の推移



※税引前分配金を再投資したものとして計算しています。  
2020年は6月30日までの騰落率を表示しています。  
ファンドにはベンチマークはありません。

ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。  
最新の運用実績は委託会社のホームページ等で確認することができます。

# 手続・手数料等

## お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める1円または1口(当初元本1口=1円)の整数倍の単位とします。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。 (ファンドの基準価額は1万口当たりで表示しています。)
購入代金	販売会社の定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める1口の整数倍の単位とします。 (販売会社へのお申込みにあたっては1円の整数倍の単位でお申込みできる場合があります。詳しくは、販売会社にてご確認ください。)
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として午後3時までとします。 (販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日のお申込み分とします。)
購入の申込期間	2020年9月16日から2021年3月15日までとします。 (上記期間満了前に、委託会社が有価証券届出書を提出することにより更新されます。)
購入・換金の申込不可日	ルクセンブルグの銀行、ロンドンの銀行またはニューヨーク証券取引所の休業日においては、購入・換金のお申込みはできません。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金には制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付けを中止することおよびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付けを取消すことがあります。
信託期間	2006年12月28日(当初設定日)から無期限とします。
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には信託が終了(繰上償還)となる場合があります。
決算日	毎月15日(休業日の場合は翌営業日)とします。
収益分配	年12回の決算時に、収益分配方針に基づき分配を行います。 ※ファンドには収益分配金を受取る「一般コース」と収益分配金が税引後無手数料で再投資される「自動けいぞく投資コース」があります。ただし、販売会社によっては、どちらか一方のみのお取扱いとなる場合があります。
信託金の限度額	1兆円とします。
公告	日本経済新聞に掲載します。
運用報告書	毎年6月、12月の決算時および償還時に交付運用報告書を作成し、かつファンドに係る知れている受益者に交付します。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除、益金不算入制度の適用はありません。

# ファンドの費用・税金

## ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	<b>3.3%</b> (税抜3.0%)の手数料率を上限として、販売会社が独自に定める率を購入価額に乗じて得た額とします。 (詳しくは、販売会社にてご確認ください。) 購入時手数料は、投資信託を購入する際の商品等の説明や事務手続等の対価として、販売会社に支払う手数料です。
信託財産留保額	ありません。

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	毎日、信託財産の純資産総額に年 <b>1.265%</b> (税抜1.15%)の率を乗じて得た額とします。 運用管理費用(信託報酬)は毎日計上(ファンドの基準価額に反映)され、毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支払われます。 [運用管理費用(信託報酬)の配分(税抜)および役務の内容]									
	<table><thead><tr><th>委託会社</th><th>販売会社</th><th>受託会社</th></tr></thead><tbody><tr><td>年率0.45%</td><td>年率0.65%</td><td>年率0.05%</td></tr><tr><td>ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等</td><td>購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等</td><td>ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等</td></tr></tbody></table>	委託会社	販売会社	受託会社	年率0.45%	年率0.65%	年率0.05%	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
委託会社	販売会社	受託会社								
年率0.45%	年率0.65%	年率0.05%								
ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等								

なお、委託会社の運用管理費用(信託報酬)には、マザーファンド(ピクテ先進国ソブリン・マザーファンド)の運用指図に関する権限の委託に係る投資顧問会社への報酬が含まれています。

投資対象 とする 投資信託証券	先進国インカム株式ファンド 新興国ハイインカム株式ファンド 先進国ソブリン・マザーファンド 新興国ソブリン・ファンド	純資産総額の年率0.6% 純資産総額の年率0.75% ありません 純資産総額の年率0.65%
実質的な負担	ファンドの実際の投資信託証券の組入状況に応じて年率 <b>1.765±0.2%</b> (税込)程度となります。	
その他の費用・ 手数料	信託事務に要する諸費用(信託財産の純資産総額の年率 <b>0.055%</b> (税抜0.05%)相当を上限とした額)が毎日計上されます。当該諸費用は、監査法人に支払うファンドの財務諸表の監査に係る費用、目論見書、運用報告書等法定の開示書類の作成等に要する費用等です。 組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料等および外国における資産の保管等に要する費用等(これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。)が、そのつど信託財産から支払われます。投資先ファンドにおいて、信託財産に課される税金、弁護士への報酬、監査費用、有価証券等の売買に係る手数料等の費用が当該投資先ファンドの信託財産から支払われることがあります。	

※当該費用の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 税金

- 税金は表に記載の時期に適用されます。
- 以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税および地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して <b>20.315%</b>
換金(解約)時 および償還時	所得税および地方税	譲渡所得として課税 換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して <b>20.315%</b>

※少額投資非課税制度「愛称:NISA(ニーサ)」について

NISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

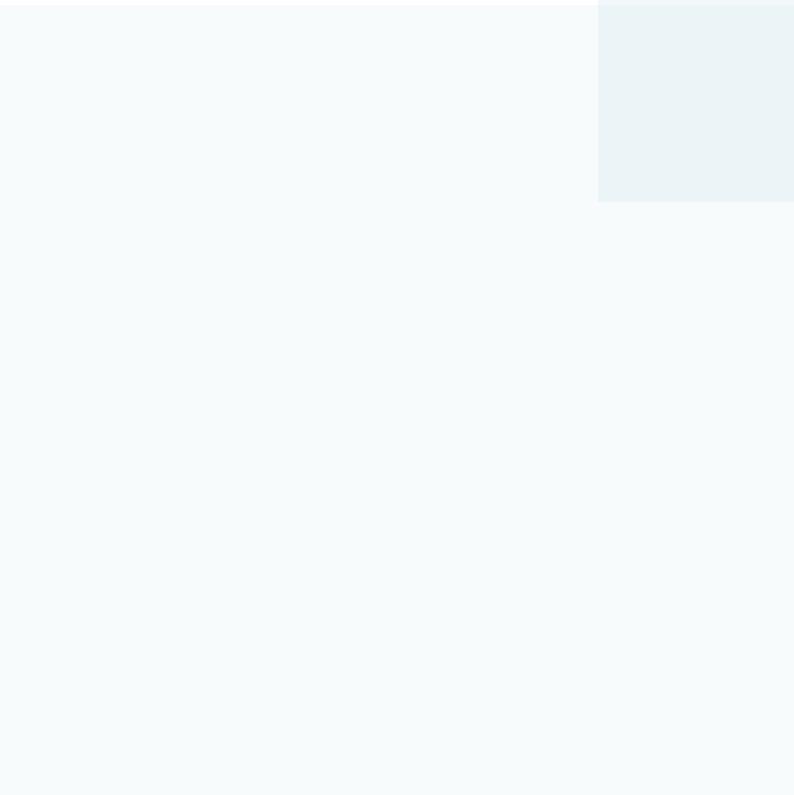
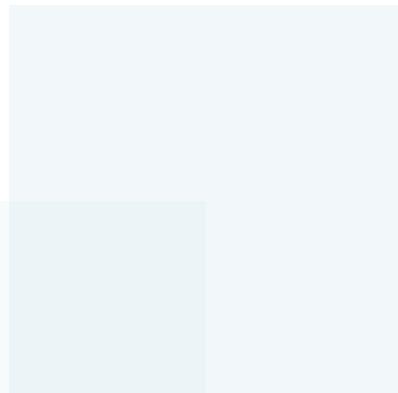
※外貨建資産への投資により外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※上記は、2020年7月末日現在のものですので、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※法人の場合は上記とは異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

# *Memo*





ピクテ・インカム・コレクション・ファンド  
(毎月分配型)  
愛称 インカム・コレクション

---

追加型投信／内外／資産複合

**投資信託説明書(請求目論見書)**

2020.9.16

ピクテ投信投資顧問株式会社

本書は、金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第13条の規定に基づく目論見書であり、投資者の請求により交付される目論見書(請求目論見書)です。

本目論見書により行う「ピクテ・インカム・コレクション・ファンド(毎月分配型)」の受益権の募集については、委託会社は、金融商品取引法第5条の規定により有価証券届出書を2020年9月15日に関東財務局長に提出しており、2020年9月16日にその届出の効力が生じております。

発 行 者 名 : ピクテ投信投資顧問株式会社  
代表者の役職氏名 : 代表取締役社長 萩野 琢英  
本店の所在の場所 : 東京都千代田区丸の内二丁目2番1号  
有価証券届出書の写しを縦覧に供する場所 : 該当事項はありません。

## 目 次

第一部 【証券情報】 .....	1
第二部 【ファンド情報】 .....	3
第1 【ファンドの状況】 .....	3
1 【ファンドの性格】 .....	3
2 【投資方針】 .....	7
3 【投資リスク】 .....	11
4 【手数料等及び税金】 .....	13
5 【運用状況】 .....	16
第2 【管理及び運営】 .....	19
1 【申込(販売)手続等】 .....	19
2 【換金(解約)手続等】 .....	20
3 【資産管理等の概要】 .....	20
4 【受益者の権利等】 .....	22
第3 【ファンドの経理状況】 .....	22
1 【財務諸表】 .....	24
2 【ファンドの現況】 .....	39
第4 【内国投資信託受益証券事務の概要】 .....	39
第三部 【委託会社等の情報】 .....	41
第1 【委託会社等の概況】 .....	41
1 【委託会社等の概況】 .....	41
2 【事業の内容及び営業の概況】 .....	41
3 【委託会社等の経理状況】 .....	41
4 【利害関係人との取引制限】 .....	56
5 【その他】 .....	56

<添付>

投資信託約款

## 第一部【証券情報】

### (1)【ファンドの名称】

ピクテ・インカム・コレクション・ファンド(毎月分配型)

(愛称として「インカム・コレクション」と称する場合があります。以下「ファンド」といいます。)

### (2)【内国投資信託受益証券の形態等】

追加型証券投資信託受益権

ファンドの受益権は、社債、株式等の振替に関する法律(以下「社振法」といいます。)の規定の適用を受け、受益権の帰属は、後記の「(1)振替機関に関する事項」に記載の振替機関および当該振替機関の下位の口座管理機関(社振法第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。)の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります(以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます)。委託会社であるピクテ投信投資顧問株式会社は、やむを得ない事情等がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。また、振替受益権には無記名式や記名式の形態はありません。

なお、ファンドについて、委託会社の依頼により、信用格付業者から提供されもしくは閲覧に供された信用格付または信用格付業者から提供されもしくは閲覧に供される予定の信用格付はありません。

### (3)【発行(売出)価額の総額】

2兆円※を上限とします。

※受益権1口当たりの各発行価格に各発行口数を乗じて得た金額の合計額

### (4)【発行(売出)価格】

取得申込受付日の翌営業日の基準価額※とします。

※「基準価額」とは、ファンドの資産総額から負債総額を控除した金額(純資産総額)を計算日における受益権口数で除した金額で、ファンドにおいては1万口当たりの価額で表示しています。基準価額は、組入れた有価証券等の値動きにより日々変動します。

ただし、「自動けいぞく投資コース」を選択した受益者が収益分配金を再投資する場合の発行価格は、各計算期間終了日の基準価額とします。

基準価額は、委託会社(ピクテ投信投資顧問株式会社 電話番号03-3212-1805(受付時間:委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで) ホームページおよび携帯サイト<https://www.pictet.co.jp>)または販売会社に問い合わせることにより知ることができます。また、原則として計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊に掲載されます(略称「インコレ」)。

### (5)【申込手数料】

3.3%(税抜3.0%)の手数料率を上限として、販売会社が独自に定める率を発行価格に乗じて得た額とします。

※詳しくは、販売会社にてご確認ください。

申込手数料には、消費税および地方消費税(以下「消費税等」といいます。)相当額が加算されます。

ただし、「自動けいぞく投資コース」を選択した受益者が収益分配金を再投資する場合は無手数料となります。

※償還乗換優遇措置等の取扱いを行う販売会社では、一定の条件を満たした場合に申込手数料が割引または無手数料となる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

### (6)【申込単位】

販売会社が定める1円または1口(当初元本1口=1円)の整数倍の単位とします。

ただし、「自動けいぞく投資コース」を選択した受益者が収益分配金を再投資する場合は1口単位とします。

詳しくは、販売会社にてご確認ください。

自動購入サービス契約※を利用してのご購入の場合は、当該契約に定める単位にて申込みいただく場合があります。

※当該契約または規定については、同様の権利義務関係を規定する名称の異なる契約または規定を使用することがあり、この場合、当該別の名称に読み替えるものとします。また、「自動購入サービス」等の取扱いの有無については、販売会社にご確認ください。

### (7)【申込期間】

2020年9月16日から2021年3月15日までとします。

なお、申込期間は上記期間満了前に、委託会社が有価証券届出書を提出することにより更新されます。

### (8)【申込取扱場所】

販売会社の本支店等において申込みの取扱いを行います。販売会社については、委託会社(ピクテ投信投資顧問株式会社 電話番号03-3212-1805(受付時間:委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで) ホームページおよび携帯サイト<https://www.pictet.co.jp>)までお問い合わせください。

### (9)【払込期日】

受益権の取得申込者は、取得申込みを行った販売会社の定める日までに申込代金(申込金額(発行価格×申込口数)に申込手数料および当該手数料に係る消費税等相当額を加算した額)を支払うものとします。各取得申込受付日の発行価額の総額は、追加信託の行われる日に、委託会社の指定する口座を経由して、受託会社の指定するファンド口座に払い込まれます。

**(10) 【払込取扱場所】**

申込代金は、取得申込みを行った販売会社へお支払いください(販売会社については、「(8)申込取扱場所」に記載の委託会社までお問い合わせください)。

**(11) 【振替機関に関する事項】**

ファンドの受益権の振替機関は、株式会社証券保管振替機構です。

**(12) 【その他】**

ファンドの受益権は、社振法の規定の適用を受け、前記「(11)振替機関に関する事項」に記載の振替機関の振替業に係る業務規程等の規則にしたがって取扱われるものとします。

ファンドの収益分配金、償還金、換金代金は、社振法および前記「(11)振替機関に関する事項」に記載の振替機関の業務規程その他の規則にしたがって支払われます。

## 第二部【ファンド情報】

### 第1【ファンドの状況】

#### 1【ファンドの性格】

##### (1)【ファンドの目的及び基本的性格】

① ファンドは、主に投資信託証券に投資を行い、日本を含む世界各国の株式およびソブリン債券に投資することにより安定的かつより優れた分配金原資の獲得と信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。信託金の限度額は1兆円です。

② ファンドの商品分類<sup>\*</sup>は、追加型投信／内外／資産複合です。

※一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」に基づきます。

＜商品分類表(ファンドが該当する商品分類を網掛け表示しています。)＞

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)
単位型	国内	株式 債券
追加型	海外	不動産投信 その他資産
	内外	資産複合

＜属性区分表(ファンドが該当する属性区分を網掛け表示しています。)＞

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
株式 一般 大型株 中小型株 債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 不動産投信 <b>その他資産 (投資信託証券 (資産複合 (株式・債券)))</b> 資産複合	年1回 年2回 年4回 年6回(隔月) <b>年12回(毎月)</b> 日々 その他	グローバル (日本を含む) 日本 北米 欧州 アジア オセアニア 中南米 アフリカ 中近東(中東) エマージング	ファミリー ファンド  <b>ファンド ・オブ・ ファンズ</b>	あり  なし

※属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

＜ファンドが該当する商品分類の定義＞

商品分類	定義
単位型・追加型	追加型投信
投資対象地域	内外
投資対象資産 (収益の源泉)	資産複合

＜ファンドが該当する属性区分の定義＞

属性区分	定義
投資対象資産	その他資産 (投資信託証券 (資産複合 (株式・債券)))
決算頻度	年12回(毎月)
投資対象地域	グローバル (日本を含む)
投資形態	ファンド・オブ・ ファンズ

為替ヘッジ	なし	目論見書または投資信託約款において、原則として為替のヘッジを行わない旨の記載があるものまたは為替のヘッジを行う旨の記載がないものをおいいます。
-------	----	---

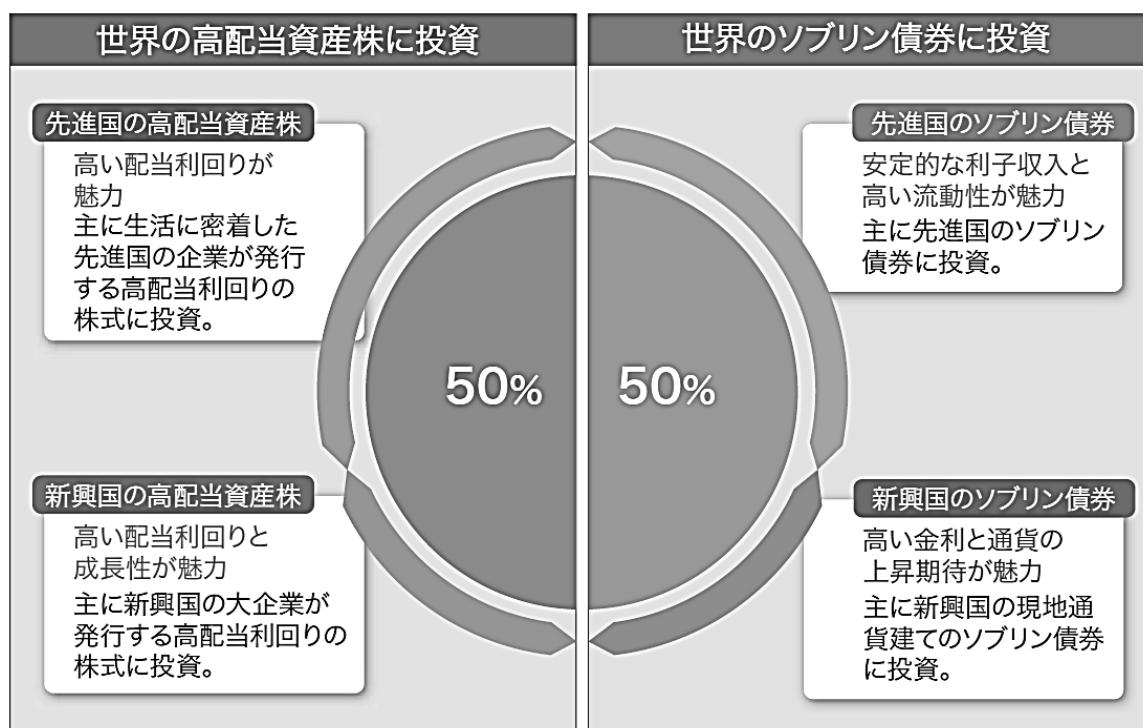
ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、株式および債券を主要投資対象とします。したがって、「商品分類」における投資対象資産と、「属性区分」における投資対象資産は異なります。

(注) ファンドが該当しない商品分類および属性区分の定義については、一般社団法人投資信託協会のインターネット・ホームページ(<https://www.toushin.or.jp>)で閲覧できます。

### ③ ファンドの特色

- a 主に世界の高配当利回りの資産株と世界のソブリン債券に投資します
  - 世界各国からインカムを獲得するために、主に世界の高配当利回りの資産株とソブリン債券に投資します。
  - 基本資産配分は、世界の高配当資産株50%、世界のソブリン債券50%です。※
  - 株式と債券にバランスよく分散投資することで、長期的に安定した資産の成長を目指します。

## 基本資産配分



(注)生活に密着した企業とは、主に電力、ガス、水道に加え、電話・通信、運輸、廃棄物処理、エネルギーなどの公益企業や、医薬品などのヘルスケア、食料品などの生活必需品、銀行などの金融等の企業群を指します。実際の投資にあたっては、上記の業種に限るものではなく、また投資しない場合もあります。

※上記の基本資産配分は、2020年9月15日現在のものです。投資にあたっては、投資信託証券への投資を通じて行います。投資信託証券への投資配分については、委託会社が各資産の収益とそのリスク見通しを分析し適宜変更します。

- b 特定の銘柄、国や通貨に集中せず、分散投資します
  - 通貨分散を考慮してポートフォリオを構築します。
  - 先進国の安定感とともに新興国の高い成長力にも注目し、新興国を含めた世界各国に幅広く分散投資します。
  - 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、為替ヘッジが必要と判断した場合は為替ヘッジを行うことがあります。

c 毎月決算を行い、収益分配方針に基づき分配を行います。

○毎月15日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として収益分配方針に基づき分配を行います。

- 毎年3月、6月、9月および12月の決算時には、原則として決算時の基準価額が1万円を超えている場合は、毎月の分配金に1万円を超える部分の額および分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります(1万円を超える部分の額が少額の場合には、分配金を付加しないこともあります)。

#### 分配金(決算日・毎月15日(休業日の場合は翌営業日))



※上記はイメージ図であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

#### 〔収益分配金に関する留意事項〕

○分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

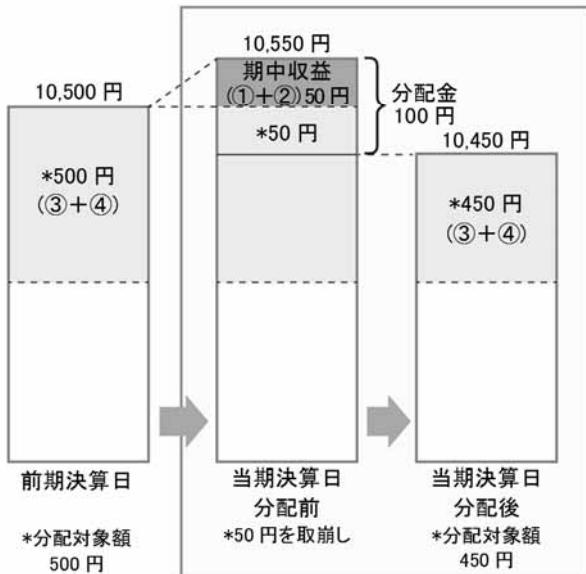
#### 投資信託で分配金が支払われるイメージ



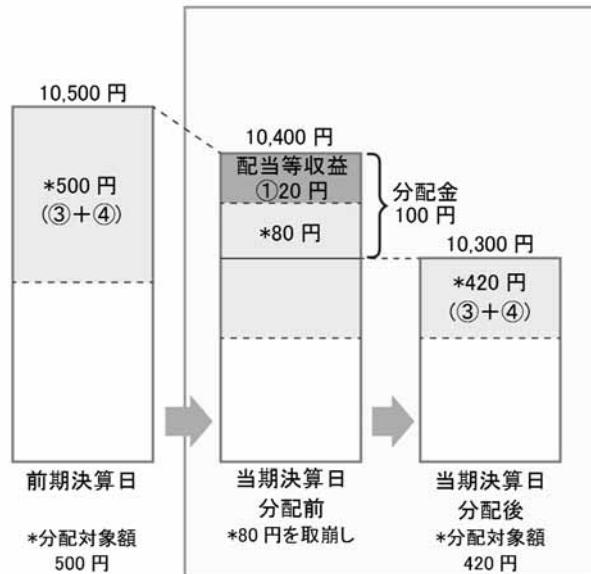
○分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの收益率を示すものではありません。

#### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

##### 前期決算日から基準価額が上昇した場合



##### 前期決算日から基準価額が下落した場合

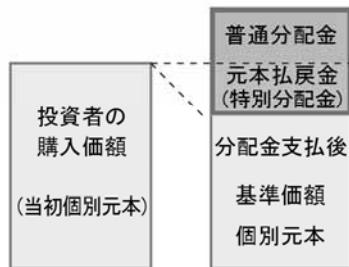


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意ください。

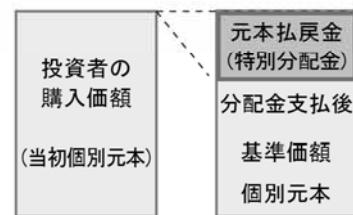
○投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については、後掲「4 手数料等及び税金 (5)課税上の取扱い」をご参照ください。

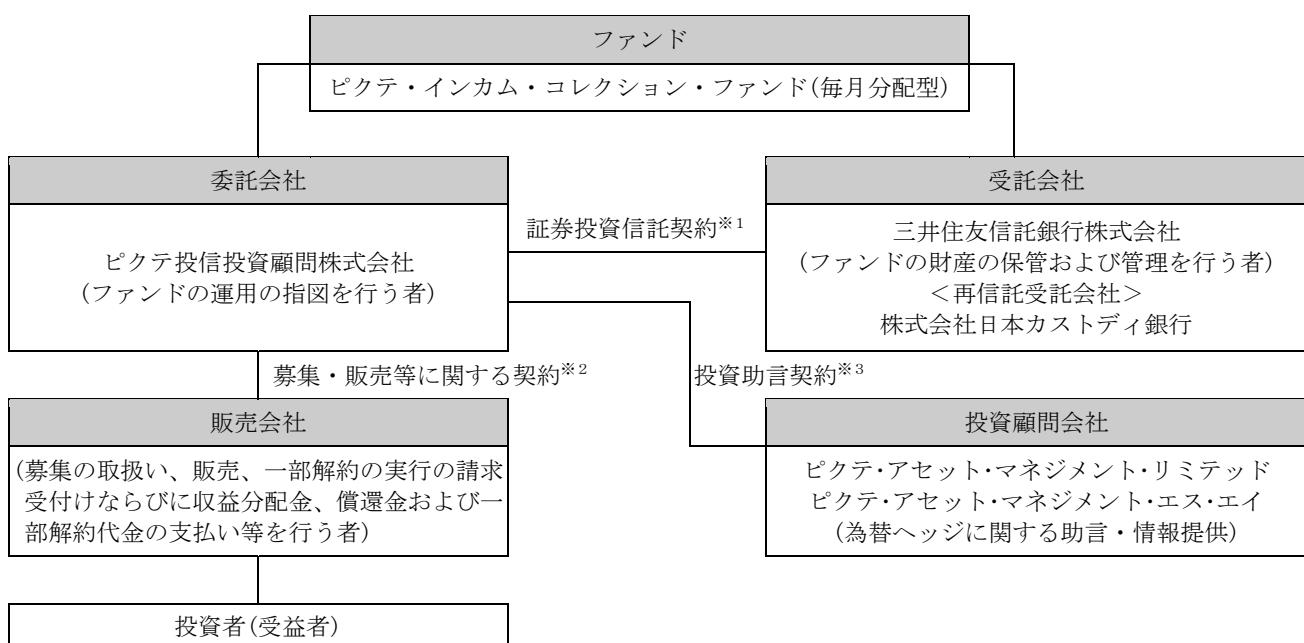
※資金動向、市況動向等によっては前記のような運用ができない場合があります。

### (2) 【ファンドの沿革】

2006年12月28日 信託契約締結、ファンドの設定および運用開始

### (3) 【ファンドの仕組み】

① 委託会社およびファンドの関係法人

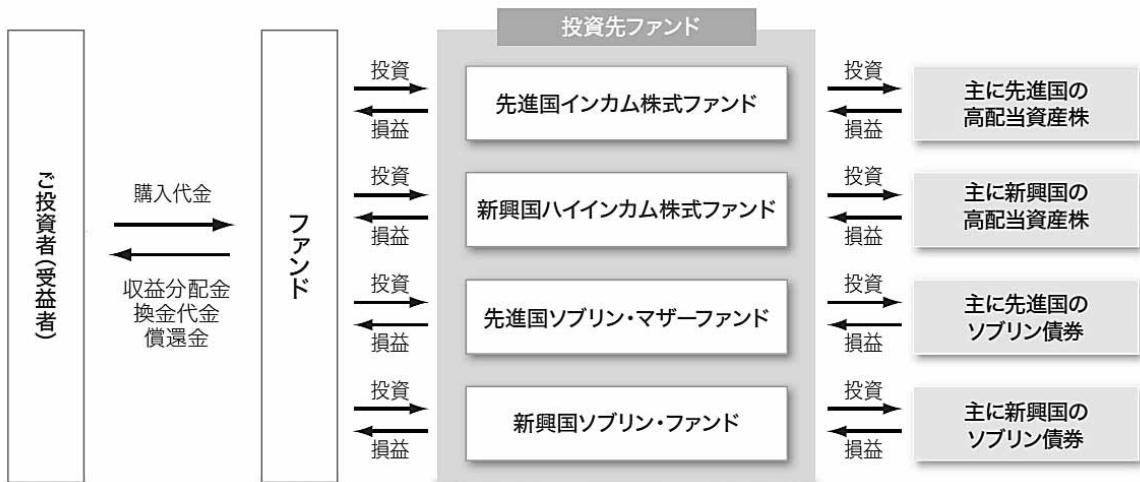


※1 ファンドの投資対象・投資制限、委託会社・受託会社・受益者の権利義務関係等が規定されています。

※2 販売会社が行う募集の取扱い、販売、一部解約の実行の請求受付けならびに収益分配金、償還金および一部解約代金の支払い等について規定されています。

※3 ファンドの為替ヘッジに関する助言・情報提供に係る業務の内容、投資顧問会社の注意義務、契約の終了・変更等について規定されています。なお、上記に掲げる者のうち一者のみと当該契約を締結する場合があります。

○ファンド・オブ・ファンズ方式で運用されます。ファンド・オブ・ファンズ方式とは、他の投資信託に投資することにより運用を行う方式です。ファンドでは、「先進国インカム株式ファンド」、「新興国ハイインカム株式ファンド」、「ピクテ先進国ソブリン・マザーファンド」および「新興国ソブリン・ファンド」の各投資信託に投資を行います。各投資先ファンドの概要につきましては、後記をご覧ください。



## ② 委託会社の概況(2020年7月末日現在)

- ・資本金：2億円
- ・沿革：1981年 ピクテ銀行東京駐在員事務所開設  
1986年 ピクテジャパン株式会社設立  
1987年 投資顧問業の登録、投資一任業務の認可取得  
1997年 ピクテ投信投資顧問株式会社に社名変更  
1997年 投資信託委託業務の免許取得  
2011年 大阪事務所開設  
現在に至る

### ・大株主の状況

名称	住所	所有株式数	所有株式比率
ピクテ・アセット・マネジメント・ホールディング・エス・エイ	スイス連邦 1227 ジュネーブ カルージュ アカシア通り60	普通株式 800株 A種優先株式 763株	100%

## 2 【投資方針】

### (1) 【投資方針】

#### ① 基本方針

ファンドは、主に投資信託証券に投資を行い、日本を含む世界各国の株式およびソブリン債券に投資することにより安定的かつより優れた分配金原資の獲得と信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。

#### ② 投資態度

- 投資信託証券への投資を通じて、主に日本を含む世界各国の株式およびソブリン債券に投資することにより安定的かつより優れた分配金原資の獲得と信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。
- 投資信託証券への投資配分については、委託会社が各資産の収益とそのリスク見通しを分析し適宜変更します。
- 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、為替ヘッジが必要と判断した場合には為替ヘッジを行うことがあります(現地通貨による為替ヘッジが困難な一部の通貨については、当該現地通貨との連動性等を勘案し、先進国通貨等による代替ヘッジを行う場合があります。)、為替ヘッジの比率および期間等は、ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイおよび／またはピクテ・アセット・マネジメント・リミテッドの助言を受けて委託会社が決定します。
- 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

- ファンドは、主に先進国の高配当資産株に投資する投資信託、主に新興国の企業が発行する高配当利回りの株式に投資する投資信託、主に先進国のソブリン債券にする投資信託および主に新興国のソブリン債券に投資する投資信託の受益証券に投資するファンド・オブ・ファンズ方式で運用されます。

### (2) 【投資対象】

#### ① 投資の対象とする資産の種類

ファンドにおいて投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

- 次に掲げる特定資産(「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。)
  - 有価証券
  - 金銭債権((a)および(c)に掲げるものに該当するものを除きます。)
  - 約束手形((a)に掲げるものに該当するものを除きます。)

b 次に掲げる特定資産以外の資産

(a)為替手形

② 有価証券の指図範囲

委託会社は、信託金を、主として次の投資信託証券および有価証券(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。)に投資することを指図します。

a ルクセンブルグ籍外国証券投資信託

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 先進国インカム株式ファンド クラスP分配型受益証券(Pictet Global Selection Fund - Global Income Stock Fund P Distribution Units)

b ルクセンブルグ籍外国証券投資信託

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 新興国ハイインカム株式ファンド クラスP分配型受益証券(Pictet Global Selection Fund - Global High Yield Emerging Equities Fund P Distribution Units)

c 内国証券投資信託(マザーファンド)

ピクテ先進国ソブリン・マザーファンド受益証券

d ルクセンブルグ籍外国証券投資信託

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 新興国ソブリン・ファンド クラスP分配型受益証券(Pictet Global Selection Fund - Global Emerging Sovereign Fund P Distribution Units)

e 短期社債等

f コマーシャル・ペーパー

g 外国または外国の者の発行する証券または証書で、eおよびfの証券または証書の性質を有するもの

③ 金融商品の指図範囲

委託会社は、信託金を、②に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。)により運用することを指図することができます。

a 預金

b 指定金銭信託(金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。)

c コール・ローン

d 手形割引市場において売買される手形

④ ②の規定にかかわらず、ファンドの設定、解約、償還、投資環境の変動等への対応等、委託会社が運用上必要と認めるときには、委託会社は、信託金を、③のaからdまでに掲げる金融商品により運用することの指図ができます。

⑤ その他

a 委託会社は、信託財産に属する外貨建資産の額と組入投資信託の信託財産に属する外貨建資産のうち信託財産に属するとみなした額(信託財産に属する組入投資信託の時価総額に組入投資信託の信託財産の純資産総額に占める外貨建資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。)との合計額についての為替変動リスクを回避するため、外国為替の売買の予約取引の指図することができます。

b 委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性を図るため、一部解約に伴う支払資金の手当(一部解約に伴う支払資金の手当のために借り入れた資金の返済を含みます。)を目的として、または再投資に係る収益分配金の支払資金の手当を目的として、資金借り入れ(コール市場を通じる場合を含みます。)の指図することができます。

⑥ 投資先ファンドの概要

a ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 先進国インカム株式ファンド クラスP分配型受益証券

形態／表示通貨	ルクセンブルグ籍外国証券投資信託／円建て
主な投資方針	・主に先進国の高配当資産株に投資し、安定的な収益分配を行うこと、また長期的な元本の成長を目指すことを目的として運用を行います。 ・投資対象とする資産株の業種は、電力、ガス、水道に加え、電話、通信、運輸、廃棄物処理、エネルギーなどの公益企業や、ヘルスケア、生活必需品、金融などです。 ・上場株式への分散投資を基本とします。
関係法人	管理会社：ピクテ・アセット・マネジメント(ヨーロッパ)エス・エイ 投資顧問会社：ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイ 保管受託銀行：ピクテ・アンド・シー(ヨーロッパ)エス・エイ 登録・名義書換事務代行会社、管理事務代行会社、支払事務代行会社：ファンドパートナー・ソリューションズ(ヨーロッパ)エス・エイ
主な費用	管理報酬等合計：純資産総額の年率0.6% (内訳、その他の費用につきましては後記「4手数料等及び税金 (3)信託報酬等」をご覧ください。)
決算日	毎年12月31日

※本書において上記ファンドを「先進国インカム株式ファンド」という場合があります。

b ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 新興国ハイインカム株式ファンド クラスP分配型受益証券

形態／表示通貨	ルクセンブルグ籍外国証券投資信託／円建て
主な投資方針	・主に新興国に本社を置く大企業または新興国で主な事業活動を行っている大企業が発行する高配当利回りの株式に投資し、安定的な収益分配を行うこと、また長期的な元本の成長を目指すことを目的として運用を行います。 ・上場株式への分散投資を基本とします。

関係法人	管理会社：ピクテ・アセット・マネジメント(ヨーロッパ)エス・エイ 投資顧問会社：ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド 保管受託銀行：ピクテ・アンド・シー(ヨーロッパ)エス・エイ 登録・名義書換事務代行会社、管理事務代行会社、支払事務代行会社：ファンドパートナー・ソリューションズ(ヨーロッパ)エス・エイ
主な費用	管理報酬等合計：純資産総額の年率0.75% (内訳、その他の費用につきましては後記「4 手数料等及び税金 (3)信託報酬等」をご覧ください。)
決算日	毎年12月31日

※本書において上記ファンドを「新興国ハイインカム株式ファンド」という場合があります。

c ピクテ先進国ソブリン・マザーファンド 受益証券

形態／表示通貨	内国証券投資信託(マザーファンド)／円建て
主な投資方針	・主として先進国のソブリン債券に投資し、安定的なインカムゲインの確保とともに信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。 ・投資にあたっては、利回りに着目し、地域別および国別、銘柄別に分散を図ります。
関係法人	委託会社：ピクテ投信投資顧問株式会社 受託会社：三井住友信託銀行株式会社(再信託受託会社：株式会社日本カストディ銀行) 投資顧問会社：ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイ、ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド
主な費用	信託報酬はありません。
決算日	毎年12月27日(休業日の場合は翌営業日)

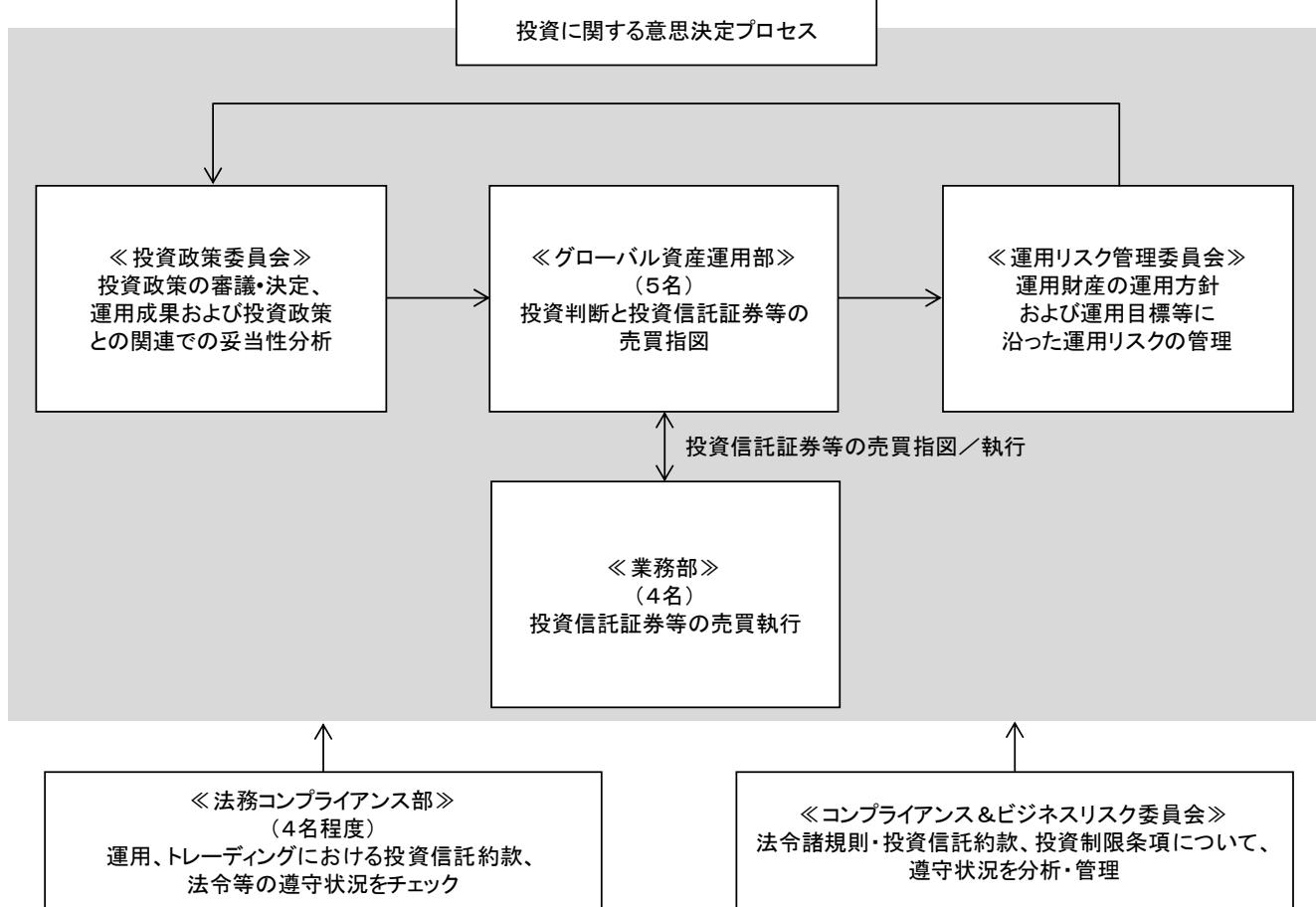
※本書において上記ファンドを「先進国ソブリン・マザーファンド」という場合があります。

d ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 新興国ソブリン・ファンド クラスP分配型受益証券

形態／表示通貨	ルクセンブルグ籍外国証券投資信託／円建て
主な投資方針	・主に現地通貨建ての新興国のソブリン債券に投資し、安定的な収益分配を行うこと、また長期的な元本の成長を目指すことを目的として運用を行います。 ・投資対象国は、メキシコ、香港、シンガポール、トルコ、南アフリカ、チリ、スロバキア、ブラジル、フィリピン、アルゼンチン、タイ、韓国、コロンビア、台湾、インドネシア、インド、中国、ルーマニア、ウクライナ、マレーシア、クロアチア、ロシアなどです。
関係法人	管理会社：ピクテ・アセット・マネジメント(ヨーロッパ)エス・エイ 投資顧問会社：ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド、ピクテ・アセット・マネジメント(シンガポール)ピーティーイー・リミテッド 保管受託銀行：ピクテ・アンド・シー(ヨーロッパ)エス・エイ 登録・名義書換事務代行会社、管理事務代行会社、支払事務代行会社：ファンドパートナー・ソリューションズ(ヨーロッパ)エス・エイ
主な費用	管理報酬等合計：純資産総額の年率0.65% (内訳、その他の費用につきましては後記「4 手数料等及び税金 (3)信託報酬等」をご覧ください。)
決算日	毎年12月31日

※本書において上記ファンドを「新興国ソブリン・ファンド」という場合があります。

### (3) 【運用体制】



- ・投資政策委員会において、投資政策が審議・決定されます。
- ・モニタリングに関しては、法務コンプライアンス部(4名程度)において、運用・トレーディングの状況、資産の組入れの状況ならびに投資信託約款、投資ガイドラインおよび法令等の遵守状況がチェックされます。また、コンプライアンス＆ビジネスリスク委員会において、法令諸規則、投資信託約款および投資制限条項について、その遵守状況が分析・管理されます。運用リスク管理委員会において、運用財産の運用方針および運用目標等に沿って運用リスクの管理が行われます。投資政策委員会においては、前記のほか、運用の成果および投資政策との関連での妥当性が分析されます。これらのモニタリングの結果、必要に応じて、関連部署に指示が出されます。
- ・委託会社においては、運用方針に関する社内規則、運用担当者に関する社内規則およびトレーディングに関する社内規則などのほか、インサイダー取引防止に関する規則等を定め、運用が行われております。
- ・受託会社に対しては、日々の純資産照合、月次の勘定残高照合などを行っており、また受託会社としての事務遂行力が適宜モニタリングされます。

※運用体制は、2020年7月末日現在のものであり、今後変更される場合があります。

### (4) 【分配方針】

- ① 每決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。
  - 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
  - 収益分配金額は、利子・配当等収益の水準および基準価額の水準等を勘案して委託会社が決定します。
  - 留保益の運用については、特に制限を設げず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。
- ② 信託財産から生ずる毎計算期末における利益は、次の方法により処理します。
  - 分配金、利子およびこれらに類する収益から支払利息を控除した額(以下「配当等収益」といいます。)は、諸経費、信託報酬および当該信託報酬に係る消費税等相当額を控除した後その残金を受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配にあてるため、その一部を分配準備積立金として積み立てることができます。
  - 売買損益に評価損益を加減した利益金額(以下「売買益」といいます。)は、諸経費、信託報酬および当該信託報酬に係る消費税等相当額を控除し、繰越欠損金のあるときは、その全額を売買益をもって補てんした後、受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配にあてるため、分配準備積立金として積み立てることができます。
- ③ 每計算期末において、信託財産につき生じた損失は、次期に繰り越します。
- ④ ファンドの決算日  
毎月15日(休業日の場合は翌営業日)を決算日とします。

##### ⑤ 収益分配金のお支払い

収益分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者(当該収益分配金に係る決算日以前において一部解約が行われた受益権に係る受益者を除きます。また、当該収益分配金に係る決算日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とします。)に、原則として決算日から起算して5営業日目までにお支払いします。

「自動けいぞく投資コース」を申込みの場合は、収益分配金は税引後無手数料で再投資されますが、再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

#### (5) 【投資制限】

##### ① 投資信託証券への投資割合(投資信託約款)

制限を設けません。

##### ② 投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパー以外の有価証券への直接投資(投資信託約款)

行いません。

##### ③ 外貨建資産への実質投資割合(投資信託約款)

制限を設けません。

##### ④ 同一銘柄の投資信託証券への投資は、当該投資信託証券が一般社団法人投資信託協会規則に定めるエクスポートジャーがルックスルーできる場合に該当しないときは、当該投資信託証券への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。また、一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポートジャー、債券等エクスポートジャーおよびデリバティブ等エクスポートジャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

##### ⑤ 資金の借入れ(投資信託約款)

###### a 委託会社は、借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。

###### b 一部解約に伴う支払資金の手当てに係る借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間または受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の解約代金入金日までの間もしくは受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金または解約代金ならびに有価証券等の償還金の合計額を限度とします。ただし、資金の借入額は、借入指図を行う日における信託財産の純資産総額の10%以内とします。

###### c 収益分配金の再投資に係る借入期間は信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。

### 3 【投資リスク】

#### (1) ファンドのリスク

ファンドの投資に当たりましては、以下のようなファンドの運用に関わるリスク等に十分ご留意ください。

ファンドは、実質的に株式や公社債等に投資しますので、ファンドの基準価額は、実質的に組入れている株式や公社債の価格変動等(外国証券には為替変動リスクもあります。)により変動し、下落する場合があります。したがって、投資者の皆様の投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、収益や投資利回り等も未確定です。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

##### ① 基準価額の変動要因

###### a 株式投資リスク(価格変動リスク、信用リスク)

- ・ファンドは、実質的に株式に投資しますので、ファンドの基準価額は、実質的に組入れている株式の価格変動の影響を受けます。
- ・株式の価格は、政治経済情勢、発行企業の業績・信用状況、市場の需給等を反映して変動し、短期的または長期的に大きく下落することがあります。

###### b 公社債投資リスク(金利変動リスク、信用リスク)

- ・ファンドは、実質的に公社債に投資しますので、ファンドの基準価額は、実質的に組入れている公社債の価格変動の影響を受けます。
- ・金利変動リスクとは、金利変動により公社債の価格が変動するリスクをいいます。一般的に金利が低下した場合には、公社債の価格は上昇する傾向がありますが、金利が上昇した場合には、公社債の価格は下落する傾向があります。

- ・信用リスクとは、公社債の発行体の財務状況等の悪化により利息や償還金をあらかじめ定められた条件で支払うことができなくなるリスク(債務不履行)、または債務不履行に陥ると予想される場合に公社債の価格が下落するリスクをいいます。

###### c 為替変動リスク

- ・ファンドは、実質的に外貨建資産に投資するため、対円との為替変動リスクがあります。

- ・円高局面は基準価額の下落要因、円安局面は基準価額の上昇要因となります。

- ・為替ヘッジが必要と判断した場合には為替ヘッジを行うことがあります、為替変動リスクを完全に排除できるものではなく、為替変動の影響を受ける場合があります。また、現地通貨による直接ヘッジが困難な一部の通貨については、当該現地通貨との連動性等を勘案し、先進主要国通貨等の他の通貨を用いた代替ヘッジを行う場合がありますが、その場合、通貨間の値動きが異なる場合が想定され、十分な為替ヘッジ効果が得られないことがあります。また、円金利がヘッジ対象通貨建ての金利より低い場合、当該通貨と円の金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。

- d カントリーリスク
  - ・ファンドが実質的な投資対象地域の一つとする新興国は、一般に政治・経済・社会情勢の変動が先進諸国と比較して大きくなる場合があり、政治不安、経済不況、社会不安が証券市場や為替市場に大きな影響を与えることがあります。その結果、ファンドの基準価額が下落する場合があります。
  - ・実質的な投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化により証券市場や為替市場等に混乱が生じた場合、またはそれらの取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、運用方針に沿った運用が困難となる場合があります。この他、当該投資対象国・地域における証券市場を取り巻く制度やインフラストラクチャーに係るリスクおよび企業会計・情報開示等に係るリスク等があります。
- e 有価証券先物取引等に伴うリスク
  - ・組入投資信託において有価証券先物取引等を利用することができますので、このような場合には、ファンドの基準価額は間接的に有価証券先物取引等の価格変動の影響を受けます。
- f 流動性リスク
  - ・市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、ファンドおよび投資先ファンドにおいて機動的に有価証券等を売買できない場合があります。このような場合には、当該有価証券等の価格の下落により、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。
- g 解約によるファンドの資金流出に伴う基準価額変動リスク
  - ・解約によるファンドの資金流出に伴い、ファンドおよび投資先ファンドにおいて保有有価証券等を大量に売却(先物取引等については反対売買)しなければならないことがあります。その際には、市況動向や市場の流動性等の状況によって基準価額が大きく下落する可能性があります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

## ② その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・ルクセンブルグの銀行、ロンドンの銀行またはニューヨーク証券取引所の休業日においては、取得申込みおよび解約請求はできません。
- ・信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口解約には制限を設ける場合があります。
- ・金融商品取引所(金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所および金融商品取引法第2条第8項第3号口に規定する外国金融商品市場をいいます。以下同じ。)等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、受益権の取得申込みおよび解約請求の受け付けを中止することおよびすでに受けた取得申込みおよび解約請求の受け付けを取消すことがあります。その場合、受益者は当該受付中止以前に行った当日の解約請求を撤回できます。ただし、受益者がその解約請求を撤回しない場合には、当該受益権の解約価額は、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に解約請求を受けたものとして後記の解約価額に準じて計算された価額とします。
- ・ファンドは、受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託契約を解約し償還される場合があります。

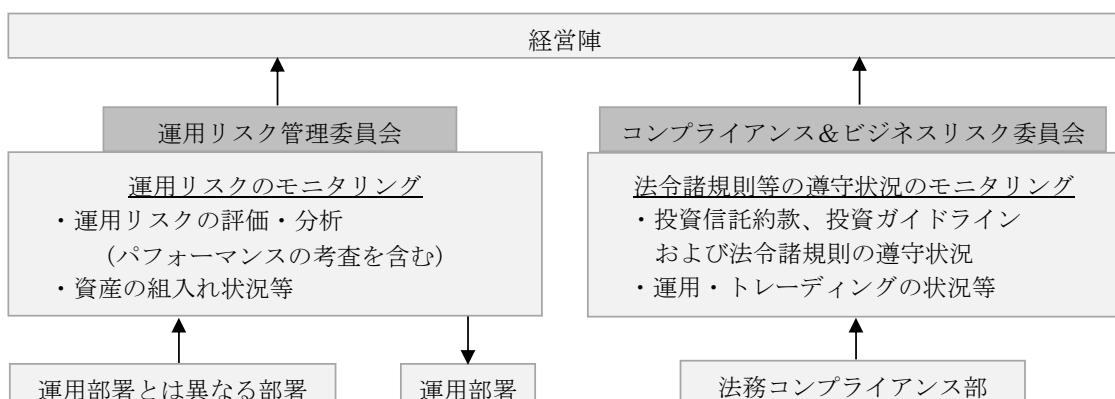
ファンドの取得申込者には、慎重な投資を行うためにファンドの投資目的およびリスク等を認識することが求められます。

## (2)リスクの管理体制

委託会社のリスク管理体制は以下のとおりです。

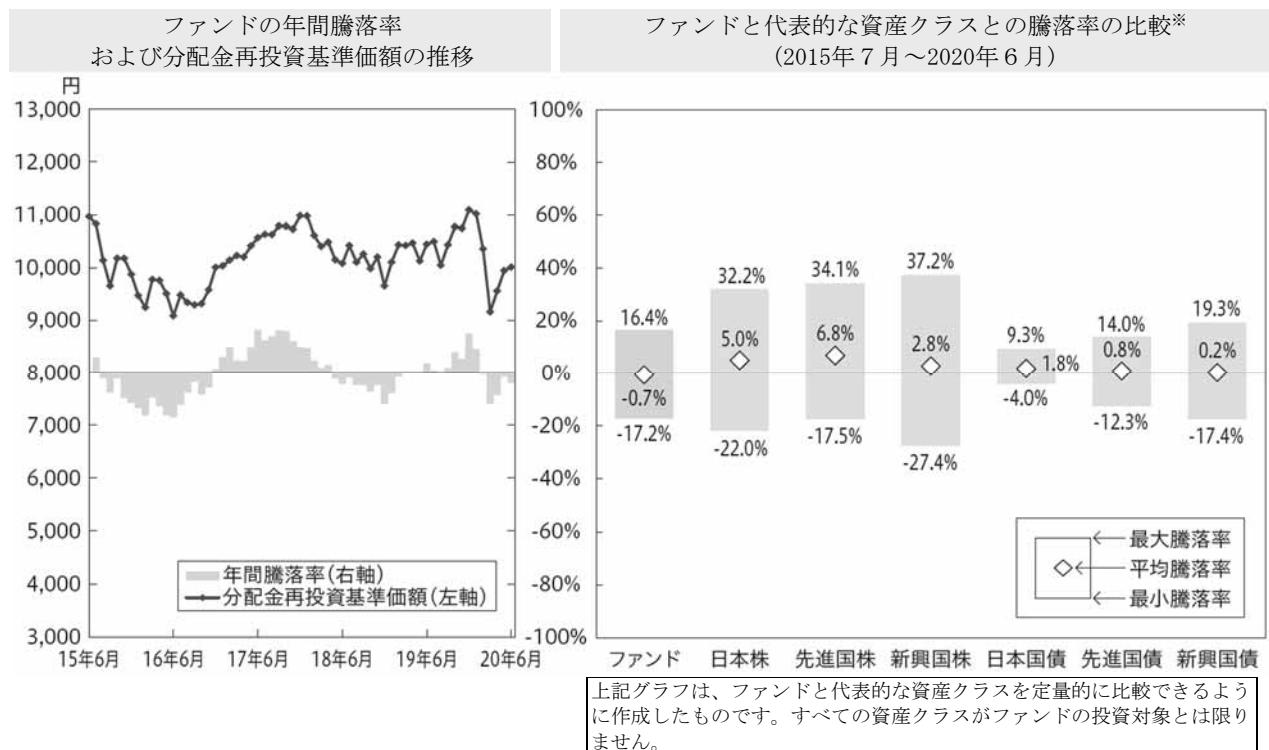
- ファンドの運用におけるリスクの評価・分析(パフォーマンスの考查を含みます。)および資産の組入れの状況等ならびに投資信託約款、投資ガイドライン、法令諸規則の遵守状況および運用・トレーディングの状況等のモニタリングは、運用部署とは異なる部署で行います。
- モニタリングの結果は、上記部署により定期的に運用リスク管理委員会またはコンプライアンス＆ビジネスリスク委員会へ報告されると共に、必要に応じて経営陣へも報告されます。また、問題点等が認識された場合は、すみやかに運用部署その他関連部署へ改善の指示または提案等を行います。

＜リスクの管理体制図＞



※リスクの管理体制は、2020年7月末日現在のものであり、今後変更される場合があります。

## <参考情報>



(注) 「分配金再投資基準価額」とは、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。年間騰落率は、分配金再投資基準価額に基づいて計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なります。

※2015年7月～2020年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小をファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。各資産クラスについては以下の指標に基づき計算しております。

### <各資産クラスの指標>

日本 株	東証株価指数(TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ指数(税引前配当込み、円換算)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット指数(税引前配当込み、円換算)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債指数(除く日本、円換算)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド(円換算)

(海外の指標は、為替ヘッジをしない投資を想定して、ドルベースの各指標を委託会社が円換算しております。)

### 上記各指標について

■東証株価指数(TOPIX) (配当込み)：東証株価指数(TOPIX)は、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象とし、浮動株ベースの時価総額加重型で算出された指標で、同指標に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所(以下「東証」といいます。)に帰属します。東証は、同指標の指数值およびそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。東証は同指標の算出もしくは公表方法の変更、同指標の算出もしくは公表の停止または同指標の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。 ■MSCIコクサイ指数(税引前配当込み)：MSCIコクサイ指数は、MSCI Inc.が開発した株価指標で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、同指標に対する著作権およびその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。 ■MSCIエマージング・マーケット指数(税引前配当込み)：MSCIエマージング・マーケット指数は、MSCI Inc.が開発した株価指標で、世界の新興国で構成されています。また、同指標に対する著作権およびその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。 ■NOMURA-BPI国債：NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指標で、一定の組入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。同指標の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また同社は同指標の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果に関して一切責任を負いません。 ■FTSE世界国債指数(除く日本)：FTSE世界国債指数(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券指標です。同指標はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指標に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。 ■JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドは、J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指標で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的な指標です。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。同指標の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

## 4 【手数料等及び税金】

### (1) 【申込手数料】

3.3% (税抜3.0%) の手数料率を上限として、販売会社が独自に定める率を発行価格に乗じて得た額とします。

※詳しくは、販売会社にてご確認ください。

申込手数料には、消費税等相当額が加算されます。

ただし、「自動けいぞく投資コース」を選択した受益者が収益分配金を再投資する場合は無手数料となります。

※償還乗換優遇措置等の取扱いを行う販売会社では、一定の条件を満たした場合に申込手数料が割引または無手数料となる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

申込手数料および当該手数料に係る消費税等相当額は、取得申込みの際に販売会社の定める日までに販売会社へ支払うものとします。

申込手数料は、投資信託を購入する際の商品等の説明や事務手続等の対価として、販売会社に支払う手数料です。

## (2) 【換金(解約)手数料】

ありません。

## (3) 【信託報酬等】

信託報酬の総額は、ファンドの計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に年1.265%（税抜1.15%）の率を乗じて得た額とし、その配分は次のとおりとします。

＜信託報酬の配分(税抜)および役務の内容＞

委託会社	販売会社	受託会社
年率0.45%	年率0.65%	年率0.05%
ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等

上記の信託報酬は毎日計上（ファンドの基準価額に反映）され、毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支払われます。

信託報酬に係る消費税等相当額を信託報酬支払いのときに信託財産中から支払います。

なお、委託会社の信託報酬には、為替に関する助言・情報提供に係る投資顧問会社への報酬およびマザーファンド（ピクテ先進国ソブリン・マザーファンド）の運用指図に関する権限の委託に係る投資顧問会社への報酬が含まれています。

＜投資対象とする投資信託証券に係る報酬＞

### 先進国インカム株式ファンド

管理報酬：純資産総額の年率0.35%

サービス報酬：純資産総額の年率0.1%

保管受託銀行報酬：純資産総額の年率0.15%

### 新興国ハイインカム株式ファンド

管理報酬：純資産総額の年率0.4%

サービス報酬：純資産総額の年率0.1%

保管受託銀行報酬：純資産総額の年率0.25%

### 先進国ソブリン・マザーファンド

信託報酬はありません。

### 新興国ソブリン・ファンド

管理報酬：純資産総額の年率0.3%

サービス報酬：純資産総額の年率0.1%

保管受託銀行報酬：純資産総額の年率0.25%

※上記の報酬率等は、今後変更となる場合があります。

ファンドの信託報酬率に投資先ファンドに係る報酬率を加えた、受益者が実質的に負担する信託報酬率の概算値は、ファンドの実際の投資信託証券の組入状況に応じて、年率1.765±0.2%（税込）程度となります。

## (4) 【その他の手数料等】

信託財産に関する租税および受託会社の立替えた立替金の利息は、受益者の負担とし、信託財産中から支払います。

信託事務の処理等に要する諸費用（監査費用、法律・税務顧問への報酬、印刷等費用（有価証券届出書、有価証券報告書、投資信託約款、目論見書、運用報告書その他法令により必要とされる書類の作成、届出、交付に係る費用）、公告費用、格付費用、受益権の管理事務に関する費用を含みます。）は、受益者の負担とし、信託財産中から支払うことができます。委託会社は、係る諸費用の支払いをファンドのために行い、その金額を合理的に見積もった結果、信託財産の純資産総額の年率0.055%（税抜0.05%）相当を上限とした額を、係る諸費用の合計額とみなして、ファンドより受領します。

ただし、委託会社は、信託財産の規模等を考慮して、隨時係る諸費用の年率を見直し、前記の額を上限としてこれを変更することができます。また、当該諸費用は、ファンドの計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に応じて計上され、毎計算期末または信託終了のとき、信託財産中から委託会社に対して支払われます。

ファンドの組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、当該売買委託手数料に係る消費税等相当額および外国における資産の保管等に要する費用等（これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。）が、そのつど信託財産から支払われます。なお、投資先ファンドに係る申込み・買戻し手数料はありません。

ファンドにおいて資金借入れを行った場合、当該借入金の利息はファンドから支払われます。

投資先ファンドにおいて、信託財産に課される税金、弁護士への報酬、監査費用、有価証券等の売買に係る手数料等の費用が当該投資先ファンドの信託財産から支払われることがあります。

当該手数料等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができます。

## (5) 【課税上の取扱い】

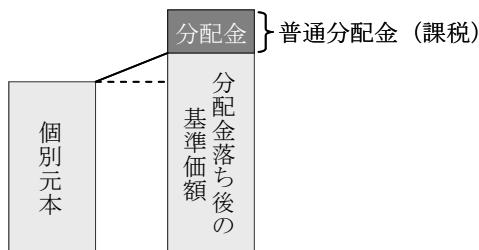
ファンドは課税上、株式投資信託として取扱われます。受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時における差益(法人の受益者の場合は、個別元本超過額)が課税の対象となります。なお、収益分配金のうちの元本払戻金(特別分配金)は課税されません。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。

### <収益分配金の課税>

追加型株式投資信託の収益分配金には、課税扱い(配当所得)となる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」(受益者毎の元本の一部払い戻しに相当する部分)の区があります。受益者が収益分配金を受取る際、

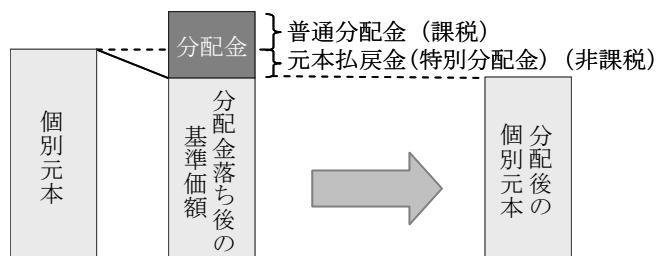
- ① 当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となります。

### <イメージ図>



- ② 当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、当該収益分配金から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が普通分配金となります。
- ③ なお、受益者が元本払戻金(特別分配金)を受取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

### <イメージ図>



### <個別元本について>

- ① 個別元本とは、受益者毎の信託時の受益権の価額等(申込手数料および当該手数料に係る消費税等相当額は含まれません。)をいいます。
- ② 受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。
- ③ ただし、同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合については販売会社毎に個別元本の算出が行われます。また、同一販売会社であっても複数口座で同一ファンドを取得する場合は当該口座毎に、「一般コース」と「自動けいぞく投資コース」の両コースで取得する場合はコース別に、個別元本の算出が行われる場合があります。
- ④ 受益者が元本払戻金(特別分配金)を受取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります(元本払戻金(特別分配金)については、前記の「収益分配金の課税」を参照ください)。

### <解約時および償還時の課税>

個人の受益者の場合、解約時および償還時における差益が課税対象(譲渡所得とみなされます。)となります。  
法人の受益者の場合、解約時および償還時の個別元本超過額が課税対象となります。

### <個人の受益者に対する課税>

- ① 収益分配金のうち課税扱い(配当所得)となる普通分配金における源泉徴収の税率は、以下のとおりとなります(原則として、確定申告は不要です。なお、確定申告を行うことにより申告分離課税または総合課税(配当控除の適用はありません。)を選択することもできます)。
- ② 解約時および償還時における差益(譲渡所得とみなして課税されます。)に係る税率は、以下のとおりとなります(特定口座(源泉徴収選択口座)を利用している場合は、原則として、確定申告は不要となります)。

期間	税率
2014年1月1日から 2037年12月31日まで	20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%)
2038年1月1日以降	20% (所得税15%および地方税5%)

#### ＜法人の受益者に対する課税＞

法人の受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については、以下の税率で源泉徴収され法人の受取額となります(地方税の源泉徴収はありません)。なお、ファンドは、益金不算入制度の適用はありません。

期間	税率
2014年1月1日から 2037年12月31日まで	15.315% (所得税15%および復興特別所得税0.315%)
2038年1月1日以降	15% (所得税15%)

#### ※少額投資非課税制度「愛称：NISA(ニーサ)」について

NISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※外貨建資産への投資により外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※上記は、2020年7月末日現在のものですので、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

### 5 【運用状況】

以下の運用状況は2020年6月30日現在です。

・投資比率はファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率です。

#### (1) 【投資状況】

資産の種類	国・地域	時価合計(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	ルクセンブルグ	8,074,869,734	69.38
親投資信託受益証券	日本	3,475,688,325	29.86
コール・ローン等、その他資産(負債控除後)	—	88,579,876	0.76
合計(純資産総額)		11,639,137,935	100.00

#### (2) 【投資資産】

##### ① 【投資有価証券の主要銘柄】

###### a 評価額上位銘柄明細

順位	国・地域	種類	銘柄名	数量または額面総額	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	投資比率(%)
1	日本	親投資信託受益証券	ピクテ先進国ソブリン・マザーファンド	2,963,581,451	1.1689	3,464,130,359	1.1728	3,475,688,325	29.86
2	ルクセンブルグ	投資信託受益証券	ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー先進国インカム株式ファンド クラスP分配型	1,269,346,1593	2,766.32	3,511,428,018	2,714	3,445,005,476	29.60
3	ルクセンブルグ	投資信託受益証券	ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー新興国ソブリン・ファンド クラスP分配型	947,823,5377	2,495.41	2,365,209,553	2,455	2,326,906,785	19.99
4	ルクセンブルグ	投資信託受益証券	ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー新興国ハイインカム株式ファンド クラスP分配型	1,914,345,3645	1,217	2,329,758,308	1,203	2,302,957,473	19.79

###### b 種類別投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	69.38
親投資信託受益証券	29.86
合計	99.24

##### ② 【投資不動産物件】

該当事項はありません。

##### ③ 【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

### (3) 【運用実績】

##### ① 【純資産の推移】

2020年6月末日および同日前1年以内における各月末ならびに下記特定期間末日の純資産の推移は次のとおりです。

期別	純資産総額(百万円)		1万口当たり純資産額(円)	
	分配落ち	分配付き	分配落ち	分配付き
第8特定期間末 (2010年12月15日)	84,015	84,764	5,604	5,654

第9特定期間末 (2011年6月15日)	75,351	76,049	5,400	5,450
第10特定期間末 (2011年12月15日)	55,847	56,475	4,445	4,495
第11特定期間末 (2012年6月15日)	49,703	50,280	4,313	4,363
第12特定期間末 (2012年12月17日)	48,241	48,769	4,574	4,624
第13特定期間末 (2013年6月17日)	48,728	49,225	4,901	4,951
第14特定期間末 (2013年12月16日)	47,438	47,916	4,957	5,007
第15特定期間末 (2014年6月16日)	45,065	45,522	4,930	4,980
第16特定期間末 (2014年12月15日)	42,903	43,242	5,072	5,112
第17特定期間末 (2015年6月15日)	38,823	39,141	4,892	4,932
第18特定期間末 (2015年12月15日)	30,468	30,767	4,069	4,109
第19特定期間末 (2016年6月15日)	25,799	26,085	3,603	3,643
第20特定期間末 (2016年12月15日)	25,108	25,381	3,677	3,717
第21特定期間末 (2017年6月15日)	23,214	23,406	3,620	3,650
第22特定期間末 (2017年12月15日)	21,129	21,306	3,578	3,608
第23特定期間末 (2018年6月15日)	17,920	18,030	3,258	3,278
第24特定期間末 (2018年12月17日)	15,709	15,811	3,092	3,112
第25特定期間末 (2019年6月17日)	14,561	14,657	3,028	3,048
第26特定期間末 (2019年12月16日)	14,075	14,166	3,095	3,115
第27特定期間末 (2020年6月15日)	11,777	11,863	2,727	2,747
2019年 6月末日	14,744	—	3,070	—
7月末日	14,570	—	3,064	—
8月末日	13,782	—	2,913	—
9月末日	14,103	—	3,006	—
10月末日	14,287	—	3,083	—
11月末日	13,992	—	3,054	—
12月末日	14,234	—	3,155	—
2020年 1月末日	13,720	—	3,103	—
2月末日	13,231	—	3,018	—
3月末日	10,909	—	2,506	—
4月末日	11,265	—	2,598	—
5月末日	11,703	—	2,705	—
6月末日	11,639	—	2,698	—

(注) 純資産総額は百万円未満切捨て。分配付きは、各期間末に行われた分配の額を加算しております。

## ②【分配の推移】

期	期間	1万口当たりの分配金(円)
第8特定期間	2010年6月16日～2010年12月15日	290円
第9特定期間	2010年12月16日～2011年6月15日	300円
第10特定期間	2011年6月16日～2011年12月15日	300円
第11特定期間	2011年12月16日～2012年6月15日	300円
第12特定期間	2012年6月16日～2012年12月17日	300円
第13特定期間	2012年12月18日～2013年6月17日	300円
第14特定期間	2013年6月18日～2013年12月16日	300円
第15特定期間	2013年12月17日～2014年6月16日	300円
第16特定期間	2014年6月17日～2014年12月15日	250円
第17特定期間	2014年12月16日～2015年6月15日	240円
第18特定期間	2015年6月16日～2015年12月15日	240円
第19特定期間	2015年12月16日～2016年6月15日	240円
第20特定期間	2016年6月16日～2016年12月15日	240円
第21特定期間	2016年12月16日～2017年6月15日	200円
第22特定期間	2017年6月16日～2017年12月15日	180円
第23特定期間	2017年12月16日～2018年6月15日	140円
第24特定期間	2018年6月16日～2018年12月17日	120円
第25特定期間	2018年12月18日～2019年6月17日	120円
第26特定期間	2019年6月18日～2019年12月16日	120円
第27特定期間	2019年12月17日～2020年6月15日	120円

## ③【収益率の推移】

期	期間	収益率(%)
第8特定期間	2010年6月16日～2010年12月15日	0.73
第9特定期間	2010年12月16日～2011年6月15日	1.71
第10特定期間	2011年6月16日～2011年12月15日	△12.13
第11特定期間	2011年12月16日～2012年6月15日	3.78
第12特定期間	2012年6月16日～2012年12月17日	13.01
第13特定期間	2012年12月18日～2013年6月17日	13.71
第14特定期間	2013年6月18日～2013年12月16日	7.26
第15特定期間	2013年12月17日～2014年6月16日	5.51
第16特定期間	2014年6月17日～2014年12月15日	7.95
第17特定期間	2014年12月16日～2015年6月15日	1.18
第18特定期間	2015年6月16日～2015年12月15日	△11.92
第19特定期間	2015年12月16日～2016年6月15日	△5.55
第20特定期間	2016年6月16日～2016年12月15日	8.71
第21特定期間	2016年12月16日～2017年6月15日	3.89

第22特定期間	2017年6月16日～2017年12月15日	3.81
第23特定期間	2017年12月16日～2018年6月15日	△5.03
第24特定期間	2018年6月16日～2018年12月17日	△1.41
第25特定期間	2018年12月18日～2019年6月17日	1.81
第26特定期間	2019年6月18日～2019年12月16日	6.18
第27特定期間	2019年12月17日～2020年6月15日	△8.01

(注)収益率の計算方法: (特定期間末の基準価額(当該期間の分配金を加算した額) - 前特定期間末の基準価額(分配落ち)) ÷ 前特定期間末の基準価額(分配落ち) × 100

#### (4) 【設定及び解約の実績】

期	設定口数(口)	解約口数(口)
第8特定期間	1,245,240,338	11,850,693,393
第9特定期間	1,599,190,256	11,984,661,169
第10特定期間	1,261,803,619	15,148,187,082
第11特定期間	1,180,744,875	11,577,827,298
第12特定期間	1,125,262,027	10,908,733,920
第13特定期間	3,128,360,689	9,176,068,350
第14特定期間	3,222,471,773	6,945,016,212
第15特定期間	2,765,706,316	7,060,832,140
第16特定期間	3,935,707,212	10,742,378,306
第17特定期間	2,624,819,406	7,866,477,239
第18特定期間	1,428,511,035	5,898,387,773
第19特定期間	750,738,769	4,020,605,446
第20特定期間	761,038,578	4,080,540,340
第21特定期間	746,377,165	4,908,455,327
第22特定期間	529,068,759	5,612,904,116
第23特定期間	712,952,189	4,762,506,972
第24特定期間	347,876,600	4,544,223,376
第25特定期間	459,655,156	3,169,209,550
第26特定期間	486,446,387	3,097,522,744
第27特定期間	627,564,983	2,921,991,236

<参考情報：運用実績> (2020年6月30日現在)

#### ① 基準価額・純資産の推移



基準価額および基準価額(分配金再投資後)は、1万口当たり、運用管理費用(信託報酬)控除後です。

基準価額(分配金再投資後)は、上記期間中において、購入時手数料等を考慮せず、税引前分配金を再投資した場合の評価額を表します。

#### ② 分配の推移(1万口当たり、税引前)

決算期	分配金
第1期～第156(計)	6,310 円
第157期 20年2月	20 円
第158期 20年3月	20 円
第159期 20年4月	20 円
第160期 20年5月	20 円
第161期 20年6月	20 円
直近1年間 累計	240 円
設定來 累計	6,410 円

#### ③ 主要な資産の状況

[資産別構成比]

	資産名	構成比
1	先進国インカム株式ファンド	29.6%
2	新興国ハイインカム株式ファンド	19.8%
3	先進国ソブリン・マザーファンド	29.9%
4	新興国ソブリン・ファンド	20.0%
5	コール・ローン等、その他	0.8%
	合計	100.0%

○投資先ファンドの状況

[組入上位 5 銘柄]

<株式部分(先進国インカム株式ファンド、新興国ハイインカム株式ファンド)>

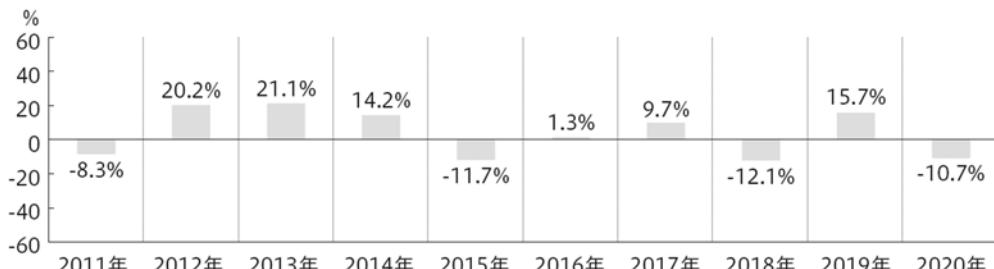
	銘柄名	国名	業種名	構成比
1	イタリア電力公社	イタリア	電力	2.9%
2	サノフィ	フランス	医薬品	2.8%
3	グラクソ・スミスクライン	英国	医薬品	2.6%
4	アストラゼネカ	英国	医薬品	2.6%
5	ナショナル・グリッド	英国	総合公益事業	2.5%

<債券部分(先進国ソブリン・マザーファンド、新興国ソブリン・ファンド)>

	組入国債	利率	償還日	構成比
1	ノルウェー国債	3.000%	2024.03.14	4.4%
2	ロシア国債	7.950%	2026.10.07	3.3%
3	カナダ国債	2.750%	2022.06.01	3.2%
4	ペルー国債	6.850%	2042.02.12	3.2%
5	ニュージーランド国債	2.750%	2037.04.15	3.1%

組入上位 5 銘柄の構成比は、各投資先ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価金額の比率です。

④ 年間收益率の推移



税引前分配金を再投資したものとして計算しています。2020年は 6 月 30 日までの騰落率を表示しています。ファンドにはベンチマークはありません。

ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。最新の運用実績は委託会社のホームページ等で確認することができます。

第2 【管理及び運営】

1 【申込(販売)手続等】

<申込手続き>

- ・ファンドの受益権の取得申込みは、原則として申込期間における毎営業日受付けます。ただし、ルクセンブルグの銀行、ロンドンの銀行またはニューヨーク証券取引所の休業日においては、取得申込みの受付けは行いません(別に定める契約に基づく収益分配金の再投資に係る追加信託の申込みに限ってこれを受付けるものとします)。
- ・取得申込みの受付けは原則として午後 3 時までとします(取得申込みの受付けに係る販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の申込み分とします)。これら受付時間を過ぎてからの取得申込みは翌営業日の取扱いとします。
- ・取得申込みに際しては、販売会社所定の方法で申込みください。
- ・収益分配金の受取方法により、取得申込みには次の 2 コース(販売会社によっては異なる名称が使用される場合があります。)があります。

一般コース : 収益分配金を受取るコース

自動けいぞく投資コース : 収益分配金が税引後無手数料で再投資されるコース

- ・取得申込みを行う投資者は、取得申込みをする際に「一般コース」か「自動けいぞく投資コース」か、いずれかのコースを選択するものとします。ただし、販売会社によっては、どちらか一方のみのお取扱いとなる場合があります。なお、申込済みのコースの変更を行うことは原則としてできません。
- ・「自動けいぞく投資コース」を選択する場合は、販売会社との間で「自動けいぞく投資契約※」を締結していただきます。
- ・販売会社によっては「自動けいぞく投資コース」において収益分配金を定期的に受取るための「定期引出契約※」を締結する場合があります。

※当該契約または規定については、同様の権利義務関係を規定する名称の異なる契約または規定を使用することがあり、この場合、当該別の名称に読み替えるものとします。

- ・取得申込者は販売会社に、取得申込みと同時にまたはあらかじめ、自己のために開設されたファンドの受益権の振替を行うための振替機関等の口座を示すものとし、当該口座に当該取得申込者に係る口数の増加の記載または記録が行われます。なお、販売会社は、当該取得申込みの代金の支払いと引き換えに、当該口座に当該取得申込者に係る口数の増加の記載または記録を行なうことができます。委託会社は、追加信託により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため社振法に定める事項の振替機関への通知を行うものとします。振替機関等は、委託会社から振替機関への通知があった場合、社振法の規定にしたがい、その備える振

替口座簿への新たな記載または記録を行います。受託会社は、追加信託により生じた受益権については追加信託のつど、振替機関の定める方法により、振替機関へ当該受益権に係る信託を設定した旨の通知を行います。

- ・金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、受益権の取得申込みの受け付けを中止することおよびすでに受け付けた取得申込みの受け付けを取消すことがあります。

#### ＜申込単位＞

- ・販売会社が定める1円または1口(当初元本1口=1円)の整数倍の単位とします。  
ただし、「自動けいぞく投資コース」を選択した受益者が収益分配金を再投資する場合は1口単位とします。  
詳しくは、販売会社にてご確認ください。
- ・自動購入サービス契約\*を利用してのご購入の場合は、当該契約に定める単位にて申込みいただく場合があります。  
※当該契約または規定については、同様の権利義務関係を規定する名称の異なる契約または規定を使用することがあり、この場合、当該別の名称に読み替えるものとします。また、「自動購入サービス」等の取扱いの有無については、販売会社にご確認ください。

#### ＜申込価額＞

- ・取得申込受付日の翌営業日の基準価額とします。

#### ＜申込手数料＞

- ・3.3%(税抜3.0%)の手数料率を上限として、販売会社が独自に定める率を申込価額に乗じて得た額とします(申込手数料には、消費税等相当額が加算されます)。

※詳しくは、販売会社にてご確認ください。

#### ＜払込期日、払込取扱場所＞

- ・申込代金は、取得申込みを行った販売会社の定める日までに当該販売会社へお支払いください。

## 2 【換金(解約)手続等】

#### ＜換金手続き(解約請求)＞

- ・受益者は、自己に帰属する受益権につき、委託会社に販売会社が定める1口の整数倍の単位をもって解約の実行を請求することができます。なお、販売会社へのお申込みにあたっては1円の整数倍の単位でお申込みできる場合があります。詳しくは、販売会社にてご確認ください。ただし、ルクセンブルグの銀行、ロンドンの銀行の休業日またはニューヨーク証券取引所の休業日においては、解約請求の受け付けは行いません。
- ・解約請求の受け付けは原則として午後3時までとします(解約請求の受け付けに係る販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の請求分とします)。これら受付時間を過ぎてからの請求は翌営業日の取扱いとします。
- ・解約請求を行う受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して当該受益者の請求に係るファンドの信託契約の一部解約を委託会社が行うのと引き換えに、当該一部解約に係る受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。解約請求を受益者がするときは、振替受益権をもって行うものとします。
- ・金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、解約請求の受け付けを中止することおよびすでに受け付けた解約請求の受け付けを取消すことがあります。解約請求の受け付けが中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行なった当日の解約請求を撤回できます。ただし、受益者がその解約請求を撤回しない場合には、当該受益権の解約価額は、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に解約請求を受けたものとして後記の解約価額に準じて計算された価額とします。

#### ＜解約価額＞

- ・解約請求受付日の翌営業日の基準価額とします。
- ・基準価額は、委託会社(ピクテ投信投資顧問株式会社 電話番号03-3212-1805(受付時間:委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで) ホームページおよび携帯サイト<https://www.pictet.co.jp>)または販売会社に問い合わせることによりることができます。また、基準価額は、原則として計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊に掲載されます(略称「インコレ」)。

#### ＜解約手数料＞

- ・ありません。

#### ＜信託財産留保額＞

- ・ありません。

#### ＜解約代金のお支払い＞

- ・解約代金は、原則として解約請求受付日から起算して7営業日目から販売会社の本・支店等で支払われます。

#### ＜大口解約の制限＞

- ・信託財産の資金管理を円滑に行なうため、大口解約には制限を設ける場合があります。

## 3 【資産管理等の概要】

### (1) 【資産の評価】

#### ① 基準価額の算出方法

基準価額とは、信託財産に属する資産を法令および一般社団法人投資信託協会規則にしたがって時価または一部償却原価法により評価\*して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額(以下「純資産総額」といいます。)を計算日における受益権口数で除した金額をいいます。なお、外貨建資産(外国通貨表示の有価証券(以下「外貨建有価証券」といいます。)、預金その他の資産をいいます。以下同じ。)の円換算については、原則としてわが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算します。予約為替の評価は、原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によって計算します。なお、便宜上、基準価額は1万口当たりに換算した価額で表示しています。

※ファンドの主要投資対象である内国投資信託証券については原則として計算日における基準価額で、外国投資信託証券については原則として計算時において知りうる直近の日の1口当たり純資産価格で評価します。

② 基準価額の算出頻度

原則として、委託会社の毎営業日に計算されます。

③ 基準価額の照会方法

基準価額は、委託会社(ピクテ投信投資顧問株式会社 電話番号03-3212-1805(受付時間：委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで) ホームページおよび携帯サイト<https://www.pictet.co.jp>)または販売会社に問い合わせることにより知ることができます。

また、基準価額は、原則として計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊に掲載されます(略称「インコレ」)。

(2) 【保管】

該当事項はありません。

(3) 【信託期間】

信託期間は、2006年12月28日(当初設定日)から無期限です。

ただし、後記の「(5)その他 ①ファンドの償還条件等」に該当する場合には、信託を終了させる場合があります。

(4) 【計算期間】

ファンドの計算期間は、毎月16日から翌月15日までとすることを原則とします。ただし、第1計算期間は信託契約締結日から2007年2月15日までとします。

なお、各計算期間終了日に該当する日(以下「該当日」といいます。)が休業日のとき、各計算期間終了日は該当日の翌営業日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。ただし、最終計算期間の終了日は信託期間の終了日とします。

(5) 【その他】

① ファンドの償還条件等

- a 委託会社は、信託期間終了前に、ファンドの信託契約の一部を解約することにより受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合またはファンドの信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるときもしくはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、ファンドの信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届出ます。
- b 委託会社は、監督官庁よりファンドの信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令にしたがい、信託契約を解約し信託を終了させます。
- c 委託会社が監督官庁より登録の取消を受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託会社は、ファンドの信託契約を解約し、信託を終了させます。ただし、ファンドは監督官庁がファンドの信託契約に関する委託会社の業務を他の委託会社に引き継ぐことを命じたときは、その委託会社と受託会社との間において存続します。
- d 受託会社は、委託会社の承諾を受けてその任務を辞任することができます。受託会社がその任務に背いた場合、その他重要な事由が生じたときは、委託会社または受益者は、裁判所に受託会社の解任を請求することができます。受託会社が辞任した場合、または裁判所が受託会社を解任した場合、委託会社は投資信託約款の変更の規定にしたがい、新受託会社を選任します。委託会社が新受託会社を選任できないときは、委託会社はファンドの信託契約を解約し、信託を終了させます。

② 投資信託約款の変更

委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、ファンドの投資信託約款を変更することができるものとし、あらかじめ、変更しようとする旨およびその内容を監督官庁に届出ます。

③ ファンドの償還等に関する開示方法

ファンドの償還または投資信託約款の変更のうち重大な内容の変更を行おうとする場合、委託会社はあらかじめこれを公告し、かつファンドに係る知られたる受益者に対して書面を交付します。ただし、ファンドに係るすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として公告を行いません。この公告および書面には、受益者で異議のあるものは一定の期間内に委託会社に対して異議を述べるべき旨を付記します。この公告は日本経済新聞に掲載します。

④ 異議申立ておよび反対者の買取請求権

受益者は、委託会社がファンドの償還または投資信託約款の変更について重大な内容の変更を行おうとする場合、一定の期間(1ヵ月以上)内に委託会社に対して異議を述べることができます。異議を述べた受益者は、受託会社に対し、自己に帰属する受益権を、信託財産をもって買取るべき旨を請求することができます。なお、一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の2分の1を超えるときは、このファンドの償還または投資信託約款の変更を行いません。その場合、償還しない旨または投資信託約款を変更しない旨およびその理由を公告し、かつこれらの事項を記載した書面をファンドに係る知られたる受益者に対して交付します。ただし、ファンドに係るすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として公告を行いません。この公告は日本経済新聞に掲載します。

⑤ 運用報告書の作成

- a 委託会社は、毎年6月、12月の決算時および償還時に、運用経過、信託財産の内容、有価証券売買状況、費用明細などのうち重要な事項を記載した交付運用報告書(投資信託及び投資法人に関する法律第14条第4項に定める運用報告書をいいます。)を作成し、かつファンドに係る知れている受益者に交付します。また、電子交付を

- 選択された場合には、所定の方法により交付します。
- b 委託会社は、運用報告書(全体版)(投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書をいいます。)を作成し、委託会社のホームページ(<https://www.pictet.co.jp>)に掲載します。ただし、受益者から運用報告書(全体版)の交付の請求があった場合には、これを交付します。
- ⑥ 委託会社の事業の譲渡および承継に伴う取扱い
- 委託会社は、事業の全部または一部を譲渡することがあり、これに伴い、ファンドの信託契約に関する事業を譲渡することができます。また、委託会社は、分割により事業の全部または一部を承継させることができます。これに伴い、ファンドの信託契約に関する事業を承継させることができます。
- ⑦ 関係法人との契約の更改
- 委託会社と販売会社との間で締結された募集・販売等に関する契約の有効期間は、期間満了3ヵ月前までに両者いずれからもも何ら意思表示のないときは、自動的に1年間更新されるものとし、自動延長後の取扱いについてもこれと同様とします。
- 委託会社と投資顧問会社との間で締結された投資助言・情報提供に係る契約は、発効日から有効に存続し、両者のいずれかが契約終了日の1ヵ月以上前までに書面により契約終了の通知を行った場合、終了するものとします。

#### 4 【受益者の権利等】

ファンドの受益権は、その取得口数に応じて、取得申込者に帰属します。この受益権は、信託の日時を異にすることにより差異を生ずることはできません。

受益者の有する主な権利は次のとおりです。

##### (1) 収益分配金の請求権

受益者は、委託会社の決定した収益分配金を持分に応じて委託会社に請求する権利を有します。

収益分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者(当該収益分配金に係る決算日以前において一部解約が行われた受益権に係る受益者を除きます。また、当該収益分配金に係る計算期間の末日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とします。)に、原則として決算日から起算して5営業日目までにお支払いします。

「自動けいぞく投資コース」を申込みの場合は、収益分配金は税引後無手数料で再投資されますが、再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

収益分配金の請求権は、支払開始日から5年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、受託会社から交付を受けた金銭は委託会社に帰属します。

##### (2) 償還金に対する請求権

受益者は、償還金を持分に応じて委託会社に請求する権利を有します。

償還金は、信託終了後1ヵ月以内の委託会社の指定する日(原則として償還日(償還日が休業日の場合は翌営業日)から起算して5営業日目までの日)から受益者に支払われます。

償還金の請求権は、支払開始日から10年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、受託会社から交付を受けた金銭は委託会社に帰属します。

##### (3) 受益権の一部解約の実行請求権

受益者は、受益権の一部解約の実行を、委託会社に請求する権利を有します。

一部解約代金は、原則として解約請求受付日から起算して7営業日目から支払われます。

#### 第3 【ファンドの経理状況】

(1) ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づき作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) ファンドの計算期間は6か月未満であるため、財務諸表は6か月毎に作成しております。

(3) ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当特定期間(2019年12月17日から2020年6月15日まで)の財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による監査を受けております。

# 独立監査人の監査報告書

2020年8月5日

ピクテ投信投資顧問株式会社  
取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人  
東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 大畠 茂㊞  
業務執行社員

## 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているピクテ・インカム・コレクション・ファンド(毎月分配型)の2019年12月17日から2020年6月15日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ピクテ・インカム・コレクション・ファンド(毎月分配型)の2020年6月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、すべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、ピクテ投信投資顧問株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

## 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

## 利害関係

ピクテ投信投資顧問株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

## 1 【財務諸表】

ピクテ・インカム・コレクション・ファンド(毎月分配型)

### (1) 【貸借対照表】

(単位：円)

	前期 [2019年12月16日現在]	当期 [2020年6月15日現在]
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
コール・ローン	259,745,557	209,396,832
投資信託受益証券	9,814,396,479	8,166,394,541
親投資信託受益証券	4,146,702,862	3,518,829,911
流動資産合計	14,220,844,898	11,894,621,284
<b>資産合計</b>	14,220,844,898	11,894,621,284
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
未払収益分配金	90,965,309	86,376,457
未払解約金	39,521,861	17,787,343
未払受託者報酬	650,043	547,235
未払委託者報酬	14,300,961	12,039,140
未払利息	711	602
その他未払費用	370,514	453,345
流動負債合計	145,809,399	117,204,122
<b>負債合計</b>	145,809,399	117,204,122
<b>純資産の部</b>		
<b>元本等</b>		
元本	45,482,654,952	43,188,228,699
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金(△)	△31,407,619,453	△31,410,811,537
(分配準備積立金)	608,887,262	642,472,152
元本等合計	14,075,035,499	11,777,417,162
<b>純資産合計</b>	14,075,035,499	11,777,417,162
<b>負債純資産合計</b>	14,220,844,898	11,894,621,284

### (2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	前期 自 2019年6月18日 至 2019年12月16日	当期 自 2019年12月17日 至 2020年6月15日
<b>営業収益</b>		
受取配当金	648,712,316	596,049,295
有価証券売買等損益	310,591,125	△1,598,834,889
<b>営業収益合計</b>	959,303,441	△1,002,785,594
<b>営業費用</b>		
支払利息	78,329	72,925
受託者報酬	3,848,421	3,422,308
委託者報酬	84,665,199	75,290,742
その他費用	2,195,842	2,281,718
<b>営業費用合計</b>	90,787,791	81,067,693
<b>営業利益又は営業損失(△)</b>	868,515,650	△1,083,853,287
経常利益又は経常損失(△)	868,515,650	△1,083,853,287
<b>当期純利益又は当期純損失(△)</b>	868,515,650	△1,083,853,287
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額(△)	7,288,126	△4,028,727
当期純損失金額の分配額(△)		
期首剰余金又は期首次損金(△)	△33,531,958,377	△31,407,619,453
剰余金増加額又は欠損金減少額	2,164,175,851	2,048,581,096
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	2,164,175,851	2,048,581,096
剰余金減少額又は欠損金増加額	339,883,225	447,229,272
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	339,883,225	447,229,272
分配金	561,181,226	524,719,348
期末剰余金又は期末欠損金(△)	△31,407,619,453	△31,410,811,537

### (3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券及び親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、投資信託受益証券及び親投資信託受益証券の基準価額で評価しております。
2. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	特定期間期首の取扱い 信託約款第36条により、2019年12月15日が休日のため、当特定期間期首を2019年12月17日としております。このため当特定期間は182日となっております。

(貸借対照表に関する注記)

	前期 2019年12月16日現在	当期 2020年6月15日現在
1. 元本の推移		
期首元本額	48,093,731,309円	45,482,654,952円
期中追加設定元本額	486,446,387円	627,564,983円
期中一部解約元本額	3,097,522,744円	2,921,991,236円
2 受益権の総数	45,482,654,952口	43,188,228,699口
3. 元本の欠損	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っております、その差額は31,407,619,453円であります。	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っております、その差額は31,410,811,537円であります。

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

	前期 自 2019年6月18日 至 2019年12月16日	当期 自 2019年12月17日 至 2020年6月15日
1. 主要投資対象である親投資信託受益証券において、信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用 当該親投資信託受益証券に係る信託財産の純資産総額のうち、当ファンドに対応する部分の年率0.25%以内の額		1. 主要投資対象である親投資信託受益証券において、信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用 (自 2019年12月17日至 2019年12月31日) 当該親投資信託受益証券に係る信託財産の純資産総額のうち、当ファンドに対応する部分の年率0.25%以内の額 (自 2020年1月1日至 2020年6月15日) 当該親投資信託受益証券に係る信託財産の純資産総額のうち、当ファンドに対応する部分の年率0.20%以内の額
2. 分配金の計算過程 第150期 (2019年6月18日から2019年7月16日まで) 費用控除後の配当等収益額 A 116,023,993円 費用控除後・繰越欠損金補填後の B 0円 有価証券売買等損益額 収益調整金額 C 199,250,595円 分配準備積立金額 D 542,783,371円 当ファンドの分配対象収益額 E=A+B+C+D 858,057,959円 当ファンドの期末残存口数 F 47,801,242,897円 10,000口当たり収益分配対象額 G=E/F×10,000 179.50円 10,000口当たり分配金額 H 20.00円 収益分配金額 I=F×H/10,000 95,602,485円 第151期 (2019年7月17日から2019年8月15日まで) 費用控除後の配当等収益額 A 105,081,020円 費用控除後・繰越欠損金補填後の B 0円 有価証券売買等損益額 収益調整金額 C 198,293,581円 分配準備積立金額 D 557,555,579円 当ファンドの分配対象収益額 E=A+B+C+D 860,930,180円 当ファンドの期末残存口数 F 47,386,208,753円 10,000口当たり収益分配対象額 G=E/F×10,000 181.67円 10,000口当たり分配金額 H 20.00円 収益分配金額 I=F×H/10,000 94,772,417円 第152期 (2019年8月16日から2019年9月17日まで) 費用控除後の配当等収益額 A 117,786,081円 費用控除後・繰越欠損金補填後の B 0円 有価証券売買等損益額 収益調整金額 C 198,540,108円 分配準備積立金額 D 562,708,281円 当ファンドの分配対象収益額 E=A+B+C+D 879,034,470円 当ファンドの期末残存口数 F 47,079,257,223円 10,000口当たり収益分配対象額 G=E/F×10,000 186.70円 10,000口当たり分配金額 H 20.00円 収益分配金額 I=F×H/10,000 94,158,514円 第153期 (2019年9月18日から2019年10月15日まで) 費用控除後の配当等収益額 A 103,571,683円 費用控除後・繰越欠損金補填後の B 0円	2. 分配金の計算過程 第156期 (2019年12月17日から2020年1月15日まで) 費用控除後の配当等収益額 A 109,252,044円 費用控除後・繰越欠損金補填後の B 0円 有価証券売買等損益額 収益調整金額 C 192,735,410円 分配準備積立金額 D 597,835,124円 当ファンドの分配対象収益額 E=A+B+C+D 899,822,578円 当ファンドの期末残存口数 F 44,774,430,245円 10,000口当たり収益分配対象額 G=E/F×10,000 200.96円 10,000口当たり分配金額 H 20.00円 収益分配金額 I=F×H/10,000 89,548,860円 第157期 (2020年1月16日から2020年2月17日まで) 費用控除後の配当等収益額 A 95,516,999円 費用控除後・繰越欠損金補填後の B 0円 有価証券売買等損益額 収益調整金額 C 191,626,689円 分配準備積立金額 D 605,760,890円 当ファンドの分配対象収益額 E=A+B+C+D 892,904,578円 当ファンドの期末残存口数 F 44,057,768,581円 10,000口当たり収益分配対象額 G=E/F×10,000 202.65円 10,000口当たり分配金額 H 20.00円 収益分配金額 I=F×H/10,000 88,115,537円 第158期 (2020年2月18日から2020年3月16日まで) 費用控除後の配当等収益額 A 96,607,131円 費用控除後・繰越欠損金補填後の B 0円 有価証券売買等損益額 収益調整金額 C 191,038,710円 分配準備積立金額 D 605,810,996円 当ファンドの分配対象収益額 E=A+B+C+D 893,456,837円 当ファンドの期末残存口数 F 43,621,369,775円 10,000口当たり収益分配対象額 G=E/F×10,000 204.80円 10,000口当たり分配金額 H 20.00円 収益分配金額 I=F×H/10,000 87,242,739円 第159期 (2020年3月17日から2020年4月15日まで) 費用控除後の配当等収益額 A 111,590,999円 費用控除後・繰越欠損金補填後の B 0円	

有価証券売買等損益額		有価証券売買等損益額			
収益調整金額	C	198,082,841円	収益調整金額	C	191,963,079円
分配準備積立金額	D	581,927,205円	分配準備積立金額	D	610,907,841円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	883,581,729円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	914,461,919円
当ファンドの期末残存口数	F	46,786,691,076口	当ファンドの期末残存口数	F	43,438,872,855口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	188.83円	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	210.50円
10,000口当たり分配金額	H	20.00円	10,000口当たり分配金額	H	20.00円
収益分配金額	I=F×H/10,000	93,573,382円	収益分配金額	I=F×H/10,000	86,877,745円
第154期			第160期		
(2019年10月16日から2019年11月15日まで)				(2020年4月16日から2020年5月15日まで)	
費用控除後の配当等収益額	A	106,070,122円	費用控除後の配当等収益額	A	87,543,576円
費用控除後・繰越欠損金補填後のB		0円	費用控除後・繰越欠損金補填後のB		0円
有価証券売買等損益額			有価証券売買等損益額		
収益調整金額	C	195,767,962円	収益調整金額	C	192,319,636円
分配準備積立金額	D	581,903,660円	分配準備積立金額	D	632,234,679円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	883,741,744円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	912,097,891円
当ファンドの期末残存口数	F	46,054,559,648口	当ファンドの期末残存口数	F	43,279,005,059口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	191.88円	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	210.73円
10,000口当たり分配金額	H	20.00円	10,000口当たり分配金額	H	20.00円
収益分配金額	I=F×H/10,000	92,109,119円	収益分配金額	I=F×H/10,000	86,558,010円
第155期			第161期		
(2019年11月16日から2019年12月16日まで)				(2020年5月16日から2020年6月15日まで)	
費用控除後の配当等収益額	A	112,158,900円	費用控除後の配当等収益額	A	98,206,148円
費用控除後・繰越欠損金補填後のB		0円	費用控除後・繰越欠損金補填後のB		0円
有価証券売買等損益額			有価証券売買等損益額		
収益調整金額	C	194,123,346円	収益調整金額	C	193,219,427円
分配準備積立金額	D	587,693,671円	分配準備積立金額	D	630,642,461円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	893,975,917円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	922,068,036円
当ファンドの期末残存口数	F	45,482,654,952口	当ファンドの期末残存口数	F	43,188,228,699口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	196.54円	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	213.48円
10,000口当たり分配金額	H	20.00円	10,000口当たり分配金額	H	20.00円
収益分配金額	I=F×H/10,000	90,965,309円	収益分配金額	I=F×H/10,000	86,376,457円

#### (金融商品に関する注記)

##### I 金融商品の状況に関する事項

	前期 自 2019年6月18日 至 2019年12月16日	当期 自 2019年12月17日 至 2020年6月15日
1. 金融商品に対する取組方針	ファンドは証券投資信託として、有価証券等の金融商品への投資を運用の基本方針を含めた信託約款の規定に基づき行っております。	同左
2. 金融商品の内容及びそのリスク	ファンドが保有する主な金融商品は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務です。保有する有価証券の詳細は「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 これら金融商品には、市場リスク(価格変動リスク、金利リスク、為替リスク)、信用リスク、流動性リスク等があります。デリバティブ取引等を行った場合は信託約款に記載した目的で取引を行っております。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	運用リスクの管理に係る牽制機能を確保するため、運用リスク管理部門は、運用リスク等に関する状況について、運用リスク管理委員会において定期的に報告を行います。同委員会にはその他の部門からの報告も行われ、運用部門の責任者も交え対応が協議されます。 ・市場リスク 構成銘柄の状況やトラッキングエラー、その他必要に応じて各リスク指標などがチェックされます。 ・信用リスク 平均格付けや格付構成などがチェックされます。 ・流動性リスク 構成銘柄の市場での値付状況等がチェックされます。	同左

## II 金融商品の時価等に関する事項

	前期 自 2019年6月18日 至 2019年12月16日	当期 自 2019年12月17日 至 2020年6月15日
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。	(1)有価証券 同左  (2)デリバティブ取引 同左  (3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によつた場合、当該価額が異なることもあります。	同左
4. 金銭債権の決算日後の償還予定額	貸借対照表に計上している金銭債権は、その全額が1年以内に償還されます。	同左

### (有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

前期(2019年12月16日現在)

(単位：円)

種類	最終の計算期間の損益に含まれた評価差額
投資信託受益証券	236,955,432
親投資信託受益証券	85,962,189
合計	322,917,621

当期(2020年6月15日現在)

(単位：円)

種類	最終の計算期間の損益に含まれた評価差額
投資信託受益証券	653,903,466
親投資信託受益証券	140,524,940
合計	794,428,406

### (デリバティブ取引等に関する注記)

該当事項はありません。

### (関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

### (一口当たり情報に関する注記)

	前期 (2019年12月16日現在)	当期 (2020年6月15日現在)
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	0.3095円 (3,095円)	0.2727円 (2,727円)

### (重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。

## (4) 【附属明細表】

### 第1 有価証券明細表

① 株式

該当事項はありません。

### ② 株式以外の有価証券

種類	銘柄	券面総額(口)	評価額(円)	備考
投資信託 受益証券	ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド 先進国インカム株式ファンドクラスP分配型	1,253,255.5182	3,467,758,018	
	ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド 新興国ソブリン・ファンドクラスP分配型	919,923.6993	2,296,129,553	
	ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド 新興国ハイインカム株式ファンドクラスP分配型	1,974,122.4083	2,402,506,970	
投資信託受益証券小計		4,147,301.6258	8,166,394,541	

親投資信託 受益証券	ピクテ先進国ソブリン・マザーファンド	3,010,377,202	3,518,829,911	
親投資信託受益証券小計		3,010,377,202	3,518,829,911	
合計		3,014,524,503.6258	11,685,224,452	

第2 信用取引契約残高明細表  
該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表  
該当事項はありません。

#### ＜参考情報＞

ファンドは、ルクセンブルグ籍の外国証券投資信託である「ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 先進国インカム株式ファンド」のクラスP分配型受益証券、「ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 新興国ハイインカム株式ファンド」のクラスP分配型受益証券および「ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 新興国ソブリン・ファンド」のクラスP分配型受益証券ならびに親投資信託である「ピクテ先進国ソブリン・マザーファンド」の受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「投資信託受益証券」および「親投資信託受益証券」は、すべて前記投資信託の受益証券です。

これら投資信託の状況は次のとおりです。なお、記載された情報は監査対象外です。

#### 上記ルクセンブルグ籍外国証券投資信託の状況

当投資信託は、ルクセンブルグの法律に基づき設立された外国証券投資信託であります。当投資信託は、2019年12月31日付で、ルクセンブルグにおいて一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠した財務書類が作成されており、独立監査人による財務書類の監査を受けております。以下の「純資産計算書」、「運用計算書および純資産変動計算書」ならびに「投資有価証券およびその他の純資産明細表」等は、原文の財務書類から委託会社が抜粋・翻訳したものであり、「ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 新興国ハイインカム株式ファンド」についてはクラスP分配型を含むすべてのクラスが対象となっております。

純資産計算書			
2019年12月31日現在			
(単位:円)			
	先進国 インカム株式 ファンド	新興国 ハイインカム株式 ファンド	新興国 ソブリン・ ファンド
<b>資産</b>			
投資有価証券取得原価(注1)	4,300,123,702.00	139,463,404,240.00	3,327,319,435.00
投資に係る未実現純利益／(損失)	886,758,917.00	25,158,661,320.00	(125,720,489.00)
投資有価証券時価評価額(注1)	<b>5,186,882,619.00</b>	<b>164,622,065,560.00</b>	<b>3,201,598,946.00</b>
現金預金(注1)	38,492,868.00	4,224,455,838.00	36,197,308.00
未収利息、純額	0.00	0.00	42,687,670.00
為替予約取引に係る未実現純利益(注1, 6)	0.00	0.00	1,698,019.00
その他の資産	0.00	244,400,601.00	0.00
	<b>5,225,375,487.00</b>	<b>169,090,921,999.00</b>	<b>3,282,181,943.00</b>
<b>負債</b>			
未払管理報酬および投資顧問報酬(注3)	1,546,531.00	57,069,386.00	807,520.00
未払年次税(注2)	131,709.00	4,495,114.00	82,729.00
その他の未払報酬(注4)	1,075,947.00	52,631,866.00	946,798.00
	<b>2,754,187.00</b>	<b>114,196,366.00</b>	<b>1,837,047.00</b>
<b>2019年12月31日現在純資産合計</b>	<b>5,222,621,300.00</b>	<b>168,976,725,633.00</b>	<b>3,280,344,896.00</b>
<b>2018年12月31日現在純資産合計</b>	<b>5,365,394,236.00</b>	<b>193,891,195,578.00</b>	<b>3,063,607,298.00</b>
<b>2017年12月31日現在純資産合計</b>	<b>7,748,010,434.00</b>	<b>318,032,378,370.00</b>	<b>4,238,020,873.00</b>

#### 運用計算書および純資産変動計算書

2019年12月31日に終了した期間

(単位:円)

	先進国 インカム株式 ファンド	新興国 ハイインカム株式 ファンド	新興国 ソブリン・ ファンド
<b>期首現在純資産額</b>	<b>5,365,394,236.00</b>	<b>193,891,195,578.00</b>	<b>3,063,607,298.00</b>
<b>収益</b>			
配当金、純額(注1)	201,982,591.00	8,543,505,948.00	0.00
債券利息、純額(注1)	0.00	0.00	281,116,061.00
預金利息	13,466.00	42,565,070.00	3,926,158.00
	<b>201,996,057.00</b>	<b>8,586,071,018.00</b>	<b>285,042,219.00</b>
<b>費用</b>			
管理報酬および投資顧問報酬(注3)	18,792,920.00	737,826,006.00	10,432,623.00
保管報酬、銀行手数料および利息	10,132,887.00	466,815,364.00	9,684,682.00

管理事務費用、サービス報酬、監査費用および その他の費用	7,078,709.00	243,431,617.00	5,989,756.00
年次税(注2)	540,990.00	19,046,909.00	360,743.00
取引費用(注1)	4,755,605.00	211,033,469.00	0.00
	41,301,111.00	1,678,153,365.00	26,467,804.00
<b>投資純利益</b>	<b>160,694,946.00</b>	<b>6,907,917,653.00</b>	<b>258,574,415.00</b>
実現純利益／(損失)			
- 投資有価証券売却(注1, 8)	200,288,245.00	11,184,802,899.75	(399,152,344.00)
- 外国為替(注1)	(5,233,527.00)	(546,083,360.00)	(14,411,734.00)
- 為替予約取引	0.00	35,558,140.00	4,289,934.00
<b>実現純利益／(損失)</b>	<b>355,749,664.00</b>	<b>17,582,195,332.75</b>	<b>(150,699,729.00)</b>
以下に係る未実現純評価利益／(損失)の変動：			
- 投資有価証券(注1, 9)	682,929,374.00	23,101,721,454.25	607,721,242.00
- 為替予約取引	0.00	0.00	(5,027,698.00)
<b>運用による純資産の増加</b>	<b>1,038,679,038.00</b>	<b>40,683,916,787.00</b>	<b>451,993,815.00</b>
受益証券発行手取額	422,610,000.00	7,334,058,370.00	2,662,959,999.00
受益証券買戻費用	(817,063,000.00)	(51,979,963,832.00)	(2,494,400,000.00)
支払分配金(注1, 7)	(786,998,974.00)	(20,952,481,270.00)	(403,816,216.00)
<b>期末現在純資産額</b>	<b>5,222,621,300.00</b>	<b>168,976,725,633.00</b>	<b>3,280,344,896.00</b>

**投資有価証券およびその他の純資産明細表**

2019年12月31日現在

(単位：円)

先進国インカム株式ファンド

銘柄	通貨	数量	時価(注1)	純資産に 対する 比率(%)
<b>公認の金融商品取引所に上場されているまたは他の規制ある市場で取引されている譲渡性のある有価証券</b>				
<b>株式</b>				
<b>カナダ</b>				
ALGONQUIN POWER & UTILITIES	CAD	44,021.00	67,273,121.00	1.29
BCE	CAD	20,892.00	105,068,189.00	2.01
EMERA	CAD	11,319.00	52,157,246.00	1.00
ENBRIDGE	CAD	55,859.00	240,284,728.00	4.60
TC ENERGY	CAD	28,873.00	165,873,639.00	3.18
			<b>630,656,923.00</b>	<b>12.08</b>
<b>フランス</b>				
ENGIE	EUR	42,323.00	75,206,524.00	1.44
SANOFI	EUR	16,013.00	175,473,002.00	3.36
			<b>250,679,526.00</b>	<b>4.80</b>
<b>ドイツ</b>				
E.ON	EUR	60,423.00	70,184,497.00	1.34
TELEFONICA DEUTSCHLAND HOLDING	EUR	372,106.00	117,267,779.00	2.25
			<b>187,452,276.00</b>	<b>3.59</b>
<b>ギリシャ</b>				
HELLENIC TELECOMMUNICATION ORGANIZATIONS	EUR	66,564.00	114,872,315.00	2.20
			<b>114,872,315.00</b>	<b>2.20</b>
<b>イタリア</b>				
ATLANTIA	EUR	61,431.00	156,586,166.00	3.00
ENEL	EUR	287,616.00	249,333,126.00	4.77
TERNA RETE ELETTRICA NAZIONALE	EUR	101,648.00	74,059,977.00	1.42
			<b>479,979,269.00</b>	<b>9.19</b>
<b>オランダ</b>				
KONINKLIJKE KPN	EUR	533,240.00	171,105,153.00	3.28
			<b>171,105,153.00</b>	<b>3.28</b>
<b>スペイン</b>				
AENA	EUR	8,879.00	188,314,238.00	3.61
IBERDROLA	EUR	124,295.00	141,009,871.00	2.70
RED ELECTRICA	EUR	13,857.00	30,572,243.00	0.59
			<b>359,896,352.00</b>	<b>6.90</b>
<b>スイス</b>				
SWISSCOM	CHF	1,160.00	66,924,480.00	1.28
			<b>66,924,480.00</b>	<b>1.28</b>
<b>イギリス</b>				
ASTRAZENECA	GBP	23,432.00	258,205,484.00	4.93
GLAXOSMITHKLINE	GBP	93,654.00	241,422,266.00	4.62
NATIONAL GRID	GBP	174,858.00	238,807,870.00	4.57
SCOTTISH & SOUTHERN ENERGY	GBP	67,572.00	140,983,865.00	2.70

SEVERN TRENT	GBP	20,728.00	75,434,621.00	1.44
			<b>954,854,106.00</b>	<b>18.26</b>
<b>アメリカ合衆国</b>				
AES	USD	48,925.00	106,495,083.00	2.04
ALLIANT ENERGY	USD	23,276.00	137,428,503.00	2.63
AT&T	USD	36,120.00	154,021,340.00	2.95
CENTERPOINT ENERGY	USD	21,435.00	62,521,157.00	1.20
DOMINION ENERGY	USD	22,128.00	197,312,156.00	3.78
DUKE ENERGY	USD	18,471.00	182,655,127.00	3.50
EXELON	USD	29,628.00	146,975,647.00	2.81
HEALTHCARE TRUST OF AMERICA 'A'	USD	20,365.00	66,758,736.00	1.28
KINDER MORGAN 'P'	USD	42,908.00	98,558,107.00	1.89
PFIZER	USD	52,029.00	222,935,699.00	4.27
PUBLIC SERVICE ENTERPRISE GROUP	USD	31,083.00	198,036,103.00	3.79
SOUTHERN COMPANY	USD	30,966.00	213,063,142.00	4.08
WILLIAMS COMPANIES	USD	71,703.00	183,701,419.00	3.52
			<b>1,970,462,219.00</b>	<b>37.74</b>
<b>投資有価証券合計</b>				
現金預金			<b>5,186,882,619.00</b>	<b>99.32</b>
その他の純負債			38,492,868.00	0.74
			(2,754,187.00)	(0.06)
<b>純資産合計</b>				
			<b>5,222,621,300.00</b>	<b>100.00</b>

新興国ハイインカム株式ファンド

銘柄	通貨	数量	時価(注1)	純資産に対する比率(%)
<b>公認の金融商品取引所に上場されているまたは他の規制ある市場で取引されている譲渡性のある有価証券</b>				
<b>株式</b>				
<b>オーストリア</b>				
ERSTE GROUP BANK	EUR	206,628.00	845,727,874.00	0.50
			<b>845,727,874.00</b>	<b>0.50</b>
<b>パミューダ</b>				
COSAN 'A'	USD	389,362.00	964,059,171.00	0.57
			<b>964,059,171.00</b>	<b>0.57</b>
<b>ブラジル</b>				
AES TIETE ENERGIA	BRL	1,183,900.00	507,705,335.00	0.30
BANCO DO BRASIL	BRL	1,224,300.00	1,753,846,471.00	1.04
CIA DE CONCESSOES RODOVIARIAS	BRL	1,936,400.00	1,007,046,671.00	0.60
IRB BRASIL RESSEGUROS	BRL	1,080,300.00	1,154,257,453.00	0.68
ITAUSA INVESTIMENTOS ITAU N1	BRL	9,941.00	3,790,924.00	0.00
ITAUSA INVESTIMENTOS ITAU PFD	BRL	9,327,851.00	3,564,656,309.00	2.11
ITAUUNIBANCO PFD	BRL	887,315.00	896,335,217.00	0.53
PETROBRAS PFD	BRL	1,434,600.00	1,179,712,253.00	0.70
VALE	BRL	2,806,891.00	4,063,377,081.00	2.40
YDUQS PART	BRL	829,500.00	1,077,693,556.00	0.64
			<b>15,208,421,270.00</b>	<b>9.00</b>
<b>ケイマン諸島</b>				
CHAILEASE HOLDING COMPANY	TWD	3,132,692.00	1,594,932,483.00	0.94
LONGFOR GROUP HOLDINGS	HKD	4,548,500.00	2,301,287,504.00	1.36
SHIMAO PROPERTY HOLDINGS	HKD	5,203,500.00	2,174,507,234.00	1.29
SITC INTERNATIONAL HOLDINGS	HKD	5,015,000.00	672,877,924.00	0.40
WYNN MACAU	HKD	5,767,200.00	1,550,829,987.00	0.92
XINYI GLASS HOLDINGS	HKD	10,066,000.00	1,451,880,034.00	0.86
			<b>9,746,315,166.00</b>	<b>5.77</b>
<b>チリ</b>				
ENEL CHILE	CLP	59,953,228.00	618,445,137.00	0.37
			<b>618,445,137.00</b>	<b>0.37</b>
<b>中国</b>				
ANHUI CONCH CEMENT 'H'	HKD	2,651,000.00	2,100,810,582.00	1.24
BANK OF CHINA 'H'	HKD	44,356,100.00	2,082,987,870.00	1.23
CHINA COMMUNICATION CONSTRUCTION 'H'	HKD	8,224,000.00	727,580,283.00	0.43
CHINA CONSTRUCTION BANK 'H'	HKD	74,155,000.00	6,995,815,087.00	4.13
CHINA MERCHANTS BANK 'H'	HKD	7,706,500.00	4,346,051,131.00	2.57
CHINA PACIFIC INSURANCE 'H'	HKD	5,560,200.00	2,432,365,644.00	1.44
CHINA PETROLEUM & CHEMICAL 'H'	HKD	16,094,000.00	1,052,698,392.00	0.62
CHINA SHENHUA ENERGY 'H'	HKD	7,429,500.00	1,719,546,914.00	1.02
CHINA VANKE 'H'	HKD	3,910,200.00	1,808,927,140.00	1.07

CHINA YANGTZE POWER 'A'	CNY	2,036,334.00	583,129,525.00	0.35
HANGZHOU ROBAM APPLIANCES 'A'	CNY	2,400,700.00	1,276,142,387.00	0.76
INDUSTRIAL AND COMMERCIAL BANK OF CHINA 'H'	HKD	26,125,590.00	2,179,889,843.00	1.29
JIANGSU EXPRESSWAY 'H'	HKD	4,352,000.00	652,045,319.00	0.39
LUZHOU LAOJIAO 'A'	CNY	502,663.00	671,763,813.00	0.40
MIDEA GROUP 'A'	CNY	1,410,593.00	1,280,428,632.00	0.76
PICC PROPERTY AND CASUALTY 'H'	HKD	7,107,000.00	952,574,677.00	0.56
SINOTRANS 'H'	HKD	38,386,000.00	1,410,986,041.00	0.84
ZIJIN MINING GROUP 'H'	HKD	25,404,000.00	1,363,413,023.00	0.81
			<b>33,637,156,303.00</b>	<b>19.91</b>
<b>キプロス</b>				
TCS GROUP HOLDING 'A' GDR -SPONS. -	USD	473,428.00	1,089,765,455.00	0.64
			<b>1,089,765,455.00</b>	<b>0.64</b>
<b>ギリシャ</b>				
GREEK ORGAN. FOOTBALL PROGNOSTICS	EUR	1,097,906.00	1,569,322,821.00	0.93
			<b>1,569,322,821.00</b>	<b>0.93</b>
<b>香港</b>				
CHINA MERCHANTS HOLDINGS	HKD	4,604,000.00	841,660,932.00	0.50
CNOOC	HKD	9,417,000.00	1,700,470,859.00	1.01
SHOUGANG FUSHAN RESOURCES GROUP	HKD	37,048,000.00	880,253,578.00	0.52
			<b>3,422,385,369.00</b>	<b>2.03</b>
<b>ハンガリー</b>				
MOL 'A'	HUF	1,331,357.00	1,442,944,482.00	0.85
OTP BANK	HUF	205,022.00	1,159,400,787.00	0.69
			<b>2,602,345,269.00</b>	<b>1.54</b>
<b>インド</b>				
COAL INDIA	INR	4,791,726.00	1,504,881,871.00	0.89
EMBASSY OFFICE PARKS REIT	INR	1,359,600.00	867,951,044.00	0.51
NATIONAL HYDROELECTRIC POWER	INR	19,454,027.00	712,501,560.00	0.42
			<b>3,085,334,475.00</b>	<b>1.82</b>
<b>インドネシア</b>				
BANK NEGARA INDONESIA 'B'	IDR	23,836,600.00	1,462,576,238.00	0.87
UNITED TRACTORS	IDR	4,430,000.00	745,334,860.00	0.44
			<b>2,207,911,098.00</b>	<b>1.31</b>
<b>ルクセンブルグ</b>				
TERNIUM ADR -SPONS. -	USD	516,522.00	1,252,485,584.00	0.74
			<b>1,252,485,584.00</b>	<b>0.74</b>
<b>マレーシア</b>				
CIMB GROUP HOLDINGS BHD	MYR	7,606,330.00	1,070,450,499.00	0.63
			<b>1,070,450,499.00</b>	<b>0.63</b>
<b>メキシコ</b>				
CORPORACION INMOBILIARIA VESTA	MXN	6,741,400.00	1,337,076,006.00	0.79
GFNORTE FINANCIERO BANORTE 'O'	MXN	2,885,600.00	1,822,317,608.00	1.08
GRUPO AEROPORT. DEL CENTRO NORTE 'B'	MXN	2,452,800.00	2,017,371,775.00	1.19
WAL-MART DE MEXICO	MXN	5,366,600.00	1,718,083,538.00	1.02
			<b>6,894,848,927.00</b>	<b>4.08</b>
<b>パキスタン</b>				
OIL & GAS DEVELOPMENT	PKR	7,229,700.00	722,992,581.00	0.43
			<b>722,992,581.00</b>	<b>0.43</b>
<b>ポーランド</b>				
PZU - POWSZECHNY ZAKLAD UBEZPIECZEN	PLN	559,790.00	641,818,449.00	0.38
			<b>641,818,449.00</b>	<b>0.38</b>
<b>ルーマニア</b>				
FONDUL PROPRIETATEA GDR -SPONS. -	USD	659,564.00	997,793,036.00	0.59
			<b>997,793,036.00</b>	<b>0.59</b>
<b>ロシア</b>				
GAZPROM	USD	1,309,230.00	590,792,944.00	0.35
GAZPROM NEFT	USD	1,152,660.00	853,530,984.00	0.51
INTER RAO UES	USD	198,586,000.00	1,744,818,555.00	1.03
LUKOIL ADR -SPONS. -	USD	60,600.00	656,242,617.00	0.39
LUKOIL OIL COMPANY	RUB	278,200.00	3,011,952,772.00	1.78
MOSCOW EXCHANGE	RUB	5,211,130.00	986,239,414.00	0.58
POLYUS PJSC	USD	174,898.00	2,174,942,289.00	1.29
ROSNEFT OIL COMPANY	USD	3,315,500.00	2,624,645,744.00	1.55
RUSHYDRO	USD	870,017,000.00	854,854,695.00	0.51
SBERBANK OF RUSSIA ADR -SPONS. -	USD	1,271,259.00	2,290,508,728.00	1.36
SBERBANK PFD	RUB	11,037,299.00	4,426,429,159.00	2.62
SURGUTNEFTEGAS PIBLIC PFD	USD	13,151,200.00	877,799,670.00	0.52
			<b>21,092,757,571.00</b>	<b>12.49</b>

**シンガポール**

BOC AVIATION 144A/S	HKD	738,800.00	814,700,531.00	0.48
			<b>814,700,531.00</b>	<b>0.48</b>

**スロベニア**

NOVA LJUBLJANSKA BANKA GDR -SPONS.-	EUR	361,838.00	535,737,913.00	0.32
			<b>535,737,913.00</b>	<b>0.32</b>

**南アフリカ**

ABSA GROUP	ZAR	1,306,883.00	1,530,911,487.00	0.91
ASTRAL FOODS	ZAR	386,518.00	656,832,247.00	0.39
GROWTHPOINT PROPERTIES	ZAR	5,923,792.00	1,019,887,316.00	0.60
NEDBANK GROUP	ZAR	458,704.00	773,691,495.00	0.46
SANLAM	ZAR	3,073,649.00	1,918,736,948.00	1.14
			<b>5,900,059,493.00</b>	<b>3.50</b>

**韓国**

KB FINANCIAL	KRW	560,509.00	2,513,563,119.00	1.49
SAMSUNG ELECTRONICS PFD NON-VOTING	KRW	1,922,319.00	8,213,449,882.00	4.85
SHINHAN FINANCIAL GROUP	KRW	608,473.00	2,482,416,869.00	1.47
SK TELECOM	KRW	54,031.00	1,210,219,824.00	0.72
WOONGJIN COWAY	KRW	94,055.00	824,092,324.00	0.49
			<b>15,243,742,018.00</b>	<b>9.02</b>

**台湾**

ACCTON TECHNOLOGY	TWD	1,984,000.00	1,179,054,274.00	0.70
CATCHER TECHNOLOGY	TWD	1,258,000.00	1,046,192,523.00	0.62
CATHAY FINANCIAL HOLDING	TWD	11,961,626.00	1,850,829,339.00	1.10
GLOBALWAFERS	TWD	1,309,000.00	1,840,431,480.00	1.09
NANYA TECHNOLOGY	TWD	2,659,000.00	814,185,432.00	0.48
NIEN MADE ENTERPRISE	TWD	638,000.00	639,240,224.00	0.38
PRIMAX ELECTRONICS	TWD	6,049,000.00	1,387,508,255.00	0.82
TAIWAN SEMICONDUCTOR ADR -SPONS.-	USD	118,152.00	741,968,753.00	0.44
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	TWD	6,110,000.00	7,406,032,496.00	4.37
YUANTA FINANCIAL HOLDING	TWD	25,897,244.00	1,914,396,965.00	1.13
			<b>18,819,839,741.00</b>	<b>11.13</b>

**タイ**

KIATNAKIN BANK -NVDR-	THB	6,300,000.00	1,510,782,689.00	0.89
LAND AND HOUSE -NVDR-	THB	22,105,950.00	787,141,435.00	0.47
PTT -FGN-	THB	13,874,100.00	2,218,068,794.00	1.31
SUPALAI -NVDR-	THB	11,821,400.00	768,846,176.00	0.46
TISCO FINANCIAL GROUP -NVDR-	THB	3,808,504.00	1,373,417,087.00	0.81
			<b>6,658,256,181.00</b>	<b>3.94</b>

**トルコ**

ENERJISA ENERJI	TRY	6,772,884.00	912,836,644.00	0.54
SODA SANAYII	TRY	10,788,471.00	1,218,952,202.00	0.72
TOFAS TURK OTOMOBIL FABRIKASI	TRY	2,884,413.00	1,400,788,533.00	0.83
TUPRAS TURKIY PETROL RAFINERILERI	TRY	308,016.00	718,031,164.00	0.42
TURKCELL ILETISIM HIZMET	TRY	4,386,878.00	1,115,030,217.00	0.66
			<b>5,365,638,760.00</b>	<b>3.17</b>

**アラブ首長国連邦**

EMARA DEVELOPMENT	AED	6,313,378.00	733,293,632.00	0.43
EMIRATES NBD	AED	7,449,403.00	2,880,461,236.00	1.70
			<b>3,613,754,868.00</b>	<b>2.13</b>

**投資有価証券合計**

現金預金			4,224,455,838.00	2.50
その他の純資産			130,204,235.00	0.08
<b>純資産合計</b>			<b>168,976,725,633.00</b>	<b>100.00</b>

新興国ソブリン・ファンド

銘柄	通貨	額面	時価(注1)	純資産に対する比率(%)
----	----	----	--------	--------------

**I. 公認の金融商品取引所に上場されているまたは他の規制ある市場で取引されている譲渡性のある有価証券**

**債券**

**ブラジル**

10.00% Brazil 10/21 'F' BRL 1000	BRL	3,150.00	93,484,907.00	2.85
10.00% Brazil 12/23 'F' BRL 1000 -SR-	BRL	9,000.00	281,601,676.00	8.59
10.00% Brazil 16/27 'F' BRL 1000 -SR-	BRL	5,100.00	168,629,680.00	5.14
			<b>543,716,263.00</b>	<b>16.58</b>

<b>コロンビア</b>				
6.00% Colombia 12/28 'B' -SR-	COP	4,000,000,000.00	132,024,989.00	4.02
6.25% Colombia 17/25 'SB' -SR-	COP	1,000,000,000.00	34,178,682.00	1.04
			<b>166,203,671.00</b>	<b>5.06</b>
<b>ドミニカ共和国</b>				
8.90% Dominican Republic (DUAL) 18/23 -SR-S	DOP	8,000,000.00	16,451,439.00	0.50
			<b>16,451,439.00</b>	<b>0.50</b>
<b>インドネシア</b>				
7.00% Indonesia 11/27 -SR-	IDR	9,500,000,000.00	74,072,394.00	2.26
8.375% Indonesia 13/34 -SR-	IDR	3,000,000,000.00	25,127,058.00	0.77
9.00% Indonesia 13/29	IDR	10,700,000,000.00	93,805,692.00	2.86
10.50% Indonesia 08/38 FR0050 -SR-	IDR	3,200,000,000.00	31,440,964.00	0.96
			<b>224,446,108.00</b>	<b>6.85</b>
<b>メキシコ</b>				
7.75% Mexico 11/31 MXN100 -SR-	MXN	188,000.00	115,925,506.00	3.53
7.75% Mexico 11/42 MXN100 -SR-	MXN	215,000.00	131,374,919.00	4.00
8.00% Mexico 03/23 MXN100	MXN	105,000.00	63,167,883.00	1.93
8.50% MEXICO 09/29 MXN100	MXN	50,000.00	32,184,432.00	0.98
10.00% Mexico 06/36 MXN100 -SR-	MXN	358,000.00	266,659,243.00	8.13
			<b>609,311,983.00</b>	<b>18.57</b>
<b>ペルー</b>				
6.85% Peru (DUAL CURRENCY) 10/42 -SR-S	PEN	5,038.00	199,839,067.00	6.09
			<b>199,839,067.00</b>	<b>6.09</b>
<b>ロシア</b>				
7.05% Russia 13/28 -SR-	RUB	150,000,000.00	278,625,391.00	8.50
7.60% Russia 12/22	RUB	7,700,000.00	14,160,458.00	0.43
7.95% Russia 18/26 S6226	RUB	140,000,000.00	270,986,506.00	8.27
			<b>563,772,355.00</b>	<b>17.20</b>
<b>南アフリカ</b>				
7.00% South Africa 10/31 -SR-	ZAR	30,196,000.00	197,673,736.00	6.03
7.75% South Africa 12/23 -SR-	ZAR	16,000,000.00	125,434,761.00	3.82
8.50% South Africa 13/37 R	ZAR	10,600,000.00	72,637,372.00	2.21
8.75% South Africa 12/49 -SR-	ZAR	1,000,000.00	6,787,104.00	0.21
10.50% South Africa 98/26 -SR-	ZAR	17,270,000.00	149,284,465.00	4.55
			<b>551,817,438.00</b>	<b>16.82</b>
<b>トルコ</b>				
0.00% Turkey 19/20	TRY	5,400,000.00	91,801,985.00	2.80
			<b>91,801,985.00</b>	<b>2.80</b>
<b>ウルグアイ</b>				
8.50% Uruguay (DUAL CURRENCY) 17/28 -SR-S	UYU	1,000,000.00	2,526,625.00	0.08
9.875% Uruguay (DUAL CURRENCY) 17/22 -SR-S	UYU	1,300,000.00	3,762,435.00	0.11
			<b>6,289,060.00</b>	<b>0.19</b>
<b>合計 I.</b>				<b>2,973,649,369.00</b>
<b>II. その他の譲渡性のある有価証券</b>				<b>90.66</b>
<b>債券</b>				
Colombia				
7.25% Colombia 18/34 'B'	COP	1,000,000,000.00	35,210,705.00	1.07
			<b>35,210,705.00</b>	<b>1.07</b>
<b>スリランカ</b>				
10.25% Sri Lanka 19/24 -SR-	LKR	11,000,000.00	6,713,668.00	0.20
11.50% Sri Lanka 17/21 SA -SR-	LKR	5,000,000.00	3,138,896.00	0.10
			<b>9,852,564.00</b>	<b>0.30</b>
<b>債券合計</b>				<b>45,063,269.00</b>
<b>ストラクチャード・プロダクト</b>				
<b>インドネシア</b>				
9.75% CLN Indonesia FR45 19BN (HSBC) 07/37	USD	570,000.00	46,321,589.00	1.41
			<b>46,321,589.00</b>	<b>1.41</b>
<b>ストラクチャード・プロダクト合計</b>				<b>46,321,589.00</b>
<b>合計 II.</b>				<b>91,384,858.00</b>
<b>III. 短期金融商品</b>				
<b>短期金融商品</b>				
<b>ナイジェリア</b>				
TBI Nigeria (OMO) 02/04/20	NGN	61,250,000.00	17,749,104.00	0.54
TBI Nigeria (OMO) 02/07/20	NGN	107,600,000.00	30,098,900.00	0.92
TBI Nigeria (OMO) 16/07/20	NGN	6,330,000.00	1,768,187.00	0.05
TBI Nigeria 160720 S. 364D	NGN	47,980,000.00	13,433,196.00	0.41
			<b>63,049,387.00</b>	<b>1.92</b>
<b>トルコ</b>				
TBI Turkey 10/06/20	TRY	4,200,000.00	73,515,332.00	2.24
			<b>73,515,332.00</b>	<b>2.24</b>
<b>合計III.</b>				<b>136,564,719.00</b>
<b>投資有価証券合計</b>				<b>3,201,598,946.00</b>
<b>現金預金</b>				<b>36,197,308.00</b>
				<b>1.10</b>

財務書類に対する注記(2019年12月31日現在)(抜粋)

注1 重要な会計方針の要約

一般事項

当財務諸表は、UCIに関し、ルクセンブルクにおいて適用される一般に公正妥当と認められる会計基準および法定の報告要件にしたがい表示されています。

ファンドの現在の目論見書に規定されているとおり、各クラスの受益証券の純資産価格は、各取引日において管理会社により算定されます。各サブファンドの取引日は以下のとおりです：

ルクセンブルグ、英国および日本の銀行営業日である日：

- ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 先進国インカム株式ファンド
- ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 新興国ハイインカム株式ファンド
- ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 新興国ソブリン・ファンド

各サブファンドの外国通貨換算

サブファンドの基準通貨以外の通貨建ての現金預金、その他の純資産および投資有価証券の時価評価額は、期末現在の実勢為替レートでサブファンドの基準通貨に換算されます。

サブファンドの基準通貨以外の通貨建ての収益および費用は、取引日の実勢為替レートでサブファンドの基準通貨に換算されます。

発生する為替差損益は、運用計算書および純資産変動計算書に計上されています。

資産の評価

- (1) 金融商品取引所に上場されている有価証券または他の規制ある市場で取引されている有価証券は、係る取引所または市場における入手可能な最終の価格で評価されます。有価証券が複数の金融商品取引所または市場で取引されている場合には、係る有価証券の主要市場である金融商品取引所または市場における入手可能な最終の価格により決定されます。
- (2) 金融商品取引所に上場されていない有価証券または他の規制ある市場で取引されていない有価証券は、入手可能な直近の取引値で評価されます。
- (3) 取引値が入手できない有価証券または(1)および/または(2)に記載される価格が公正な市場価格を反映していない有価証券は、管理会社の取締役会により合理的に予想される売却価格に基づき、慎重かつ誠実な立場から評価されます。
- (4) 短期流動資産は、償却原価法で評価されます。
- (5) オープンエンド型投資信託の受益証券／投資証券は直近の取得可能な1口当たり純資産価格に基づき評価されます。当該価格が公正価値を表していない場合、取締役会が公正かつ慎重に価格を決定します。
- (6) 規制市場、EU域外の金融商品取引所または他の規制のある市場において上場または取引されていない、残存期間が12ヶ月以内の短期金融商品は、額面に経過利息を加えた額で評価され、合計評価額は償却原価法で処理されます。
- (7) 手元現金または現金預金、要求払債券および手形ならびに未収金、前払費用、宣言されたまたは発生済みであるが未受領の配当金および利息は、額面価額が入手可能でないと考えられる場合を除き、額面価額で評価されます。額面価額が入手可能でないと考えられる場合には、係る評価額は、これらの資産の実質価額を反映するために管理会社の取締役会が判断した金額を控除することにより決定されます。

為替予約取引の評価

未決済の為替予約取引から発生する未実現純損益は、評価日において同日現在適用される先渡為替価格を基準に決定され、純資産計算書に計上されます。

投資有価証券売却に係る実現純損益

有価証券売却に係る実現純損益は、加重平均原価に基づき計算されます。

組入有価証券の取得原価

サブファンドの基準通貨以外の通貨建ての有価証券の取得原価は、取得日の実勢為替レートで計算されます。

収益

配当金は、落ち日に源泉徴収後の金額で計上されます。利息は、発生基準で計上されます。

分配金支払

管理会社はすべての配当金・利息および実現純キャピタル・ゲインから分配を行なうことができます。また、合理的な分配水準の維持のため必要と考えられる場合、未実現のキャピタル・ゲインまたは元本から分配を行なうこともできます。サブファンドまたはクラス毎に適用される分配方針は目論見書に記載されています。

分配金の水準は予想される純投資収益を超過する場合があります。したがって、投資家は、受取る分配金には元本の払戻しの要素が含まれる場合があり、この要素が元本の増加を上回った場合にはかかるサブファンドの純資産価額は低下することに留意する必要があります。

分配の結果、純資産がルクセンブルグの法律で定められた最低額を下回ることとなる場合には分配は行われません。

支払期日から5年以内に請求されなかった分配金は、失効し、かかるサブファンドまたはクラスに返戻されます。

取引費用

取引費用は、投資有価証券の購入および売却に関連する各サブファンドにより生じた費用を表します。

これらの費用は、仲介手数料、銀行手数料、税金、預託報酬およびその他の取引費用を含み、2019年12月31日終了年度の運用計算書および純資産変動計算書に含まれます。

注2 一年次税

ルクセンブルクで適用される法令にしたがい、当ファンドはルクセンブルク国内の所得税またはキャピタルゲイン課税(源泉徴収か否かを問わず)の適用対象外です。ただし、当ファンドは、0.05%のSubscription Tax(ファンドの純資産に課される年次税)の課税対象となります。Subscription Taxは、毎四半期末に納税し、その時点で保有する純資産額に応じて税額が決まります。Subscription Taxは、2016年7月23日の法律174(2)条に規定されるとおり、機関投資家向けのリザーブとして保有される株式、マネーマーケット商品にのみ投資するサブファンドの純資産、信用機関への預金に対しては、税率が0.01%となります。

年次税の課税対象外のサブファンド：

- その証券が、少なくとも1つの証券取引所、もしくは規制下で定期的に運営される市場に上場しており、一般に認知され取引可能なサブファンド；
- 1つもしくは2つ以上のインデックスに連動するパッシブ運用のみを目的とするサブファンド。

同一のサブファンドで複数種類の証券が発行されている場合、上記の条件に該当する種別の証券(に相当する額)のみが、課税対象外となります。

また、純資産のうち、ルクセンブルクで取引されており、年次税の課税対象である他のファンド(受益証券、投資証券)に投資している

部分については、年次税の課税対象外となります。

#### 注3－管理報酬および投資顧問報酬

管理会社は、各サブファンドの資産から、各サブファンド／クラスに帰属する平均純資産額を基準に以下の割合で計算される報酬を受領する権利を有します。

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 先進国インカム株式ファンド :

クラスP分配型受益証券：年率0.35%

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 新興国ハイインカム株式ファンド :

クラスP分配型受益証券：年率0.40%

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 新興国ソブリン・ファンド :

クラスP分配型受益証券：年率0.30%

投資顧問会社への報酬は、管理会社により負担されます。

#### 注4－その他の未払報酬

2019年12月31日現在、その他の未払報酬には、保管報酬、管理事務報酬、販売会社報酬および代行協会員報酬が含まれています。

#### 注5－申込手数料および買戻手数料

以下の受益証券には、申込手数料は課せられません。

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 先進国インカム株式ファンド クラスP分配型受益証券

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 新興国ハイインカム株式ファンド クラスP分配型受益証券

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 新興国ソブリン・ファンド クラスP分配型受益証券

各サブファンドの受益証券は、1口当たり純資産額で買戻されます。買戻手数料は課せられません。

一定の状況下において、管理会社は、ファンドの目論見書に定義される「解約留保金」を課すことができます。その場合、解約留保金は、受益証券1口当たり純資産額の2%を超過してはなりません。

#### 注6－為替予約取引

下記の同一の通貨ペアにかかる為替予約取引は合算されています。満期日までの年限が最長の取引のみが表示されています。

2019年12月31日現在、以下の為替予約取引が未決済でした。

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 新興国ソブリン・ファンド

通貨	購入	通貨	売却	満期日
BRL	2,193,913.00	USD	530,965.80	2020/01/03
IDR	5,400,000,000.00	USD	383,740.76	2020/01/10
USD	542,264.31	BRL	2,193,913.00	2020/01/03

2019年12月31日現在のこれらの取引に係る未実現純利益は、1,698,019.00円であり、純資産計算書に含まれています。

#### 注7－分配金の支払

2019年12月31日で終了した年度中、以下の分配金が支払われました。

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 先進国インカム株式ファンド クラスP分配型受益証券 :

2019年1月 1口当たり40円

2019年2月 1口当たり40円

2019年3月 1口当たり40円

2019年4月 1口当たり40円

2019年5月 1口当たり40円

2019年6月 1口当たり40円

2019年7月 1口当たり40円

2019年8月 1口当たり40円

2019年9月 1口当たり40円

2019年10月 1口当たり40円

2019年11月 1口当たり40円

2019年12月 1口当たり40円

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 新興国ハイインカム株式ファンド クラスP分配型受益証券

2019年1月 1口当たり14円

2019年2月 1口当たり14円

2019年3月 1口当たり14円

2019年4月 1口当たり14円

2019年5月 1口当たり14円

2019年6月 1口当たり14円

2019年7月 1口当たり14円

2019年8月 1口当たり14円

2019年9月 1口当たり14円

2019年10月 1口当たり14円

2019年11月 1口当たり14円

2019年12月 1口当たり14円

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 新興国ソブリン・ファンド クラスP分配型受益証券

2019年1月 1口当たり30円

2019年2月 1口当たり30円

2019年3月 1口当たり30円

2019年4月 1口当たり30円

2019年5月 1口当たり30円

2019年6月 1口当たり30円

2019年7月 1口当たり30円

2019年8月 1口当たり30円  
 2019年9月 1口当たり30円  
 2019年10月 1口当たり30円  
 2019年11月 1口当たり30円  
 2019年12月 1口当たり30円

#### 注8－投資対象売却に係る実現純利益／(損失)の詳細

2019年12月31日に終了した年度の投資対象売却に係る実現純利益／(損失)の詳細は、以下のとおりです。

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 先進国インカム株式ファンド		実現利益	実現(損失)	実現純利益／(損失)
JPY	559,444,488.00		(359,156,243.00)	200,288,245.00
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 新興国ハイインカム株式ファンド		実現利益	実現(損失)	実現純利益／(損失)
JPY	19,053,243,950.00		(7,868,441,050.25)	11,184,802,899.75
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 新興国ソブリン・ファンド		実現利益	実現(損失)	実現純利益／(損失)
JPY	96,895,842.00		(496,048,186.00)	(399,152,344.00)

#### 注9－投資有価証券に係る未実現純評価利益／(損失)の変動の詳細

2019年12月31日に終了した年度の投資対象に係る未実現純評価利益／(損失)の変動の詳細は、以下のとおりです。

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 先進国インカム株式ファンド		未実現評価利益の変動	未実現評価(損失)の変動	未実現純評価利益／(損失)の変動
JPY	955,407,635.00		(272,478,261.00)	682,929,374.00
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 新興国ハイインカム株式ファンド	未実現評価利益の変動	未実現評価(損失)の変動	未実現純評価利益／(損失)の変動	
JPY	28,875,974,763.00		(5,774,253,308.75)	23,101,721,454.25
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 新興国ソブリン・ファンド	未実現評価利益の変動	未実現評価(損失)の変動	未実現純評価利益／(損失)の変動	
JPY	634,942,181.00		(27,220,939.00)	607,721,242.00

#### **ピクテ先進国ソブリン・マザーファンド**

#### **貸借対照表**

(単位：円)

	[2019年12月16日現在]	[2020年6月15日現在]
<b>資産の部</b>		
流動資産		
預金	90,066,026	256,540,671
コール・ローン	9,690,069	22,580,958
国債証券	5,450,200,501	4,589,085,258
未収利息	33,126,276	26,837,706
前払費用	10,772,997	2,000,231
流動資産合計	5,593,855,869	4,897,044,824
<b>資産合計</b>	<b>5,593,855,869</b>	<b>4,897,044,824</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払利息	26	64
その他未払費用	－	882
流動負債合計	26	946
<b>負債合計</b>	<b>26</b>	<b>946</b>
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	4,771,980,682	4,189,342,420
剰余金		
剰余金又は欠損金(△)	821,875,161	707,701,458
元本等合計	5,593,855,843	4,897,043,878
<b>純資産合計</b>	<b>5,593,855,843</b>	<b>4,897,043,878</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>5,593,855,869</b>	<b>4,897,044,824</b>

#### **注記表**

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	国債証券 個別法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額(但し、売気配相場は使用しない)、または価格情報会社の提供する価額等で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約 為替予約の評価は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値

3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	によって計算しております。 外貨建取引等の処理基準 「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)第60条、61条に基づいて、外貨建取引の記録、及び外貨の売買を処理しております。
----------------------------	---

(貸借対照表に関する注記)

	2019年12月16日現在	2020年6月15日現在
1. 元本の推移		
期初相当日現在元本額	5,126,847,222円	4,771,980,682円
期中追加設定元本額	169,618,905円	528,742,820円
期中一部解約元本額	524,485,445円	1,111,381,082円
期末元本額	4,771,980,682円	4,189,342,420円
元本の内訳		
ピクテ・インカム・コレクション・ファンド(毎月分配型)	3,537,538,699円	3,010,377,202円
ピクテ・インカム・アルファ・ファンド(毎月分配型)	217,152,722円	198,718,391円
ピクテ優良財政国債券ファンド(適格機関投資家専用)	74,581円	74,191円
ピクテ世界国債ファンド(適格機関投資家専用)	1,017,214,680円	980,172,636円
2. 受益権の総数	4,771,980,682口	4,189,342,420口

(金融商品に関する注記)

I 金融商品の状況に関する事項

	自 2019年6月18日 至 2019年12月16日	自 2019年12月17日 至 2020年6月15日
1. 金融商品に対する取組方針	ファンドは証券投資信託として、有価証券等の金融商品への投資を運用の基本方針を含めた信託約款の規定に基づき行っております。	同左
2. 金融商品の内容及びそのリスク	ファンドが保有する主な金融商品は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務です。保有する有価証券の詳細は「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 これら金融商品には、市場リスク(価格変動リスク、金利リスク、為替リスク)、信用リスク、流動性リスク等があります。デリバティブ取引等を行った場合は信託約款に記載した目的で取引を行っております。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	運用リスクの管理に係る牽制機能を確保するため、運用リスク管理部門は、運用リスク等に関する状況について、運用リスク管理委員会において定期的に報告を行います。同委員会にはその他の部門からの報告も行われ、運用部門の責任者も交え対応が協議されます。 ・市場リスク 構成銘柄の状況やトラッキングエラー、その他必要に応じて各リスク指標などがチェックされます。 ・信用リスク 平均格付けや格付構成などがチェックされます。 ・流動性リスク 構成銘柄の市場での値付状況等がチェックされます。	同左

II 金融商品の時価等に関する事項

	自 2019年6月18日 至 2019年12月16日	自 2019年12月17日 至 2020年6月15日
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似し	(1)有価証券 同左  (2)デリバティブ取引 同左  (3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 同左

	ているため、当該帳簿価額を時価としております。	
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によつた場合、当該価額が異なることもあります。	同左
4. 金銭債権の決算日後の償還予定額	貸借対照表に計上している金銭債権は、その全額が1年以内に償還されます。	同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

(2019年12月16日現在)

(単位：円)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
国債証券	100,387,401
合計	100,387,401

(2020年6月15日現在)

(単位：円)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
国債証券	166,370,018
合計	166,370,018

(注)当計算期間の損益に含まれた評価差額は、親投資信託の期首日から本報告書における開示対象ファンドの期末日までの期間に対応する金額であります。

(デリバティブ取引等に関する注記)

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(一口当たり情報に関する注記)

	(2019年12月16日現在)	(2020年6月15日現在)
1 口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.1722円 (11,722円)	1.1689円 (11,689円)

(重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。

### 附属明細表

第1 有価証券明細表

① 株式

該当事項はありません。

② 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
国債証券	カナダドル	2.75% CANADIAN GOVT 22/06/01	3,130,000.00	3,284,622.00	
		3.5% CANADIAN GOVT 45/12/01	1,110,000.00	1,711,065.00	
		4% CANADIAN GOVT 41/06/01	555,000.00	868,297.50	
		5.75% CANADIAN GOVT 29/06/01	840,000.00	1,225,728.00	
		5.75% CANADIAN GOVT 33/06/01	460,000.00	748,098.00	
		5% CANADIAN GOVT 37/06/01	210,000.00	345,702.00	
	カナダドル 小計		6,305,000.00	8,183,512.50 (643,715,093)	
	ユーロ	2.125% OBRIGACOES DO TES 28/10/17	1,480,000.00	1,688,532.00	
		2.2% OBRIGACOES DO TESOU 22/10/17	770,000.00	815,738.00	
		2.25% OBRIGACOES DO TESO 34/04/18	715,000.00	848,705.00	
		2.875% OBRIGACOES DO TES 26/07/21	920,000.00	1,073,088.00	
		4.1% OBRIGACOES DO TESOU 37/04/15	305,000.00	450,058.00	
		4.1% OBRIGACOES DO TESO 45/02/15	200,000.00	312,600.00	
		5.65% OBRIGACOES DO TESO 24/02/15	1,200,000.00	1,457,400.00	
	ユーロ 小計		5,590,000.00	6,646,121.00 (802,053,882)	
イギリスポンド	イギリスポンド	1.75% UK TREASURY 22/09/07	870,000.00	904,539.00	
		4.25% UK TREASURY 49/12/07	230,000.00	455,929.00	
		4.5% UK GOVT 34/09/07	400,000.00	626,200.00	
		4.5% UK TREASURY 42/12/07	500,000.00	910,900.00	
		4.75% UK TREASURY 30/12/07	460,000.00	676,568.00	

	4.75% UK TREASURY 38/12/07	310,000.00	541,043.00	
	4% UK TREASURY 60/01/22	500,000.00	1,126,500.00	
	5% UK TREASURY 25/03/07	290,000.00	358,498.00	
イギリスポンド 小計		3,560,000.00	5,600,177.00	(751,207,742)
ノルウェークローネ	1.75% NORWEGIAN GOVT 27/02/17	7,200,000.00	7,822,800.00	
	1.75% NORWEGIAN GOVT 29/09/06	15,100,000.00	16,705,130.00	
	2% NORWEGIAN GOVT 23/05/24	7,910,000.00	8,318,947.00	
	3.75% NORWEGIAN GOVT 21/05/25	7,370,000.00	7,614,684.00	
	3% NORWEGIAN GOVT 24/03/14	28,890,000.00	31,825,224.00	
ノルウェークローネ 小計		66,470,000.00	72,286,785.00	(800,214,709)
オーストラリアドル	3.25% AUSTRALIAN GOVT 29/04/21	2,055,000.00	2,477,919.00	
	3.75% AUSTRALIAN GOVT 37/04/21	1,880,000.00	2,540,632.00	
	4.25% AUSTRALIAN GOVT 26/04/21	1,760,000.00	2,142,976.00	
	4.75% AUSTRALIAN GOVT 27/04/21	820,000.00	1,047,878.00	
	5.5% AUSTRALIAN GOVT 23/04/21	940,000.00	1,079,966.00	
	5.75% AUSTRALIAN GOVT 21/05/15	550,000.00	577,390.00	
	5.75% AUSTRALIAN GOVT 22/07/15	870,000.00	968,745.00	
オーストラリアドル 小計		8,875,000.00	10,835,506.00	(791,642,068)
ニュージーランドドル	2.75% NEW ZEALAND GOVT 37/04/15	2,700,000.00	3,383,100.00	
	4.5% NEW ZEALAND GOVT 27/04/15	2,810,000.00	3,545,658.00	
	5.5% NEW ZEALAND GOVT 23/04/15	1,550,000.00	1,775,370.00	
	6% NEW ZEALAND GOVT 21/05/15	2,790,000.00	2,937,591.00	
ニュージーランドドル 小計		9,850,000.00	11,641,719.00	(800,251,764)
合計			4,589,085,258	(4,589,085,258)

(注)

- 各通貨毎の小計欄における( )内の金額は、邦貨換算額であります。
- 合計欄における( )内の金額は、外貨建有価証券の邦貨換算の合計額であり内数で表示しております。

#### 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入債券時価比率	合計額に対する比率
カナダドル	国債証券 6 銘柄	100.0%	14.0%
ユーロ	国債証券 7 銘柄	100.0%	17.5%
イギリスポンド	国債証券 8 銘柄	100.0%	16.4%
ノルウェークローネ	国債証券 5 銘柄	100.0%	17.4%
オーストラリアドル	国債証券 7 銘柄	100.0%	17.3%
ニュージーランドドル	国債証券 4 銘柄	100.0%	17.4%

#### 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

#### 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

#### 2 【ファンドの現況】

以下のファンドの現況は2020年6月30日現在です。

##### 【純資産額計算書】

I 資産総額	11,700,385,950円
II 負債総額	61,248,015円
III 純資産総額(I - II)	11,639,137,935円
IV 発行済口数	43,145,434,278口
V 1万口当たり純資産額(III/IV)	2,698円

#### 第4 【内国投資信託受益証券事務の概要】

##### 1 名義書換について

該当事項はありません。

##### 2 受益者等に対する特典

該当事項はありません。

##### 3 受益権の譲渡

(1) 受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等に振替の申請をするものとします。

- (2)(1)の申請のある場合には、(1)の振替機関等は、当該譲渡に係る譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、(1)の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等(当該他の振替機関等の上位機関を含みます。)に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行われるよう通知するものとします。
- (3)(1)の振替について、委託会社は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託会社が必要と認めたときまたはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

#### 4 受益権の譲渡の対抗要件

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。

#### 5 受益権の再分割

委託会社は、受託会社と協議のうえ、社振法に定めるところにしたがい、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

#### 6 償還金

償還金は、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者(償還日以前において一部解約が行われた受益権に係る受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とします。)に支払います。

#### 7 質権口記載または記録の受益権の取扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権に係る収益分配金の支払い、一部解約の実行の請求の受け付け、一部解約代金および償還金の支払い等については、約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取扱われます。

### 第三部【委託会社等の情報】

#### 第1【委託会社等の概況】

##### 1【委託会社等の概況】

###### (1)資本金の額

2020年7月末日現在：2億円

委託会社が発行する株式の総数：20,000株(普通株式：10,000株 A種優先株式：10,000株)

発行済株式総数：1,563株(普通株式：800株 A種優先株式：763株)

最近5年間における資本金の額の増減：2018年10月10日付で2億円から14億円に増加

2018年12月7日付で14億円から2億円に減少

###### (2)委託会社の機構

###### ① 経営の意思決定機構

株主総会で選任された取締役および監査役で構成される取締役会が設置されています。取締役会は、委託会社の業務執行の基本方針を含む企業運営方針を決定し、取締役の職務の執行を監督します。また、取締役会の定めた経営方針・経営計画に基づく業務執行の意思決定(取締役会の専権事項を除く。)を行う機関として、取締役会で選任された経営会議メンバーで構成される経営会議が設置されています。代表取締役は経営会議メンバーの業務を統括し、指揮監督します。

###### ② 投資運用の意思決定機構

運用部門、プロダクト部門およびコンプライアンス部門の代表者を主要メンバーとして構成される投資政策委員会において、投資政策の審議・決定ならびにその運用の成果および投資政策との関連での妥当性を分析します。投資政策委員会において決定された信託財産の投資政策に基づき、運用部門が運用の指図を行います。運用の指図に関する権限を外部の投資顧問会社に委託することまたは外部の投資顧問会社からの助言を受けることがあります。

#### 2【事業の内容及び営業の概況】

投資信託及び投資法人に関する法律に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに金融商品取引法に定める金融商品取引業者としてその運用(投資運用業)を行っています。また金融商品取引法に定める投資助言・代理業、第一種金融商品取引業の一部、第二種金融商品取引業の一部および付随業務の一部を行っています。2020年7月末日現在、委託会社が運用する投資信託財産の合計純資産総額は次のとおりです(ただし、マザーファンドを除きます)。

種類	本数	純資産総額(円)
追加型株式投資信託	117	1,952,155,942,144
単位型株式投資信託	21	74,545,398,092
合計	138	2,026,701,340,236

#### 3【委託会社等の経理状況】

##### 1. 財務諸表の作成方法について

当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という。)並びに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年内閣府令第52号)に基づいて作成しております。

なお、財務諸表の金額については、千円未満の端数を切り捨てて記載しております。

##### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第35期事業年度(2019年1月1日から2019年12月31日まで)の財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人の監査を受けております。

## 独立監査人の監査報告書

2020年3月11日

ピクテ投信投資顧問株式会社  
取締役会御中

### PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 大畠 茂 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているピクテ投信投資顧問株式会社の2019年1月1日から2019年12月31日までの第35期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

#### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ピクテ投信投資顧問株式会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注) 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

財務諸表

(1) 【貸借対照表】

(単位：千円)

	第34期 (2018年12月31日現在)	第35期 (2019年12月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金・預金	3,711,860	4,506,488
前払費用	79,027	78,871
未収委託者報酬	1,685,428	2,295,464
未収還付法人税等	83,663	-
未収収益	263,070	448,435
その他	11,075	13,874
流動資産計	5,834,126	7,343,134
固定資産		
有形固定資産		
建物付属設備	※1 194,447	187,123
器具備品	※1 126,555	122,817
有形固定資産合計	321,002	309,941
無形固定資産		
ソフトウェア	50,121	36,066
その他	831	831
無形固定資産合計	50,953	36,898
投資その他の資産		
投資有価証券	5,190	5,433
長期差入保証金	284,554	286,676
繰延税金資産	785,394	891,796
投資その他の資産合計	1,075,138	1,183,907
固定資産計	1,447,094	1,530,747
資産合計	7,281,220	8,873,881
(単位：千円)		
	第34期 (2018年12月31日現在)	第35期 (2019年12月31日現在)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
預り金	32,961	25,546
未払金		
未払手数料	907,510	1,272,877
その他未払金	264,097	382,635
未払法人税等	-	337,277
賞与引当金	588,498	1,081,528
その他	103,729	116,692
流動負債合計	1,896,797	3,216,556
固定負債		
長期借入金	※2 2,400,000	2,400,000
退職給付引当金	360,643	140,138
資産除去債務	81,540	81,736
固定負債合計	2,842,183	2,621,875
負債合計	4,738,981	5,838,431
(単位：千円)		
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	200,000	200,000
利益剰余金		
利益準備金	50,000	50,000
その他利益剰余金	2,292,176	2,784,524
繰越利益剰余金	2,292,176	2,784,524
利益剰余金合計	2,342,176	2,834,524
株主資本合計	2,542,176	3,034,524
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	62	925
評価・換算差額等合計	62	925
純資産合計	2,542,239	3,035,449
負債・純資産合計	7,281,220	8,873,881

## (2) 【損益計算書】

(単位：千円)

	第34期 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	第35期 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
営業収益		
委託者報酬	14,781,311	16,420,074
その他営業収益	1,302,354	1,487,877
営業収益計	16,083,665	17,907,952
営業費用		
支払手数料	9,004,895	9,941,917
広告宣伝費	336,376	344,051
調査費		
調査費	163,385	184,540
委託調査費	1,340,587	1,459,077
委託計算費	394,917	405,398
営業雑経費		
通信費	54,988	67,770
印刷費	263,151	290,584
諸会費	12,423	12,802
図書費	2,948	2,981
諸経費	4,528	5,831
営業費用計	11,578,202	12,714,954
一般管理費		
給料		
役員報酬	120,350	122,116
給料・手当	1,856,527	1,865,795
賞与	474,775	376,353
賞与引当金繰入	488,893	1,037,268
旅費交通費	127,937	151,720
租税公課	66,628	71,096
不動産賃借料	347,815	354,515
退職給付費用	236,714	56,799
固定資産減価償却費	73,103	78,558
消耗器具備品費	18,691	34,152
人材採用費	35,910	29,741
修繕維持費	32,905	30,152
諸経費	177,587	214,632
一般管理費計	4,057,841	4,422,905
営業利益	447,621	770,092
営業外収益		
受取利息	50	22
法人税等還付加算金	2	956
その他	3,046	1,680
営業外収益計	3,099	2,659
営業外費用		
支払利息	10,250	45,625
為替差損	14,411	-
その他	2,561	3
営業外費用計	27,222	45,628
経常利益	423,498	727,123
税引前当期純利益	423,498	727,123
法人税、住民税及び事業税	79,910	341,559
法人税等調整額	66,756	△106,783
法人税等合計額	146,666	234,775
当期純利益	276,832	492,347

(3)【株主資本等変動計算書】

第34期(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

(千円)

	資本金	株主資本				
		資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金
当期首残高	200,000	-	-	-	50,000	2,171,640
当期変動額						
新株の発行	1,200,000	1,200,000	-	1,200,000	-	-
資本金から剰余金への振替	△1,200,000	-	1,200,000	1,200,000	-	-
準備金から剰余金への振替	-	△1,200,000	1,200,000	-	-	-
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-
自己株式の処分	-	-	△2,400,000	△2,400,000	-	△156,295
当期純利益	-	-	-	-	-	276,832
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	-	-	-	120,536
当期末残高	200,000	-	-	-	50,000	2,292,176
						2,342,176

(千円)

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	-	2,421,640	707	707	2,422,347
当期変動額					
新株の発行	-	2,400,000	-	-	2,400,000
資本金から剰余金への振替	-	-	-	-	-
準備金から剰余金への振替	-	-	-	-	-
自己株式の取得	△2,556,295	△2,556,295	-	-	△2,556,295
自己株式の処分	2,556,295	-	-	-	-
当期純利益	-	276,832	-	-	276,832
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	△644	△644	△644
当期変動額合計	-	120,536	△644	△644	119,891
当期末残高	-	2,542,176	62	62	2,542,239

第35期(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(千円)

	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	利益剰余金		株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計			
		利益準備金	その他利益剰余金						
当期首残高	200,000	50,000	2,292,176	2,342,176	2,542,176	62	62	2,542,239	
当期変動額									
当期純利益	-	-	492,347	492,347	492,347	-	-	492,347	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-	-	-	862	862	862	
当期変動額合計	-	-	492,347	492,347	492,347	862	862	493,209	
当期末残高	200,000	50,000	2,784,524	2,834,524	3,034,524	925	925	3,035,449	

重要な会計方針

区分	
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	(1)その他有価証券時価のあるもの 決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。
2. 固定資産の減価償却の方法	(1)有形固定資産(リース資産を除く) 定額法により償却しております。 (2)無形固定資産(リース資産を除く) 定額法により償却しております。 なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額

	法により償却しております。
3. 外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準	外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。
4. 引当金の計上基準	(1)貸倒引当金 債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により算出した額を計上しております。貸倒懸念債権等はありません。 (2)賞与引当金 従業員に支給する賞与の支払いに充てるため、支出見込額の当期負担分を計上しております。 (3)退職給付引当金 従業員及び役員の退職金に充てるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。退職給付見込額を当期までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。過去勤務費用及び数理計算上の差異は、その発生年度に一括損益処理しております。
5. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	(1)消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

#### 未適用の会計基準等

##### 1. 収益認識に関する会計基準等

- ・「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 平成30年3月30日 企業会計基準委員会)
- ・「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 平成30年3月30日 企業会計基準委員会)

##### (1)概要

国際会計基準審議会(IASB)及び米国財務会計基準審議会(FASB)は、共同して収益認識に関する包括的な会計基準の開発を行い、2014年5月に「顧客との契約から生じる収益」(IASBにおいてはIFRS第15号、FASBにおいてはTopic606)を公表しており、IFRS第15号は2018年1月1日以降開始する事業年度から、Topic606は2017年12月15日より後に開始する事業年度から適用される状況を踏まえ、企業会計基準委員会において、収益認識に関する包括的な会計基準が開発され、適用指針とあわせて公表されたものです。

企業会計基準委員会の収益認識に関する会計基準の開発に当たって基本的な方針として、IFRS第15号と整合性を図る便宜の1つである財務諸表間の比較可能性の観点から、IFRS第15号の基本的な原則を取り入れることを出発点とし、会計基準を定めることとされ、また、これまで我が国で行われてきた実務等に配慮すべき事項がある場合は、比較可能性を損なわせない範囲で代替的な取り扱いを追加することとされております。

##### (2)適用予定日

2022年12月期の期首から適用します。

##### (3)当該会計基準等の適用による影響

「収益認識に関する会計基準」等の適用による財務諸表に与える影響額については、現時点で評価中であります。

##### 2. 時価の算定に関する会計基準等

- ・「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 令和1年7月4日 企業会計基準委員会)
- ・「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 令和1年7月4日 企業会計基準委員会)

##### (1)概要

国際会計基準審議会(IASB)及び米国財務会計基準審議会(FASB)は、公正価値測定に関して会計基準の開発を行い、2011年5月に「公正価値測定」(IASBにおいてはIFRS第13号、FASBにおいてはTopic820)を公表しており、IFRS第13号は2013年1月1日以降開始する事業年度から、Topic820は2011年12月15日より後に開始する事業年度から適用される状況を踏まえ、企業会計基準委員会において、収益認識に関する包括的な会計基準が開発され、適用指針とあわせて公表されたものです。

企業会計基準委員会の時価の算定に関する会計基準の開発に当たっての基本的な方針として、IFRS第13号の定めを基本的にすべて取り入れることとされています。ただし、これまで我が国で行われてきた実務等に配慮し、財務諸表の比較可能性を大きく損なわせない範囲で、個別事項に対する他の取扱いを定めることとされています。

##### (2)適用予定日

2022年12月期の期首から適用します。

##### (3)当該会計基準等の適用による影響

「時価の算定に関する会計基準」等の適用による財務諸表に与える影響額については、現時点で評価中であります。

#### 表示方法の変更

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日。以下「税効果会計基準一部改正」という。)を当会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更するとともに、税効果会計関係注記を変更しました。

この結果、前会計年度の貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」253,349千円を「投資その他の資産」の「繰延税金資産」785,394千円に含めて表示しております。

注記事項  
(貸借対照表関係)

第34期 (2018年12月31日現在)	第35期 (2019年12月31日現在)
<b>※1 有形固定資産の減価償却累計額</b> 建物付属設備 298,168千円 器具備品 335,627千円	<b>※1 有形固定資産の減価償却累計額</b> 建物付属設備 321,546千円 器具備品 285,681千円
<b>※2 関係会社に対する資産及び負債には次のものがあります。</b> 長期借入金 2,400,000千円	<b>※2 関係会社に対する資産及び負債には次のものがあります。</b> 長期借入金 2,400,000千円

(損益計算書関係)

第34期 自 2018年1月1日 至 2018年12月31日	第35期 自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
<b>※1 従業員及び役員の賞与</b> あります。	<b>※1 従業員及び役員の賞与</b> あります。
<b>※2 従業員及び役員の退職給付費用</b> あります。	<b>※2 従業員及び役員の退職給付費用</b> あります。
<b>※3 関係会社との取引に係るものが次のとおり含まれております。</b> 支払利息 10,250千円	<b>※3 関係会社との取引に係るものが次のとおり含まれております。</b> 支払利息 45,625千円

(株主資本等変動計算書関係)

第34期(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	第34期事業年度期首 株式数 (株)	第34期 増加株式数 (株)	第34期 減少株式数 (株)	第34期事業年度末 株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	800	-	-	800
A種優先株式 (注1)	-	763	-	763
合計	800	763	-	1,563
自己株式				
普通株式 (注2), (注3)	-	800	800	-
合計	-	800	800	-

(注1) A種優先株式の発行済株式総数の増加763株は、第三者割当による関係会社に対する新株の発行による増加であります。

(注2) 普通株式の自己株式の株式数の増加800株は、取締役会決議による普通株式の自己株式の取得による増加であります。

(注3) 普通株式の自己株式の株式数の減少800株は、取締役会決議による普通株式の自己株式の処分による減少であります。

2. 配当に関する事項

(1)配当金支払額

該当事項はありません。

(2)基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

該当事項はありません。

第35期(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	第35期事業年度期首 株式数 (株)	第35期 増加株式数 (株)	第35期 減少株式数 (株)	第35期事業年度末 株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	800	-	-	800
A種優先株式	763	-	-	763
合計	1,563	-	-	1,563

2. 配当に関する事項

(1)配当金支払額

該当事項はありません。

(2)基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

該当事項はありません。

(リース取引関係)

第34期(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

1. ファイナンス・リース取引(借主側)

該当事項はありません。

2. オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

1年内	285,575千円
1年超	284,085千円
合計	569,660千円

第35期(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

1. ファイナンス・リース取引(借主側)

該当事項はありません。

2. オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料	
1年内	286,741千円
1年超	72,791千円
合計	359,533千円

(金融商品に関する注記)

第34期(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

余剰資金については銀行預金(当座預金、普通預金、定期預金又は信託預金等)で運用しております。

(2) 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク

銀行預金は、本邦銀行に預け入れているものがあります。本邦銀行に預け入れているものは、その元本が預金保険制度の対象となっております。

営業債権である未収委託者報酬は、信託銀行により分別保管されている投資信託の信託財産から直接支弁されるので信用リスクは発生せず、また投資信託の決算日までに信託財産が減少し委託者報酬が支払えなくなるというマーケットリスクは非常に低いものと考えております。

営業債務である未払手数料は、回収不能となるリスクの非常に低い委託者報酬の入金後、これを原資に支払いをおこなうので、支払不能となる流動性リスクは非常に低いものと考えております。また、その他未払金については、その債務を履行するに十分な即時引出し可能な決済性預金を保有していることから、流動性不足はないものと考えております。

長期借入金は、返済日は最長で決算日後9年であります。固定金利の為、金利の変動リスクはございません。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

当社は本邦銀行における預金を預金保険制度の保険対象範囲に限定して信用リスクの軽減を図っており、その状況は代表取締役およびピクテグループファイナンスに報告されモニタリングされています。

2. 金融商品の時価等に関する事項

(1) 2018年12月31日における金融商品の貸借対照表計上額、時価およびこれらの差額は次のとおりであります。

(千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
現金・預金	3,711,860	3,711,860	-
未収委託者報酬	1,685,428	1,685,428	-
未払手数料	907,510	907,510	-
その他未払金	264,097	264,097	-
長期借入金	2,400,000	2,420,336	20,336

(2) 金融商品の時価の算定方法

現金・預金、未収委託者報酬及び未払金といった当社の金融商品は短期決済されるものなので、時価は帳簿価額にはほぼ等しくなっております。したがって時価は当該帳簿価額によっております。

長期借入金の時価は、元金利の合計額を、同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

(3) 長期差入保証金(貸借対照表計上額284,554千円)は、本社オフィス等の不動産賃借契約に基づき差し入れた敷金等であり、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上記の表には含めておりません。

(4) 金銭債権の償還予定額は次のとおりであります。

(千円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
現金・預金	3,711,860	-	-	-	-	-
未収委託者報酬	1,685,428	-	-	-	-	-

(5) 長期借入金の決算日後の返済予定額は次のとおりであります。

(千円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
長期借入金	-	-	-	-	1,200,000	1,200,000

第35期(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

余剰資金については銀行預金(当座預金、普通預金、定期預金又は信託預金等)で運用しております。

(2) 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク

銀行預金は、本邦銀行に預け入れているものがあります。本邦銀行に預け入れているものは、その元本が預金保険制度の対象となっております。

営業債権である未収委託者報酬は、信託銀行により分別保管されている投資信託の信託財産から直接支弁されるので信用リスクは発生せず、また投資信託の決算日までに信託財産が減少し委託者報酬が支払えなくなるというマーケットリスクは非常に低いものと考えております。

営業債務である未払手数料は、回収不能となるリスクの非常に低い委託者報酬の入金後、これを原資に支払いをおこなうので、支払不能となる流動性リスクは非常に低いものと考えております。また、その他未払金については、その債務を履行するに十分な即時引出し可能な決済性預金を保有していることから、流動性不足はないものと考えております。

長期借入金は、返済日は最長で決算日後8年であります。固定金利の為、金利の変動リスクはございません。

### (3)金融商品に係るリスク管理体制

当社は本邦銀行における預金を預金保険制度の保険対象範囲に限定して信用リスクの軽減を図っており、その状況は代表取締役およびピクテグループファイナンスに報告されモニタリングされています。

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

### (1)2019年12月31日における金融商品の貸借対照表計上額、時価およびこれらの差額は次のとおりであります。

(千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
現金・預金	4,506,488	4,506,488	-
未収委託者報酬	2,295,464	2,295,464	-
未払手数料	1,272,877	1,272,877	-
その他未払金	382,635	382,635	-
長期借入金	2,400,000	2,474,183	74,183

### (2)金融商品の時価の算定方法

現金・預金、未収委託者報酬及び未払金といった当社の金融商品は短期決済されるものなので、時価は帳簿価額にはほぼ等しくなっております。したがって時価は当該帳簿価額によっております。

長期借入金の時価は、元金利の合計額を、同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

### (3)長期差入保証金(貸借対照表計上額286,676千円)は、本社オフィス等の不動産賃借契約に基づき差し入れた敷金等であり、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上記の表には含めておりません。

### (4)金銭債権の償還予定額は次のとおりであります。

(千円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
現金・預金	4,506,488	-	-	-	-	-
未収委託者報酬	2,295,464	-	-	-	-	-

### (5)長期借入金の決算日後の返済予定額は次のとおりであります。

(千円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
長期借入金	-	-	-	1,200,000	-	1,200,000

### (有価証券関係)

#### 第34期(2018年12月31日現在)

##### 1. その他有価証券で時価のあるもの

(千円)

区分	種類	取得原価	貸借対照表計上額	差額
貸借対照表計上額が取得原価を 超えるもの	投資信託受益証券	700	1,367	667
	小計	700	1,367	667
貸借対照表計上額が取得原価を 超えないもの	投資信託受益証券	4,400	3,822	△577
	小計	4,400	3,822	△577
合計		5,100	5,190	90

##### 2. 当期中に売却されたその他有価証券(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

該当事項はありません。

#### 第35期(2019年12月31日現在)

##### 1. その他有価証券で時価のあるもの

(千円)

区分	種類	取得原価	貸借対照表計上額	差額
貸借対照表計上額が取得原価を 超えるもの	投資信託受益証券	3,800	5,178	1,378
	小計	3,800	5,178	1,378
貸借対照表計上額が取得原価を 超えないもの	投資信託受益証券	300	254	△45
	小計	300	254	△45
合計		4,100	5,433	1,333

##### 2. 当期中に売却されたその他有価証券(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引関係)

第34期(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

当社は、デリバティブ取引を行っていないため、該当事項はありません。

第35期(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

当社は、デリバティブ取引を行っていないため、該当事項はありません。

(退職給付関係)

第34期(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、従業員及び役員の退職給付に充てるため、積立型の確定給付制度及び確定拠出制度を採用しております。  
確定給付企業年金制度では、給与と勤務期間に基づいた一時金を支給しております。

2. 退職給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	(千円)
退職給付債務の期首残高	1,607,639
勤務費用	62,802
利息費用	4,754
数理計算上の差異の発生額	6,340
退職給付の支払額	△80,089
退職給付債務の期末残高	1,601,447

(2) 年金資産の期首残高と期末残高との調整表

	(千円)
年金資産の期首残高	1,305,358
期待運用収益	13,053
数理計算上の差異の発生額	△69,618
事業主からの拠出額	△7,988
年金資産の期末残高	1,240,804

(3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

	(千円)
積立型制度の退職給付債務	1,601,447
年金資産	△1,240,804
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	360,643

(4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

	(千円)
勤務費用	62,802
利息費用	4,754
期待運用収益	△13,053
数理計算上の差異の費用処理額	75,959
退職給付制度に係る退職給付費用	130,463

(5) 年金資産に関する事項

① 年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、以下のとおりであります。

証券投資信託受益証券	16.08%
投資証券	34.05%
株式	6.52%
その他	43.35%
合計	100.00%

(注) 年金資産は全て企業年金制度に対して設定した退職給付信託であります。

② 長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当期末における主要な数理計算上の計算基礎

割引率 0.30%

長期期待運用収益率 1.00%

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は106,250千円であります。

第35期(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、従業員及び役員の退職給付に充てるため、積立型の確定給付制度及び確定拠出制度を採用しております。  
確定給付企業年金制度では、給与と勤務期間に基づいた一時金を支給しております。

## 2. 退職給付制度

### (1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	(千円)
退職給付債務の期首残高	1,601,447
勤務費用	66,365
利息費用	4,759
数理計算上の差異の発生額	5,656
退職給付の支払額	△179,335
退職給付債務の期末残高	1,498,893

### (2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

	(千円)
年金資産の期首残高	1,240,804
期待運用収益	12,408
数理計算上の差異の発生額	111,751
事業主からの拠出額	△6,209
年金資産の期末残高	1,358,755

### (3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

	(千円)
積立型制度の退職給付債務	1,498,893
年金資産	△1,358,755
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	140,138

### (4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

	(千円)
勤務費用	66,365
利息費用	4,759
期待運用収益	△12,408
数理計算上の差異の費用処理額	△106,095
退職給付制度に係る退職給付費用	△47,378

### (5) 年金資産に関する事項

#### ① 年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、以下のとおりであります。

証券投資信託受益証券	17.71%
投資証券	43.22%
株式	13.33%
その他	25.74%
合計	100.00%

(注) 年金資産は全て企業年金制度に対して設定した退職給付信託であります。

#### ② 長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

### (6) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当期末における主要な数理計算上の計算基礎

割引率 0.20%

長期期待運用収益率 1.00%

## 3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は104,177千円であります。

### (税効果会計関係)

#### 1. 繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳

(千円)

区分	第34期 (2018年12月31日現在)	第35期 (2019年12月31日現在)
繰延税金資産		
退職給付引当金損金算入限度超過額	481,703	413,335
未払事業税否認	1,571	22,730
未確定債務	28,714	23,507
賞与引当金損金算入限度超過額	189,701	342,285
資産除去債務	19,967	20,969
その他	63,763	69,376
繰延税金資産小計	785,421	892,205
繰延税金負債		
その他有価証券評価差額	27	408
繰延税金負債小計	27	408
繰延税金資産合計(純額)	785,394	891,796

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

第34期 (2018年12月31日現在)	第35期 (2019年12月31日現在)	
法定実効税率 (調整)	30.86%	
交際費等永久に損金算入されない項目	3.10%	
住民税均等割	0.89%	
税額控除	△1.43%	
その他	1.20%	
税効果会計適用後の法人税等の負担率	<u>34.63%</u>	
	<u>30.62%</u>	
	法定実効税率 (調整)	
	交際費等永久に損金算入されない項目	1.45%
	住民税均等割	0.16%
	その他	0.06%
	税効果会計適用後の法人税等の負担率	<u>32.29%</u>

(資産除去債務関係)

第34期(2018年12月31日現在)

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

1. 当該資産除去債務の概要

- (1) 東京本社事務所用ビルの不動産賃借契約に伴う原状回復費用であります。
- (2) 大阪連絡事務所用ビルの不動産賃借契約に伴う原状回復費用であります。

2. 当該資産除去債務の金額と算定方法

(1) 東京本社事務所用ビル

使用見込期間を取得から10年と見積り、割引率は1.13%を使用して資産除去債務の金額を計算しております。増床部分は使用見込期間を取得から10年と見積り、割引率は0.53%を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

(2) 大阪連絡事務所用ビル

使用見込期間を取得から10年と見積り、割引率は0.96%を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

3. 当期における当該資産除去債務の総額の増減

期首残高	81,345千円
有形固定資産の取得に伴う増加額	-
時の経過による調整額	194千円
資産除去債務の履行による減少額	-
期末残高	81,540千円

第35期(2019年12月31日現在)

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

1. 当該資産除去債務の概要

- (1) 東京本社事務所用ビルの不動産賃借契約に伴う原状回復費用であります。
- (2) 大阪連絡事務所用ビルの不動産賃借契約に伴う原状回復費用であります。

2. 当該資産除去債務の金額と算定方法

(1) 東京本社事務所用ビル

使用見込期間を取得から10年と見積り、割引率は1.13%を使用して資産除去債務の金額を計算しております。増床部分は使用見込期間を取得から10年と見積り、割引率は0.53%を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

(2) 大阪連絡事務所用ビル

使用見込期間を取得から10年と見積り、割引率は0.96%を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

3. 当期における当該資産除去債務の総額の増減

期首残高	81,540千円
有形固定資産の取得に伴う増加額	-
時の経過による調整額	196千円
資産除去債務の履行による減少額	-
期末残高	81,736千円

(セグメント情報等)

第34期(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

1. セグメント情報

当社は、投資運用業及び投資助言代理業の单一セグメントを報告セグメントとしております。  
従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

2. 関連情報

(1) 製品及びサービスごとの情報

	投資信託委託業	投資顧問業	その他	合計
外部顧客への営業収益	14,781,311千円	579,781千円	722,573千円	16,083,665千円

(2) 地域ごとの情報

① 営業収益

本邦外部顧客への営業収益が営業収益総額の90%を超えるため、記載を省略しております。

② 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

営業収益の10%以上を占める单一顧客が存在しないため、記載を省略しております。

第35期(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

1. セグメント情報

当社は、投資運用業及び投資助言代理業の单一セグメントを報告セグメントとしております。  
従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

2. 関連情報

(1) 製品及びサービスごとの情報

	投資信託委託業	投資顧問業	その他	合計
外部顧客への営業収益	16,420,074千円	421,864千円	1,066,013千円	17,907,952千円

(2) 地域ごとの情報

① 営業収益

本邦外部顧客への営業収益が営業収益総額の90%を超えるため、記載を省略しております。

② 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

営業収益の10%以上を占める单一顧客が存在しないため、記載を省略しております。

(関連当事者との取引関係)

第34期(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

1. 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金	事業の内容又は職業	議決権等の被所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
親会社	ピクテ アンド シー グループ エスシーエー	スイス、 ジュネーブ	CHF148,500,000	グループ 管理会社	間接100%	グループ会社管理 に関するサービス の提供	コーディネー ション手数料 の支払(注1)	60,347	未払金	-
親会社 (注7)	ピクテ アセット マネジメント ホールディング エスエー	スイス、 ジュネーブ	CHF40,000,000	グループ 管理会社	直接100%	資金の提供	第三者割当に よる優先出資 の発行(注2)	2,400,000	-	-
							長期借入金 の借入(注3)	2,400,000	長期 借入金	2,400,000
							自己株式の 処分(注4)	-	-	-
							利息の支払 (注5)	10,250	未払金	10,250
親会社 (注7)	ピクテ アジア プライベート リミテッド	シンガ ポール	CHF1,000,000	グループ 管理会社	直接100%	資金の提供	自己株式の 取得(注6)	2,556,295	-	-

(2) 財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金	事業の内容又は職業	議決権等の被所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
同一の 親会社を 持つ会社	ピクテ アセット マネージメント エスエー	スイス、 ジュネーブ	CHF21,000,000	資産運用 会社	-	投資運用の委託 契約 投資運用に関する サービスの提供	運用手数料 の支払(注8)	1,011,629	未払金	83,539
							運用手数料 の受取(注8)	145,652	未收 益	12,188
							翻訳事務 手数料の受取 (注9)	60,499	未收 益	48,263
同一の 親会社を 持つ会社	ピクテ アセット マネージメント リミテッド	英国、 ロンドン	GBP45,000,000	資産運用 会社	-	投資運用の委託 契約 投資運用に関する サービスの提供	運用手数料 の支払(注8)	253,677	未払金	47,947
							翻訳事務 手数料の受取 (注9)	1,448	未收 益	-
同一の 親会社を 持つ会社	ピクテ アセット マネージメント (ヨーロッパ) エスエー	ルクセン ブルグ	CHF8,750,000	資産運用 会社	-	投資運用の委託 契約 投資運用に関する サービスの提供 役員の兼任	運用手数料 の支払(注8)	75,280	未払金	9,884
							運用手数料 の受取(注8)	314,207	未收 益	30,753
							翻訳事務 手数料の受取 (注9)	54,217	未收 益	-

同一の親会社を持つ会社	ピクテ アセット マネージメント (ホンコン) リミテッド	香港	HKD30,000,000	資産運用会社	-	投資運用に関するサービスの提供	トレーディング手数料の支払 (注10)	31,773	未収収益	18,949
-------------	-------------------------------	----	---------------	--------	---	-----------------	---------------------	--------	------	--------

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注1)コーディネーション手数料については、関連会社間の契約に基づき、決定しております。
- (注2)第三者割当による優先出資の発行については、株主総会での決議に基づき、決定しております。
- (注3)長期借入金については、関係会社間の契約に基づき、決定しております。
- (注4)自己株式の処分については、株主総会での決議に基づき、決定しております。
- (注5)支払利息については、関連会社間の契約に基づき、決定しております。
- (注6)自己株式の取得については、株主総会での決議に基づき、決定しております。
- (注7)2018年12月13日付で当社の親会社はピクテ アジア プライベート リミテッドからピクテ アセット マネージメント ホールディング エスエーへ異動しております。
- (注8)運用手数料についてはファンド毎の契約運用資産に一定比率を乗じて決定しております。
- (注9)翻訳事務手数料については、関連会社間の契約に基づき、決定しております。
- (注10)トレーディング手数料については、関連会社間の契約に基づき、決定しております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1)親会社情報

ピクテ アンド シー グループ エスシーエー(非上場)  
ピクテ アセット マネージメント ホールディング エスエー(非上場)

(2)重要な関連会社の要約財務情報

重要な関連会社はありません。

第35期(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

1. 関連当事者との取引

(1)財務諸表提出会社の親会社

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金	事業の内容又は職業	議決権等の被所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
親会社	ピクテ アンド シー グループ エスシーエー	スイス、ジュネーブ	CHF148,500,000	グループ管理会社	間接100%	グループ会社管理に関するサービスの提供	コーディネーション手数料の支払(注1)	67,062	未払金	-
親会社(注7)	ピクテ アセット マネジメント ホールディング エスエー	スイス、ジュネーブ	CHF40,000,000	グループ管理会社	直接100%	資金の提供	長期借入金の借入(注2)	-	長期借入金	2,400,000
							利息の支払(注3)	45,625	未払金	10,250

(2)財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金	事業の内容又は職業	議決権等の被所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
同一の親会社を持つ会社	ピクテ アセット マネージメント エスエー	スイス、ジュネーブ	CHF21,000,000	資産運用会社	-	投資運用の委託契約 投資運用に関するサービスの提供	運用手数料の支払(注4) 運用手数料の受取(注4) 翻訳事務手数料の受取(注5)	1,179,039 106,778 217,436	未払金 未収収益 未収収益	103,776 28,170 -
同一の親会社を持つ会社	ピクテ アセット マネージメント リミテッド	英国、ロンドン	GBP45,000,000	資産運用会社	-	投資運用の委託契約 投資運用に関するサービスの提供	運用手数料の支払(注4) 翻訳事務手数料の受取(注5) コミュニケーション手数料の支払(注6)	233,210 5,300 11,229	未払金 未収収益 未払金	54,570 5,300 -
同一の親会社を持つ会社	ピクテ アセット マネージメント(ヨーロッパ) エスエー	ルクセンブルグ	CHF8,750,000	資産運用会社	-	投資運用の委託契約 投資運用に関するサービスの提供 役員の兼任	運用手数料の支払(注4) 運用手数料の受取(注4) 翻訳事務手数料の受取(注5)	46,827 422,885 54,217	未払金 未収収益 未収収益	15,314 113,407 -
同一の親会社を持つ会社	ピクテ アセット マネージメント(ホンコン) リミテッド	香港	HKD30,000,000	資産運用会社	-	投資運用に関するサービスの提供	トレーディング手数料の支払(注7)	18,857	未収収益	4,467

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注1)コーディネーション手数料については、関連会社間の契約に基づき、決定しております。
- (注2)長期借入金については、関係会社間の契約に基づき、決定しております。
- (注3)支払利息については、関連会社間の契約に基づき、決定しております。
- (注4)運用手数料についてはファン毎の契約運用資産に一定比率を乗じて決定しております。
- (注5)翻訳事務手数料については、関連会社間の契約に基づき、決定しております。
- (注6)コミュニケーション手数料については、関連会社間の契約に基づき、決定しております。
- (注7)トレーディング手数料については、関連会社間の契約に基づき、決定しております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1)親会社情報

ピクテ アンド シー グループ エスシーエー(非上場)  
ピクテ アセット マネージメント ホールディング エスエー(非上場)

(2)重要な関連会社の要約財務情報

重要な関連会社はありません。

(1)株当たり情報

第34期 自 2018年1月1日 至 2018年12月31日		第35期 自 2019年1月1日 至 2019年12月31日	
1株当たり純資産額(注1)	3,055,757円62銭	1株当たり純資産額(注1)	3,672,271円2銭
1株当たり当期純利益(注2)	285,008円40銭	1株当たり当期純利益(注2)	315,001円86銭
損益計算書上当期純利益	276,832千円	損益計算書上当期純利益	492,347千円
1株当たり当期純利益の算定に用いられた普通株式にかかる当期純利益	276,832千円	1株当たり当期純利益の算定に用いられた普通株式にかかる当期純利益	492,347千円
差額	—	差額	—
期中平均株式数	971株	期中平均株式数	1,563株
普通株式	797株	普通株式	800株
普通株式と同等の株式	173株	普通株式と同等の株式	763株
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、新株予約権付社債等潜在株式がないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、新株予約権付社債等潜在株式がないため記載しておりません。	

(注1)1株当たりの純資産額の計算方法

純資産額から優先株式にかかる資本金の額97,633千円を控除しております。

(注2)A種優先株式は、剰余金の配当請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、1株当たり当期純利益の算定上、普通株式に含めて計算しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

#### 4 【利害関係人との取引制限】

委託会社は、金融商品取引法の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

(1)自己またはその取締役もしくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます)。

(2)運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます)。

(3)通常の取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等(委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下(4)および(5)において同じ。)または子法人等(委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。)と有価証券の売買その他の取引または金融デリバティブ取引を行うこと。

(4)委託会社の親法人等または子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額もしくは市場の状況に照らして不必要的取引を行うことを内容とした運用を行うこと。

(5)(3)および(4)に掲げるもののほか、委託会社の親法人等または子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

#### 5 【その他】

(1)定款の変更、事業譲渡または事業譲受、出資の状況その他の重要事項

##### 定款の変更

2020年2月7日付株主総会により、定款の目的にピクテ・グループの外国投資信託の受益証券または外国投資証券に係る勧誘を行う業務を追加することを決議し、定款の変更を行いました。

##### 事業譲渡または事業譲受、出資の状況その他の重要事項

提出日前1年以内において、該当する事実はありません。

(2)訴訟事件その他の重要事項

訴訟事件その他委託会社等に重要な影響を及ぼすことが予想される事実はありません。

＜添付＞

投資信託約款

## 運用の基本方針

約款第23条に基づき委託者の定める方針は、次のものとします。

### 1. 基本方針

この投資信託は、主に投資信託証券に投資を行い、日本を含む世界各国の株式およびソブリン債券に投資することにより安定的かつより優れた分配金原資の獲得と信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。

### 2. 運用方法

#### (1) 投資対象

次の投資信託証券を主要投資対象とします。

##### 1. ルクセンブルグ籍外国証券投資信託

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド — 先進国インカム株式ファンド クラスP分配型受益証券  
(Pictet Global Selection Fund - Global Income Stock Fund P Distribution Units)

##### 2. ルクセンブルグ籍外国証券投資信託

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド — 新興国ハイインカム株式ファンド クラスP分配型受益証券  
(Pictet Global Selection Fund - Global High Yield Emerging Equities Fund P Distribution Units)

##### 3. 内国証券投資信託(マザーファンド)

ピクテ先進国ソブリン・マザーファンド受益証券

##### 4. ルクセンブルグ籍外国証券投資信託

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド — 新興国ソブリン・ファンド クラスP分配型受益証券  
(Pictet Global Selection Fund - Global Emerging Sovereign Fund P Distribution Units)

#### (2) 投資態度

- ① 投資信託証券への投資を通じて、主に日本を含む世界各国の株式およびソブリン債券に投資することにより安定的かつより優れた分配金原資の獲得と信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。
- ② 投資信託証券への投資配分については、委託者が各資産の収益とそのリスク見通しを分析し適宜変更します。
- ③ 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、為替ヘッジが必要と判断した場合には為替ヘッジを行うことがあります(現地通貨による為替ヘッジが困難な一部の通貨については、当該現地通貨との連動性等を勘案し、先進国通貨等による代替ヘッジを行う場合があります。)、為替ヘッジの比率および期間等は、ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイおよび/またはピクテ・アセット・マネジメント・リミテッドの助言を受けて委託者が決定します。
- ④ 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

#### (3) 投資制限

- ① 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
- ② 投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパー以外の有価証券への直接投資は行いません。
- ③ 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
- ④ 同一銘柄の投資信託証券への投資は、当該投資信託証券が一般社団法人投資信託協会規則に定めるエクスポージャーがルックスルーできる場合に該当しないときは、当該投資信託証券への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。また、一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

### 3. 収益分配方針

毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

- ① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- ② 収益分配金額は、利子・配当等収益の水準および基準価額の水準等を勘案して委託者が決定します。
- ③ 留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

追加型証券投資信託  
ピクテ・インカム・コレクション・ファンド(毎月分配型)  
約款

**(信託の種類、委託者および受託者、信託事務の委託)**

- 第1条 この信託は証券投資信託であり、ピクテ投信投資顧問株式会社を委託者とし、三井住友信託銀行株式会社を受託者とします。
- ② この信託は、信託財産に属する財産についての対抗要件に関する事項を除き、信託法(大正11年法律第62号)(以下「信託法」といいます。)の適用を受けます。
- ③ 受託者は、信託法第26条第1項に基づく信託事務の委任として、信託事務の処理の一部について、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律第1条第1項の規定による信託業務の兼営の認可を受けた一の金融機関(受託者の利害関係人(金融機関の信託業務の兼営等に関する法律にて準用する信託業法第29条第2項第1号に規定する利害関係人をいいます。以下本条、第22条第1項および第27条において同じ。)を含みます。)と信託契約を締結し、これを委託することができます。
- ④ 前項における利害関係人に対する業務の委託については、受益者の保護に支障を生じることがない場合に行うものとします。

**(信託の目的および金額)**

- 第2条 委託者は、金205億5,447万4,038円を受益者のために利殖の目的をもって信託し、受託者はこれを引き受けます。

**(信託金の限度額)**

- 第3条 委託者は、受託者と合意のうえ、金1兆円を限度として信託金を追加することができます。
- ② 委託者は、受託者と合意のうえ、前項の限度額を変更することができます。

**(信託期間)**

- 第4条 この信託の期間は、信託契約締結日から第45条第1項、第46条第1項、第47条第1項および第49条第2項の規定による信託終了または信託契約解約の日までとします。

**(受益権の取得申込みの勧誘の種類)**

- 第5条 この信託に係る受益権の取得申込みの勧誘は、金融商品取引法第2条第3項第1号に掲げる場合に該当し、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第8項で定める公募により行われます。

**(当時の受益者)**

- 第6条 この信託契約締結当初および追加信託当時の受益者は、委託者の指定する受益権取得申込者とし、第7条の規定により分割された受益権は、その取得申込口数に応じて、取得申込者に帰属します。

**(受益権の分割および再分割)**

- 第7条 委託者は、第2条の規定による受益権については205億5,447万4,038口に、追加信託によって生じた受益権については、これを追加信託のつど第8条第1項の追加口数に、それぞれ均等に分割します。
- ② 委託者は、受託者と協議のうえ、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

**(追加信託の価額および口数、基準価額の計算方法)**

- 第8条 追加信託金は、追加信託を行う日の前営業日の基準価額に、当該追加信託に係る受益権の口数を乗じた額とします。
- ② この約款において基準価額とは、信託財産に属する資産を法令および一般社団法人投資信託協会規則にしたがって時価または一部償却原価法により評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額(以下「純資産総額」といいます。)を計算日における受益権口数で除した金額をいいます。なお、外貨建資産(外国通貨表示の有価証券(以下「外貨建有価証券」といいます。)、預金その他の資産をいいます。以下同じ。)の円換算については、原則としてわが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算します。

**(信託日時の異なる受益権の内容)**

- 第9条 この信託の受益権は、信託の日時を異にすることにより差異を生ずることはありません。

**(受益権の帰属と受益証券の不発行)**

- 第10条 この信託のすべての受益権は、社債、株式等の振替に関する法律(以下「社債法」といいます。)の規定の適用を受け、受益権の帰属は、委託者があらかじめこの信託の受益権を取扱うことについて同意した一の振替機関(社債法第2条に規定する「振替機関」をいい、以下「振替機関」といいます。)および当該振替機関の下位の口座管理機関(社債法第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。)の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります(以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。)。
- ② 委託者は、この信託の受益権を取扱う振替機関が社債法の規定により主務大臣の指定を取消された場合または当該指定が効力を失った場合であって、当該振替機関の振替業を承継する者が存在しない場合その他やむを得ない事情がある場合を除き、振替受益権を表示する受益証券を発行しません。なお、受益者は、委託者がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行わないものとします。
- ③ 委託者は、第7条の規定により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をする

ため社振法に定める事項の振替機関への通知を行うものとします。振替機関等は、委託者から振替機関への通知があつた場合、社振法の規定にしたがい、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行います。

#### (受益権の設定に係る受託者の通知)

第 11 条 受託者は、追加信託により生じた受益権については追加信託のつど、振替機関の定める方法により、振替機関へ当該受益権に係る信託を設定した旨の通知を行います。

#### (受益権の申込単位および価額)

第 12 条 販売会社(委託者の指定する第一種金融商品取引業者(金融商品取引法第 28 条第 1 項に規定する第一種金融商品取引業を行つ者をいいます。以下同じ。)および委託者の指定する登録金融機関(金融商品取引法第 2 条第 11 項に規定する登録金融機関をいいます。以下同じ。)をいいます。以下同じ。)は、第 7 条第 1 項の規定により分割される受益権を、その取得申込者に対し、販売会社が定める 1 円または 1 口の整数倍の単位をもつて取得申込みに応じができるものとします。ただし、別に定める自動けいぞく投資約款にしたがつて契約(別の名称で同様の権利義務関係を規定する契約を含みます。以下「別に定める契約」といいます。)を結んだ取得申込者に限り、1 口の整数倍をもつて取得申込みに応じができるものとします。

② 前項の取得申込者は販売会社に、取得申込みと同時にまたはあらかじめ、自己のために開設されたこの信託の受益権の振替を行うための振替機関等の口座を示すものとし、当該口座に当該取得申込者に係る口数の増加の記載または記録が行われます。なお、販売会社は、当該取得申込みの代金(第 4 項の受益権の価額に当該取得申込みの口数を乗じて得た額をいいます。)の支払いと引き換えに、当該口座に当該取得申込者に係る口数の増加の記載または記録を行うことができます。

③ 第 1 項の規定にかかわらず、ルクセンブルグの銀行、ロンドンの銀行またはニューヨーク証券取引所の休業日においては、原則として受益権の取得申込みを受付けないものとします。ただし、別に定める契約に基づく収益分配金の再投資に係る追加信託の申込みに限つてこれを受付けるものとします。

④ 第 1 項の場合の受益権の価額は、取得申込日の翌営業日の基準価額に、手数料および当該手数料に係る消費税および地方消費税(以下「消費税等」といいます。)に相当する金額を加算した価額とします。ただし、この信託契約締結日前の取得申込みに係る受益権の価額は、1 口につき 1 円に手数料および当該手数料に係る消費税等に相当する金額を加算した価額とします。

⑤ 前項の手数料の額は、販売会社がそれぞれ独自に定めるものとします。

⑥ 第 4 項の規定にかかわらず、受益者が第 41 条第 2 項の規定に基づいて収益分配金を再投資する場合の受益権の価額は、原則として第 36 条に規定する各計算期間終了日の基準価額とします。

⑦ 前各項の規定にかかわらず、委託者は、金融商品取引所(金融商品取引法第 2 条第 16 項に規定する金融商品取引所および金融商品取引法第 2 条第 8 項第 3 号に規定する外国金融商品市場をいいます。以下同じ。)等における取引の停止、外國為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、受益権の取得申込みの受付けを中止することおよびすでに受けた取得申込みの受付けを取消すことができます。

#### (受益権の譲渡に係る記載または記録)

第 13 条 受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等に振替の申請をするものとします。

② 前項の申請のある場合には、前項の振替機関等は、当該譲渡に係る譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、前項の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等(当該他の振替機関等の上位機関を含みます。)に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行われるよう通知するものとします。

③ 委託者は、第 1 項に規定する振替について、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託者が必要と認めるときまたはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

#### (受益権の譲渡の対抗要件)

第 13 条の 2 受益権の譲渡は、前条の規定による振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託者および受託者に對抗することができません。

第 14 条 <削除>

第 15 条 <削除>

第 16 条 <削除>

第 17 条 <削除>

第 18 条 <削除>

第 19 条 <削除>

#### (投資の対象とする資産の種類)

第 20 条 この信託において投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

1. 次に掲げる特定資産(「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。)
  - イ. 有価証券
    - ロ. 金銭債権(イおよびハに掲げるものに該当するものを除きます。)
    - ハ. 約束手形(イに掲げるものに該当するものを除きます。)
2. 次に掲げる特定資産以外の資産
  - イ. 為替手形

#### (運用の指図範囲)

第21条 委託者は、信託金を、主として次の投資信託証券および有価証券(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。)に投資することを指図します。

1. ルクセンブルグ籍外国証券投資信託
    - ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド — 先進国インカム株式ファンド クラスP分配型受益証券(Pictet Global Selection Fund - Global Income Stock Fund P Distribution Units)
  2. ルクセンブルグ籍外国証券投資信託
    - ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド — 新興国ハイインカム株式ファンド クラスP分配型受益証券(Pictet Global Selection Fund - Global High Yield Emerging Equities Fund P Distribution Units)
  3. 内国証券投資信託(マザーファンド)
    - ピクテ先進国ソブリン・マザーファンド受益証券
  4. ルクセンブルグ籍外国証券投資信託
    - ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド — 新興国ソブリン・ファンド クラスP分配型受益証券(Pictet Global Selection Fund - Global Emerging Sovereign Fund P Distribution Units)
  5. 短期社債等
  6. コマーシャル・ペーパー
  7. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前2号の証券または証書の性質を有するもの
- ② 委託者は、信託金を、前項に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。)により運用することを指図することができます。
1. 預金
  2. 指定金銭信託(金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。)
  3. コール・ローン
  4. 手形割引市場において売買される手形
- ③ 第1項の規定にかかわらず、この信託の設定、解約、償還、投資環境の変動等への対応等、委託者が運用上必要と認めるときには、委託者は、信託金を、前項第1号から第4号までに掲げる金融商品により運用することの指図ができます。

#### (受託者の自己または利害関係人等との取引)

第22条 受託者は、受益者の保護に支障を生じることがないものであり、かつ信託業法、投資信託及び投資法人に関する法律ならびに関連法令に反しない場合には、委託者の指図により、信託財産と、受託者および受託者の利害関係人、第27条第1項に定める信託業務の委託先およびその利害関係人または受託者における他の信託財産との間で、第20条ならびに第21条第1項および同条第2項に掲げる資産への投資等を、信託業法、投資信託及び投資法人に関する法律ならびに関連法令に反しない限り行うことができます。

② 前項の取扱いは、第25条および第31条から第33条までにおける委託者の指図による取引についても同様とします。

#### (運用の基本方針)

第23条 委託者は、信託財産の運用にあたっては、別に定める運用の基本方針にしたがって、その指図を行います。

#### (特別の場合の外貨建有価証券への投資制限)

第24条 外貨建有価証券への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。

#### (外国為替予約取引の指図)

第25条 委託者は、信託財産に属する外貨建資産の額と組入投資信託の信託財産に属する外貨建資産のうち信託財産に属するとみなした額(信託財産に属する組入投資信託の時価総額に組入投資信託の信託財産の純資産総額に占める外貨建資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。)との合計額についての為替変動リスクを回避するため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。

#### (予約為替の評価)

第26条 前条に規定する予約為替の評価は、原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によって計算します。

#### (信託業務の委託等)

第27条 受託者は、委託者と協議のうえ、信託業務の一部について、信託業法第22条第1項に定める信託業務の委託をするときは、以下に掲げる基準のすべてに適合するもの(受託者の利害関係人を含みます。)を委託先として選定します。

1. 委託先の信用力に照らし、継続的に委託業務の遂行に懸念がないこと
2. 委託先の委託業務に係る実績等に照らし、委託業務を確実に処理する能力があると認められること

3. 委託される信託財産に属する財産と自己の固有財産その他の財産とを区分する等の管理を行う体制が整備されていること
  4. 内部管理に関する業務を適正に遂行するための体制が整備されていること
- ② 受託者は、前項に定める委託先の選定にあたっては、当該委託先が前項各号に掲げる基準に適合していることを確認するものとします。
- ③ 前2項にかかわらず、受託者は、次の各号に掲げる業務(裁量性のないものに限ります。)を、受託者および委託者が適当と認める者(受託者の利害関係人を含みます。)に委託することができるものとします。
1. 信託財産の保存に係る業務
  2. 信託財産の性質を変えない範囲内において、その利用または改良を目的とする業務
  3. 委託者のみの指図により信託財産の処分およびその他の信託の目的の達成のために必要な行為に係る業務
  4. 受託者が行う業務の遂行にとって補助的な機能を有する行為

#### (投資信託証券の登録の管理)

第28条 信託財産に属する外国投資信託証券については、受託者名義で当該外国投資信託証券の管理会社において登録され、当該外国投資信託証券の発行国または当該管理会社が所在する国内の諸法令および慣例ならびに当該管理会社の諸規則にしたがって管理させることができます。

#### (混藏寄託)

第29条 金融機関または第一種金融商品取引業者(金融商品取引法第28条第1項に規定する第一種金融商品取引業を行う者および外国の法令に準拠して設立された法人でこの者に類する者をいいます。以下本条において同じ。)から、売買代金および償還金等について円貨で約定し円貨で決済する取引により取得した外国において発行されたコマーシャル・ペーパーは、当該金融機関または第一種金融商品取引業者が保管契約を締結した保管機関に当該金融機関または第一種金融商品取引業者の名義で混藏寄託できるものとします。

#### (信託財産の登記等および記載等の留保等)

第30条 信託の登記または登録をすることができる信託財産については、信託の登記または登録をすることとします。ただし、受託者が認める場合は、信託の登記または登録を留保することができます。

② 前項ただし書きにかかわらず、受益者保護のために委託者または受託者が必要と認めるときは、速やかに登記または登録をするものとします。

③ 信託財産に属する旨の記載または記録をすることができる信託財産については、信託財産に属する旨の記載または記録をするとともに、その計算を明らかにする方法により分別して管理するものとします。ただし、受託者が認める場合は、その計算を明らかにする方法により分別して管理することができます。

④ 動産(金銭を除きます。)については、外形上区別することができる方法によるほか、その計算を明らかにする方法により分別して管理することができます。

#### (有価証券売却等の指図)

第31条 委託者は、信託財産に属する投資信託の受益証券に係る信託契約の一部解約、買戻しの請求および有価証券の売却等の指図ができます。

#### (再投資の指図)

第32条 委託者は、前条の規定による投資信託証券の買戻し代金、有価証券の売却代金、有価証券に係る償還金等、有価証券等に係る利子等およびその他の収入金を再投資することの指図ができます。

#### (資金の借入れ)

第33条 委託者は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性を図るため、一部解約に伴う支払資金の手当(一部解約に伴う支払資金の手当のために借り入れた資金の返済を含みます。)を目的として、または再投資に係る収益分配金の支払資金の手当を目的として、資金借入れ(コール市場を通じる場合を含みます。)の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。

- ② 一部解約に伴う支払資金の手当に係る借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間または受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の解約代金入金日までの間もしくは受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金または解約代金ならびに有価証券等の償還金の合計額を限度とします。ただし、資金の借入額は、借入指図を行う日における信託財産の純資産総額の10%を超えないこととします。
- ③ 収益分配金の再投資に係る借入期間は信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。
- ④ 借入金の利息は信託財産中より支弁します。

#### (損益の帰属)

第34条 委託者の指図に基づく行為により信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

#### (受託者による資金の立替え)

第35条 信託財産に属する有価証券について、借替がある場合で、委託者の申出があるときは、受託者は資金の立替えをすることができます。

- ② 信託財産に属する有価証券に係る償還金等、有価証券等に係る利子等およびその他の未収入金で、信託終了日までにその金額を見積りうるものがあるときは、受託者がこれを立替えて信託財産に繰り入れることができます。
- ③ 前2項の立替金の決済および利息については、受託者と委託者との協議によりそのつど別にこれを定めます。

#### (信託の計算期間)

- 第36条 この信託の計算期間は、毎月16日から翌月15日までとすることを原則とします。ただし、第1計算期間は信託契約締結日から平成19年2月15日までとします。
- ② 前項の規定にかかわらず、前項の原則により各計算期間終了日に該当する日(以下本項において「該当日」といいます。)が休業日のとき、各計算期間終了日は該当日の翌営業日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。ただし、最終計算期間の終了日は、第4条に定める信託期間の終了日とします。

#### (信託財産に関する報告)

- 第37条 受託者は、毎計算期末に損益計算を行い、信託財産に関する報告書を作成して、これを委託者に提出します。
- ② 受託者は、信託終了のときに最終計算を行い、信託財産に関する報告書を作成して、これを委託者に提出します。

#### (信託事務の諸費用)

- 第38条 信託財産に関する租税および受託者の立替えた立替金の利息は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。
- ② 信託事務の処理等に要する諸費用(監査費用、法律・税務顧問への報酬、印刷等費用(有価証券届出書、有価証券報告書、信託約款、目論見書、運用報告書その他法令により必要とされる書類の作成、届出、交付に係る費用)、公告費用、格付費用、受益権の管理事務に関する費用を含みます。)は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁することができます。
  - ③ 委託者は、前項に定める信託事務の処理等に要する諸費用の支払いを信託財産のために行い、支払金額の支弁を信託財産中から受取ることができます。この場合、委託者は、現に信託財産のために支払った金額の支弁を受ける際に、あらかじめ受領する金額に上限を付することができます。また、委託者は、実際に支払う金額の支弁を受ける代わりに、係る諸費用の金額をあらかじめ合理的に見積もったうえで、実際の費用にかかわらず固定率または固定金額にて信託財産からその支弁を受けることができます。
  - ④ 前項において信託事務の処理等に要する諸費用の上限、固定率または固定金額を定める場合、委託者は、信託財産の規模等を考慮して、信託の設定時または期中に、上限、固定率または固定金額を合理的に計算された範囲内で変更することができます。
  - ⑤ 第3項において信託事務の処理等に要する諸費用の固定率または固定金額を定める場合、係る費用の額は、第36条に規定する計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に応じて計算し、毎計算期末または信託終了のとき当該諸費用に係る消費税等に相当する金額とともに信託財産中より支弁します。
  - ⑥ 第1項および第2項に定める信託財産に関する租税および受託者の立替えた立替金の利息ならびに信託事務の処理等に要する諸費用および当該諸費用に係る消費税等に相当する金額(以下「諸経費」といいます。)は、マザーファンドに関連して生じた諸費用のうちマザーファンドにおいて負担せず、かつ委託者の合理的判断によりこの信託に関連して生じたと認めるものを含みます。

#### (信託報酬等の総額)

- 第39条 委託者および受託者の信託報酬の総額は、第36条に規定する計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に年10,000分の115の率を乗じて得た額とします。
- ② 前項の信託報酬は、毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支弁するものとし、委託者と受託者との間の配分は別に定めます。
  - ③ 第1項の信託報酬に係る消費税等に相当する金額を信託報酬支弁のときに信託財産中から支弁します。

#### (収益の分配方式)

- 第40条 信託財産から生ずる毎計算期末における利益は、次の方法により処理します。
1. 分配金、利子およびこれ等に類する収益から支払利息を控除した額(以下「配当等収益」といいます。)は、諸経費、信託報酬および当該信託報酬に係る消費税等に相当する金額を控除した後その残金を受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配金にあてるため、その一部を分配準備積立金として積み立てることができます。
  2. 売買損益に評価損益を加減した利益金額(以下「売買益」といいます。)は、諸経費、信託報酬および当該信託報酬に係る消費税等に相当する金額を控除し、繰越欠損金のあるときは、その全額を売買益をもって補てんした後、受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配にあてるため、分配準備積立金として積み立てることができます。
  - ② 每計算期末において、信託財産につき生じた損失は、次期に繰り越します。

#### (収益分配金、償還金および一部解約金の支払い)

- 第41条 収益分配金は、毎計算期間終了日後1ヶ月以内の委託者の指定する日から、毎計算期間の末日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者(当該収益分配金に係る計算期間の末日以前において一部解約が行われた受益権に係る受益者を除きます。また、当該収益分配金に係る計算期間の末日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とします。)に支払います。
- ② 前項の規定にかかわらず、別に定める契約に基づいて収益分配金を再投資する受益者に対しては、受託者が委託者の指定する預金口座等に払い込むことにより、原則として、毎計算期間終了日の翌営業日に、収益分配金が販売会社に交付されます。この場合、販売会社は、受益者に対し遅滞なく収益分配金の再投資に係る受益権の売付を行います。当該売付により増加した受益権は、第10条第3項の規定にしたがい、振替口座簿に記載または記録されます。
  - ③ 偿還金(信託終了時における信託財産の純資産総額を受益権口数で除した額をいいます。以下同じ。)は、信託終了日後

1ヵ月以内の委託者の指定する日から、信託終了日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者(信託終了日以前において一部解約が行われた受益権に係る受益者を除きます。また、当該信託終了日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とします。)に支払います。なお、当該受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して委託者がこの信託の償還をするのと引き換えに、当該償還に係る受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。

- ④ 一部解約金(第44条第4項の一部解約の価額に当該一部解約口数を乗じて得た額をいいます。以下同じ。)は、第44条第1項の受益者の請求を受けた日から起算して、原則として、7営業日目から当該受益者に支払います。
- ⑤ 前各項(第2項を除きます。)に規定する収益分配金、償還金および一部解約金の支払いは、販売会社の営業所等において行うものとします。
- ⑥ 収益分配金、償還金および一部解約金に係る収益調整金は、原則として、受益者毎の信託時の受益権の価額等に応じて計算されるものとします。

#### (収益分配金および償還金の時効)

第42条 受益者が、収益分配金については前条第1項に規定する支払開始日から5年間その支払いを請求しないときならびに信託終了による償還金については前条第3項に規定する支払開始日から10年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、受託者から交付を受けた金銭は、委託者に帰属します。

#### (収益分配金、償還金および一部解約金の払い込みと支払いに関する受託者の免責)

第43条 受託者は、収益分配金については第41条第1項に規定する支払開始日および第41条第2項に規定する交付開始前までに、償還金については第41条第3項に規定する支払開始日までに、一部解約金については第41条第4項に規定する支払日までに、その全額を委託者の指定する預金口座等に払い込みます。

- ② 受託者は、前項の規定により委託者の指定する預金口座等に収益分配金、償還金および一部解約金を払い込んだ後は、受益者に対する支払いにつき、その責に任じません。

#### (信託の一部解約)

第44条 受益者(販売会社を含みます。以下本条において同じ。)は、自己に帰属する受益権につき、委託者に販売会社が定める1口の整数倍の単位(別に定める契約に係る受益権または販売会社に帰属する受益権については1口単位)をもって一部解約の実行を請求することができます。

- ② 前項の規定にかかわらず、ルクセンブルグの銀行、ロンドンの銀行またはニューヨーク証券取引所の休業日においては、当該一部解約の実行の請求を受けないものとします。
- ③ 委託者は、第1項の一部解約の実行の請求を受けた場合には、この信託契約の一部を解約します。なお、第1項の一部解約の実行の請求を行う受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して当該受益者の請求に係るこの信託契約の一部解約を委託者が行うのと引き換えに、当該一部解約に係る受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。
- ④ 前項の一部解約の価額は、一部解約の実行の請求日の翌営業日の基準価額とします。
- ⑤ 一部解約の実行の請求を受益者がするときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行うものとします。
- ⑥ 委託者は、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、第1項による一部解約の実行の請求の受け付けを中止することおよびすでに受け付けた一部解約の実行の請求の受け付けを取消することができます。
- ⑦ 前項により一部解約の実行の請求の受け付けが中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行った当日の一部解約の実行の請求を撤回できます。ただし、受益者がその一部解約の実行の請求を撤回しない場合には、当該受益権の一部解約の価額は、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に一部解約の実行の請求を受けたものとして第4項の規定に準じて計算された価額とします。

#### (信託契約の解約)

第45条 委託者は、第4条の規定による信託終了前に、信託契約の一部を解約することにより受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合またはこの信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるときもしくはやむを得ない事情が発生したときは、受託者と合意のうえ、この信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託者は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届出ます。

- ② 委託者は、前項の事項について、あらかじめ、解約しようとする旨を公告し、かつ、その旨を記載した書面をこの信託契約に係る知られたる受益者に対して交付します。ただし、この信託契約に係るすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として公告を行いません。
- ③ 前項の公告および書面には、受益者で異議のある者は一定の期間内に委託者に対して異議を述べるべき旨を付記します。なお、一定の期間は1月を下らないものとします。
- ④ 前項の一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の二分の一を超えるときは、第1項の信託契約の解約をしません。
- ⑤ 委託者は、この信託契約の解約をしないこととしたときは、解約しない旨およびその理由を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面をこの信託契約に係る知られたる受益者に対して交付します。ただし、この信託契約に係るすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として公告を行いません。
- ⑥ 第3項から前項までの規定は、信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、第3項の一定の期間が1月を下らずにその公告および書面の交付を行うことが困難な場合には適用しません。

#### (信託契約に関する監督官庁の命令)

- 第46条 委託者は、監督官庁よりこの信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令にしたがい、信託契約を解約し信託を終了させます。
- ② 委託者は、監督官庁の命令に基づいてこの信託約款を変更しようとするときは、第50条の規定にしたがいます。

#### (委託者の登録取消等に伴う取扱い)

- 第47条 委託者が監督官庁より登録の取消を受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託者は、この信託契約を解約し、信託を終了させます。
- ② 前項の規定にかかわらず、監督官庁がこの信託契約に関する委託者の業務を他の投資信託委託会社に引き継ぐことを命じたときは、この信託は、第50条第4項の規定に該当する場合を除き、当該投資信託委託会社と受託者との間において存続します。

#### (委託者の事業の譲渡および承継に伴う取扱い)

- 第48条 委託者は、事業の全部または一部を譲渡することができ、これに伴い、この信託契約に関する事業を譲渡することができます。
- ② 委託者は、分割により事業の全部または一部を承継させることができます、これに伴い、この信託契約に関する事業を承継させることができます。

#### (受託者の辞任および解任に伴う取扱い)

- 第49条 受託者は、委託者の承諾を受けてその任務を辞任することができます。受託者がその任務に背いた場合、その他重要な事由が生じたときは、委託者または受益者は、裁判所に受託者の解任を請求することができます。受託者が辞任した場合、または裁判所が受託者を解任した場合、委託者は、第50条の規定にしたがい、新受託者を選任します。
- ② 委託者が新受託者を選任できないときは、委託者はこの信託契約を解約し、信託を終了させます。

#### (信託約款の変更)

- 第50条 委託者は、受益者の利益のため必要と認めるときはやむを得ない事情が発生したときは、受託者と合意のうえ、この信託約款を変更することができるものとし、あらかじめ、変更しようとする旨およびその内容を監督官庁に届出ます。
- ② 委託者は、前項の変更事項のうち、その内容が重大なものについて、あらかじめ、変更しようとする旨およびその内容を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面をこの信託約款に係る知られたる受益者に対して交付します。ただし、この信託約款に係るすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として公告を行いません。
- ③ 前項の公告および書面には、受益者で異議のある者は一定の期間内に委託者に対して異議を述べるべき旨を付記します。なお、一定の期間は一月を下らないものとします。
- ④ 前項の一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の二分の一を超えるときは、第1項の信託約款の変更をしません。
- ⑤ 委託者は、当該信託約款の変更をしないこととしたときは、変更しない旨およびその理由を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面をこの信託契約に係る知られたる受益者に対して交付します。ただし、この信託契約に係るすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として公告を行いません。

#### (反対者の買取請求権)

- 第51条 第45条に規定する信託契約の解約または前条に規定する信託約款の変更を行う場合において、第45条第3項または前条第3項の一定の期間内に委託者に対して異議を述べた受益者は、受託者に対し、自己に帰属する受益権を、信託財産をもって買取るべき旨を請求することができます。この買取請求権の内容および買取請求の手続きに関する事項は、第45条第2項または前条第2項に規定する公告または書面に付記します。

#### (運用報告書に記載すべき事項の提供)

- 第51条の2 委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ② 前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

#### (公告)

- 第52条 委託者が受益者に対してする公告は、日本経済新聞に掲載します。

#### (質権口記載または記録の受益権の取扱い)

- 第52条の2 振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権に係る収益分配金の支払い、一部解約の実行の請求の受け付け、一部解約金および償還金の支払い等については、この約款によるほか、民法その他の法令等にしたがって取扱われます。

#### (信託約款に関する疑義の取扱い)

- 第53条 この信託約款の解釈について疑義を生じたときは、委託者と受託者との協議により定めます。

#### (附則)

- 第1条 第41条第6項に規定する「収益調整金」は、所得税法施行令第27条の規定によるものとし、受益者毎の信託時の受益権の価額と元本との差額をいい、原則として、追加信託のつど当該口数により加重平均され、収益分配のつど調整されるものとします。また、同条同項に規定する「受益者毎の信託時の受益権の価額等」とは、原則として、受益者毎の信

託時の受益権の価額をいい、追加信託のつど当該口数により加重平均され、収益分配のつど調整されるものとします。

第2条 平成18年12月29日現在の信託約款第10条、第11条、第13条から第19条の規定および受益権と読み替えられた受益証券に関する規定は、委託者がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合には、なおその効力を有するものとします。

上記条項により信託契約を締結します。

信託契約締結日 平成 18 年 12 月 28 日

委託者 ピクテ投信投資顧問株式会社

受託者 三井住友信託銀行株式会社